

**大和市墓地等に関する市民意識調査  
報告書**

**平成28年10月**

**大 和 市**

# 目 次

第1章 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査内容	1
3. 調査設計	1
4. 調査方法	1
5. 回収結果	1
6. 報告書見方	2
第2章 アンケート調査結果	3
1. 属性	3
2. 墓地の所有状況	9
3. 墓地の取得に関わる意向	17
4. 一般的な墓地	29
5. 大和市の墓地	32
6. 自由意見	37
7. 結果の追加分析	41
第3章 墓地需要予測	64
1. 大阪方式による推計	64
2. 横浜方式による推計	66
3. 沖縄方式による推計	68
4. 墓地需要予測の結果	70
資料編（調査票）	71

# 第1章 調査概要

## 1. 調査目的

大和市では、市民の墓地に対する考え方や、市民から求められている墓地形態などについて把握するため、市民意識調査を実施しました。

また、本調査の結果より、大和市の人口推計、死亡者数の推計及び世帯構成の推計などに基づき、今後大和市で求められる墓地形態及び必要墓数等の墓地需要を把握することとしています。

## 2. 調査内容

- (1) あなた自身について
- (2) 墓地の所有状況について
- (3) 墓地の取得に関わる意向について
- (4) 一般的な墓地について
- (5) 大和市の墓地について

## 3. 調査設計

- (1) 調査区域            大和市全域
- (2) 母集団             大和市在住の20歳以上の市民
- (3) 標本数             5,000 標本
- (4) 抽出方法           住民基本台帳より無作為抽出
- (5) 調査期間          平成28年7月19日～平成28年8月9日

## 4. 調査方法

郵送配布・郵送回収

## 5. 回収結果

標本数	5,000 件
回収数	2,103 件
回収率	42.1%

## 6. 報告書見方

- ・ 図中の「n」は、その設問の回答者数を表しています。
- ・ 集計は、小数点第2位を四捨五入して算出しました。したがって、回答率を合計しても、100%にはならず、1%の範囲で増減することがあります。
- ・ 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100%を超えることがあります。
- ・ 本文やグラフ・数表上の選択肢は、場合によって語句を簡略化して表記しています。
- ・ 属性別の分析については、全体平均と比べ、統計的に有意差のあるものを中心にふれています。図表上で数値が高いものでも、有意性がなく分析でふれていない場合があります。
- ・ この調査の標本誤差は、おおよそ次の計算式により算出できます。

### 【参考】単純集計結果の標本誤差(信頼度 95%)

回答比率 (n) (P) 回答者数	10% (90%) 前後	20% (80%) 前後	30% (70%) 前後	40% (60%) 前後	50% 前後
5,000	±0.9%	±1.1%	±1.3%	±1.4%	±1.4%
2,000	±1.3%	±1.8%	±2.0%	±2.2%	±2.2%
1,000	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
300	±3.5%	±4.6%	±5.3%	±5.7%	±5.8%
100	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%

※上記の標本誤差は、単純無作為抽出を前提としたものです。

全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査では、母集団の全数を対象に行った調査に比べて調査結果に差が生じることがあります。

抽出による結果の誤差は、以下の計算式によって算出されます。(信頼度 95%)

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

(N=母集団数、n=回答者数、P=回答の比率)

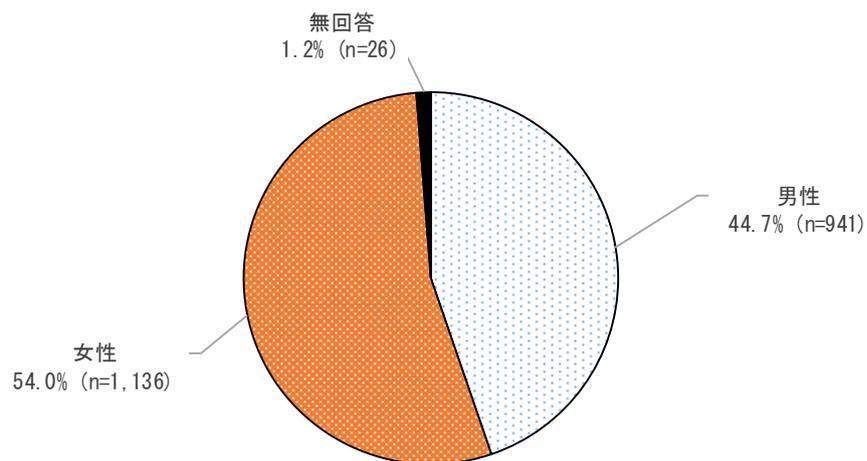
例えば、5,000人を対象としたアンケートで「支持する」が40%である場合、回答者数=5,000、回答比率=40%のとき、誤差=±1.4%となり、支持率は38.6~41.4%の範囲にあると考えられます。

## 第2章 アンケート調査結果

### 1. 属性

Q 1 あなたの性別を教えてください。

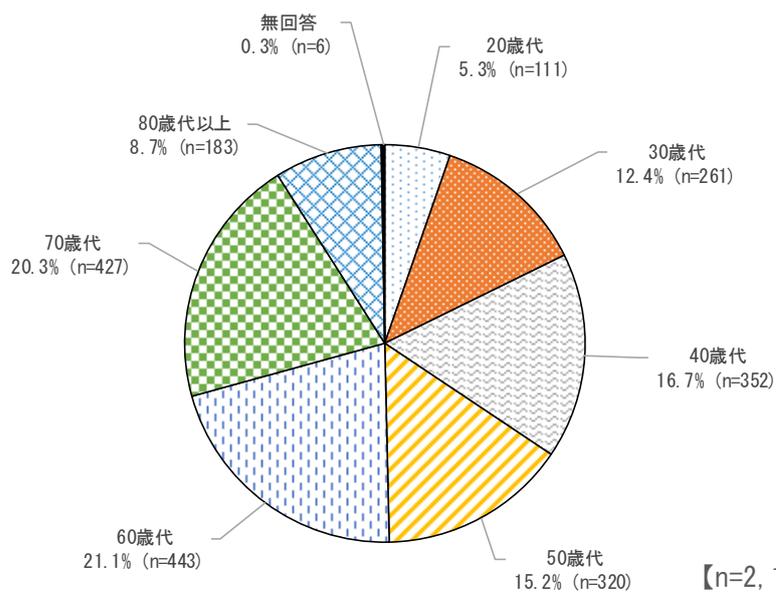
いずれか1つに○



【n=2,103】

Q 2 あなたの年齢層を教えてください。

いずれか1つに○

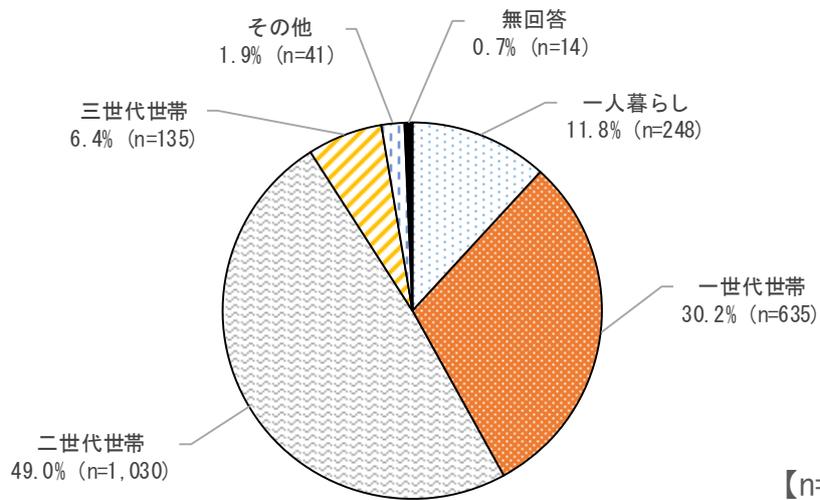


【n=2,103】

Q 3

あなたの世帯構成（同居）を教えてください。

いずれか1つに○



※一世代世帯：夫婦のみの世帯

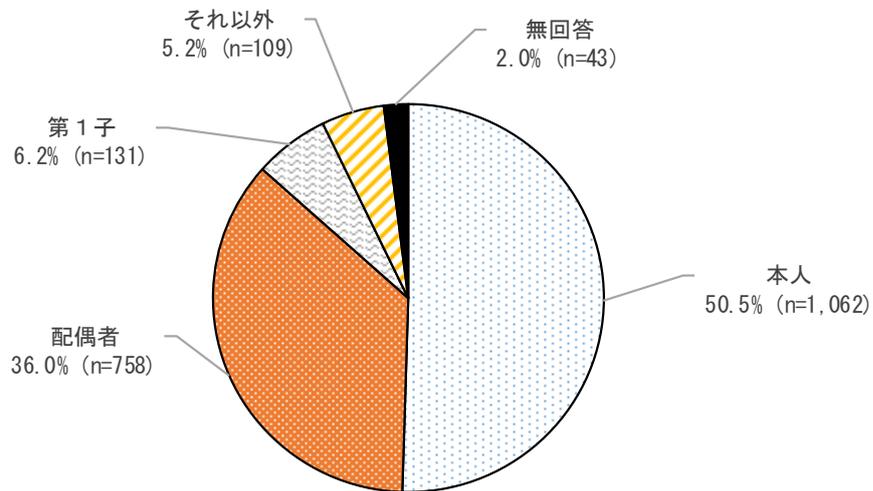
※二世世代世帯：親、子で暮らしている世帯

※三世世代世帯：親、子、孫で暮らしている世帯

Q 4

世帯主との関係（続柄）を教えてください。

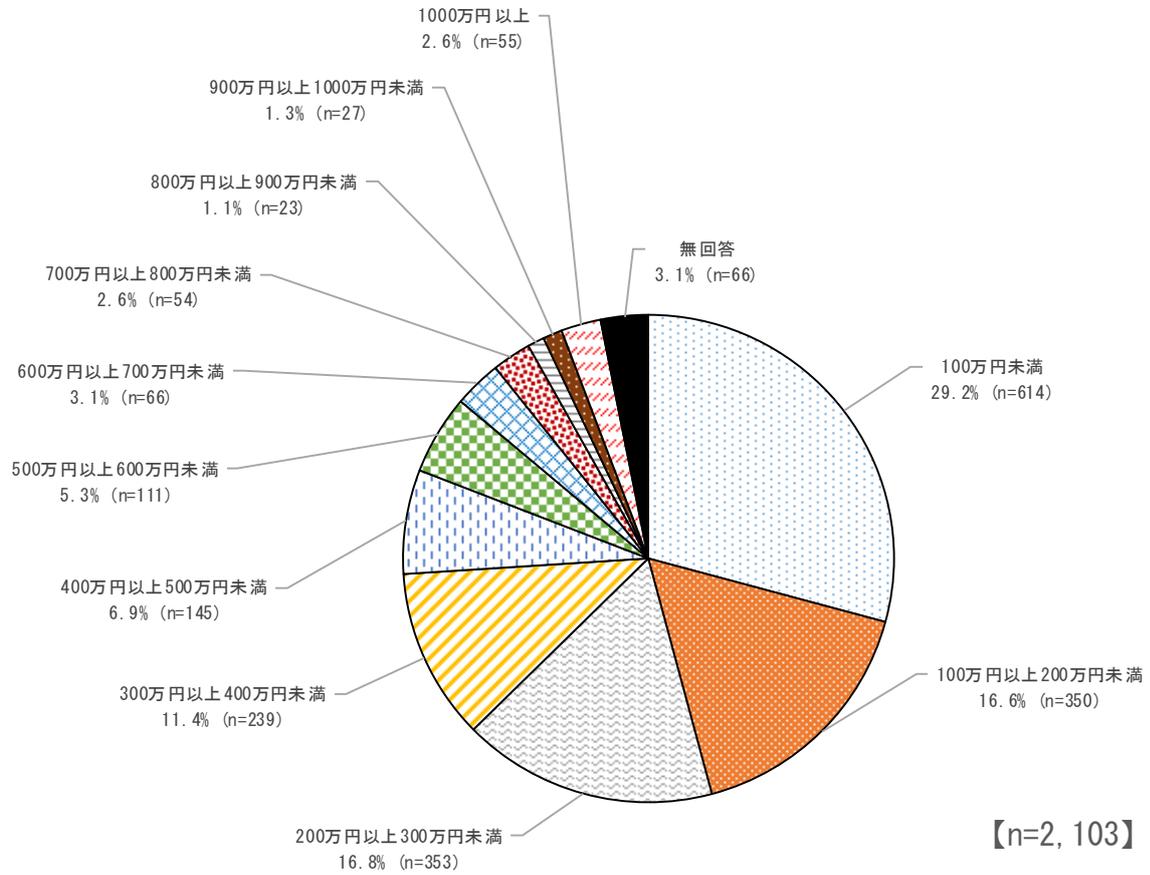
いずれか1つに○



Q 5

あなたの現在の年収について教えてください。

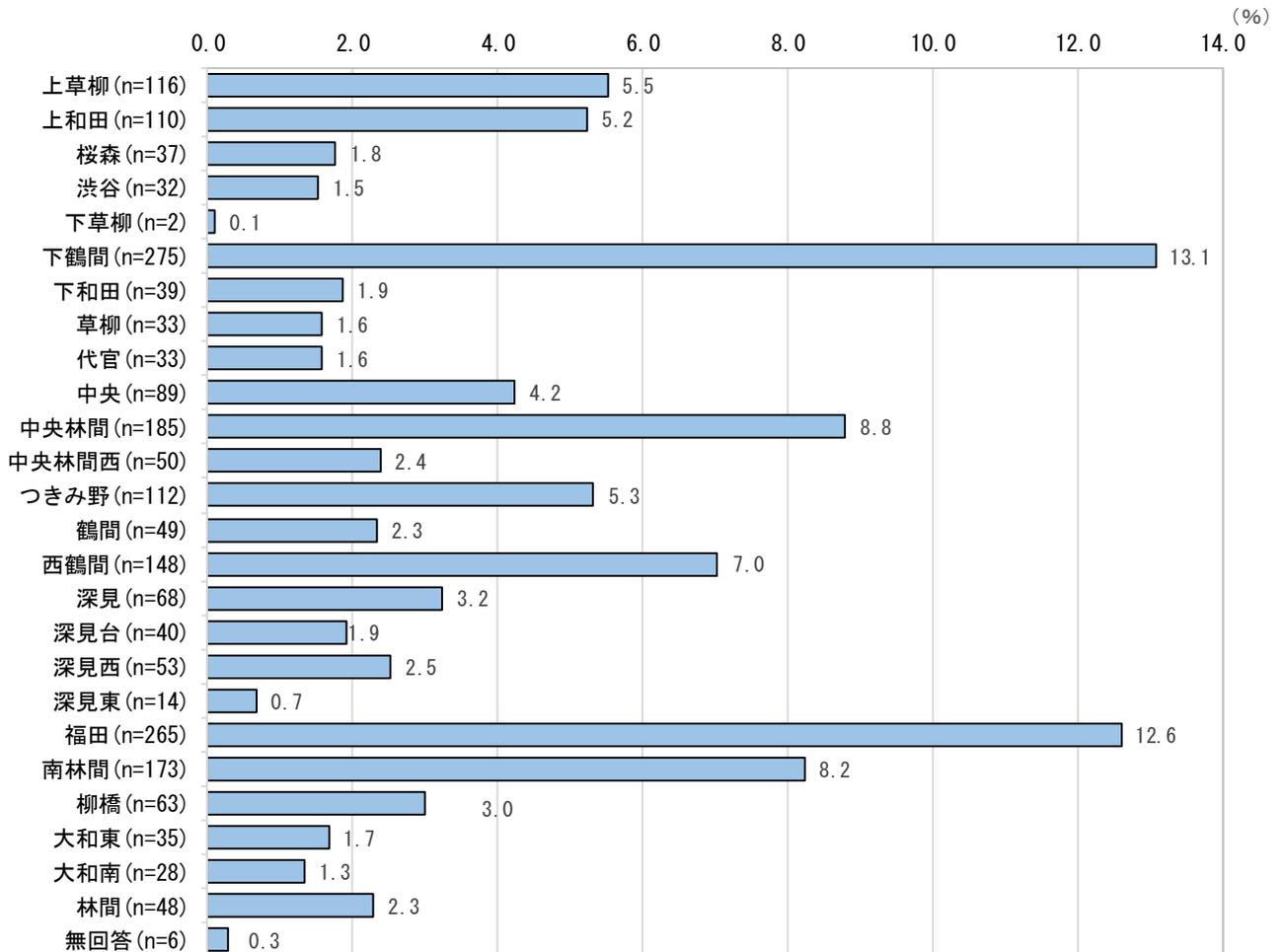
いずれか1つに○



Q 6

あなたがお住まいの地区を教えてください。

いずれか1つに○

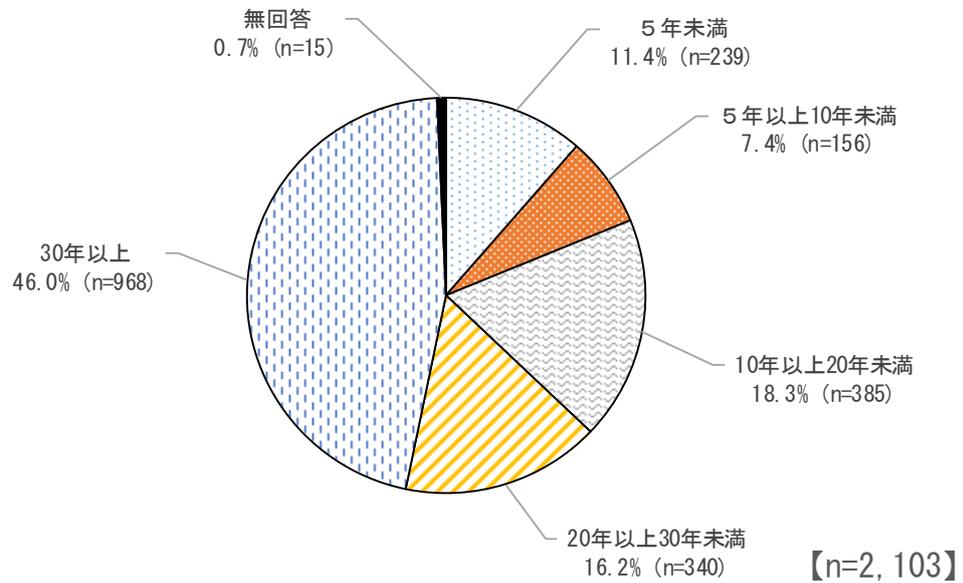


【n=2, 103】

Q 7

あなたが大和市にお住まいの期間を教えてください。

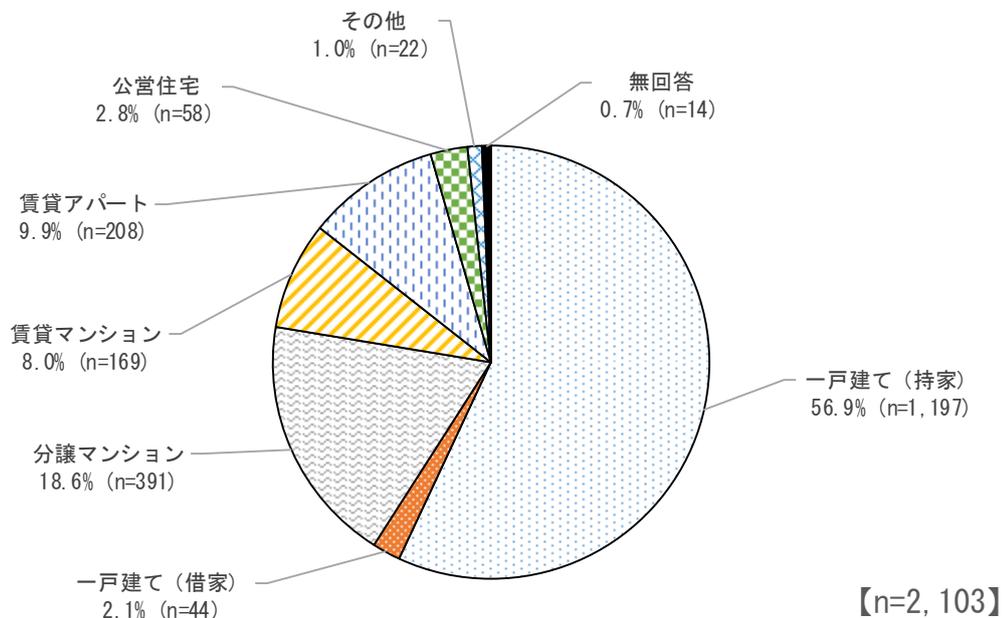
いずれか1つに○



Q 8

あなたが住まいの住居について教えてください。

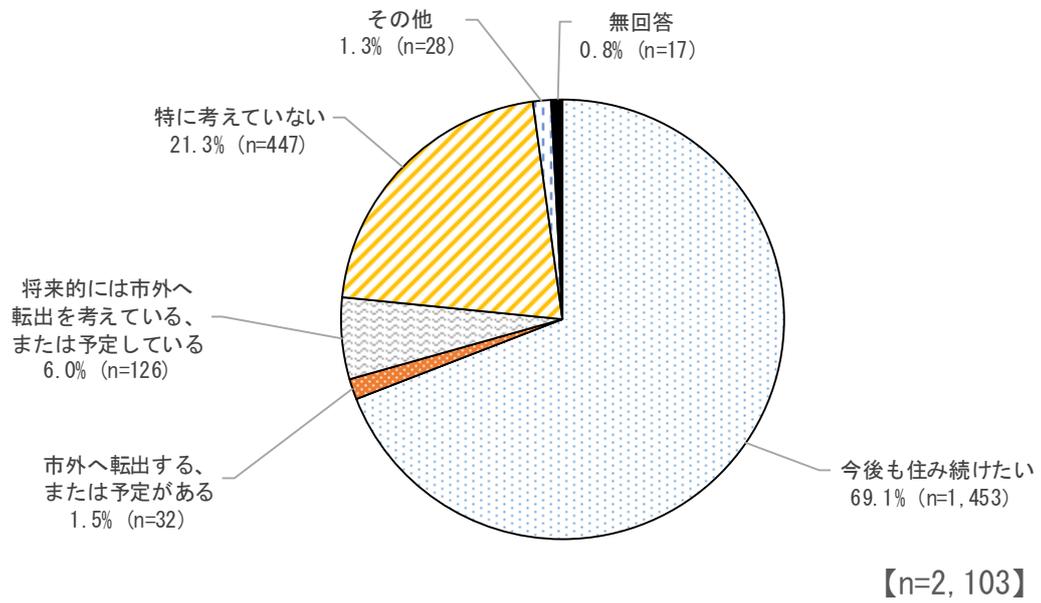
いずれか1つに○



Q 9

今後も大和市に住み続けますか。

いずれか1つに○



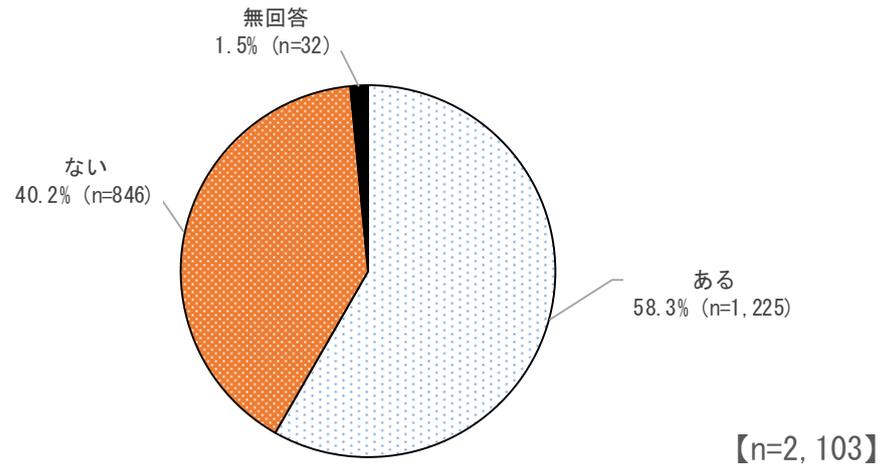
## 2. 墓地の所有状況

Q10

自分や配偶者が亡くなった時に入るためのお墓がありますか。

いずれか1つに○

自分や配偶者が亡くなった時に入るためのお墓があるかについて、「ある」が58.3%、「ない」が40.2%となっています。

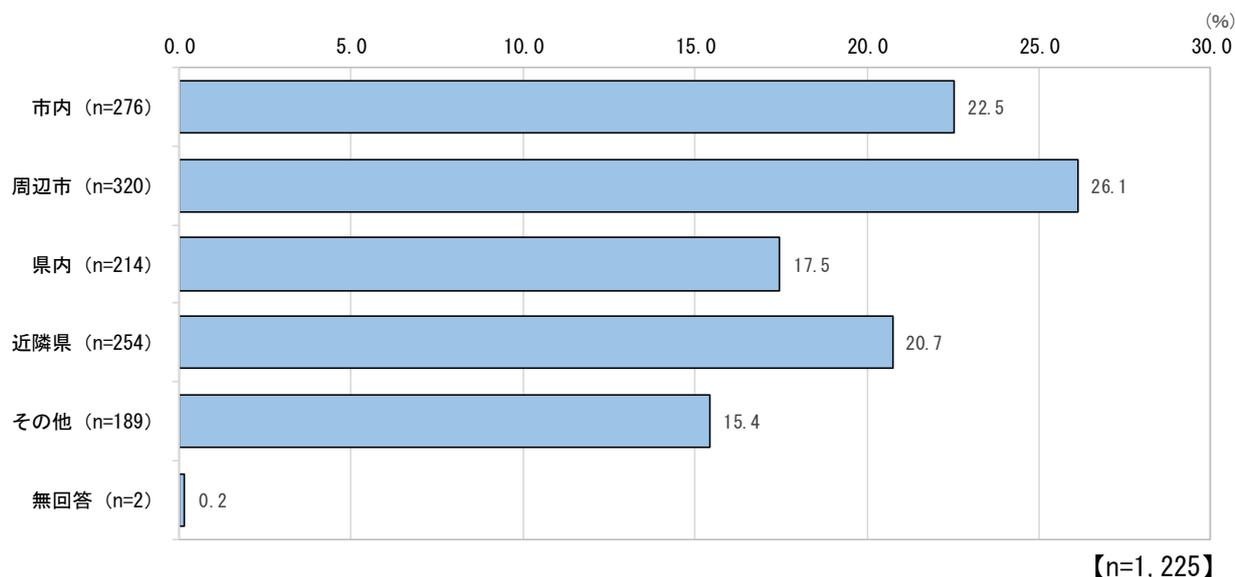


Q10-1

《Q10において「ある」を選択した方にお聞きします》  
 そのお墓はどこにありますか。また、何基所有していますか。

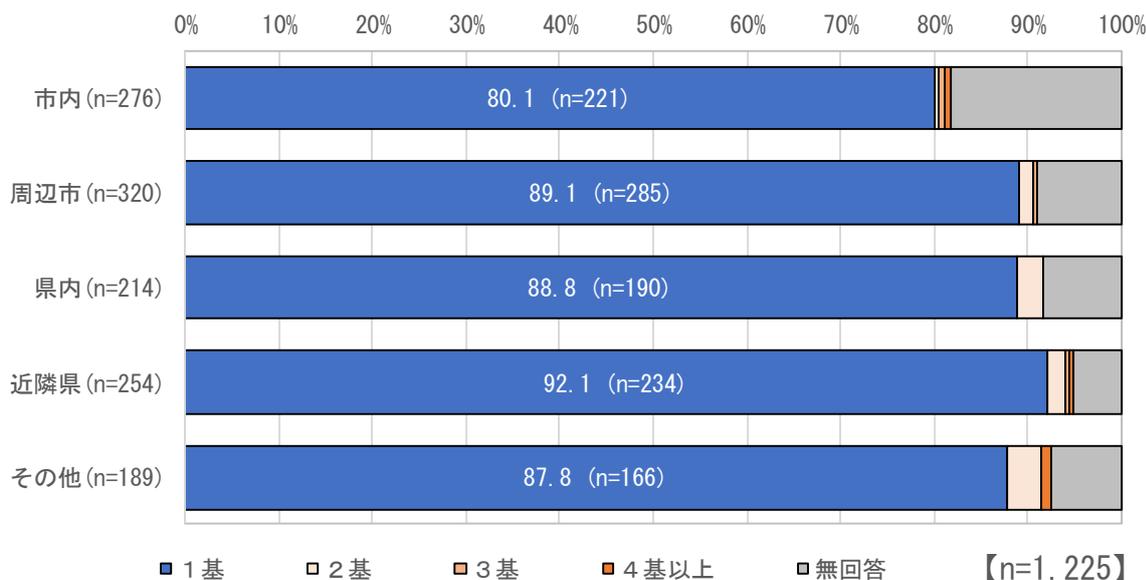
当てはまるもの全てに○

自分や配偶者が亡くなった時に入るためのお墓がある方に、そのお墓がどこにあるかについて聞いたところ、「周辺市」が最も多く26.1%、次いで「市内」が22.5%、「近隣県」が20.7%と続いています。



※近隣県：東京、埼玉、千葉、静岡、山梨

また、何基所有しているかについて聞いたところ、全ての場所において「1基」が最も多くなっています。

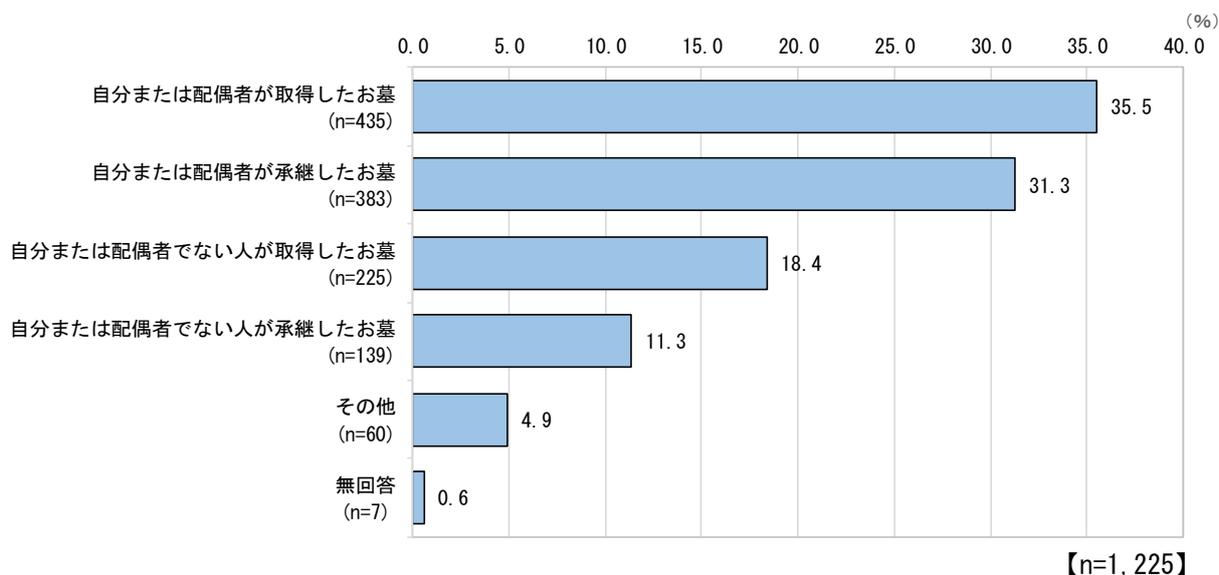


Q10-2

《Q10において「ある」を選択した方にお聞きします》  
そのお墓の所有状況を教えてください。

当てはまるもの全てに○

自分や配偶者が亡くなった時に入るためのお墓がある方に、そのお墓の所有状況について聞いたところ、「自分または配偶者が取得したお墓」が最も多く 35.5%、次いで「自分または配偶者が承継したお墓」が 31.3%、「自分または配偶者でない人が取得したお墓」が 18.4%と続いています。

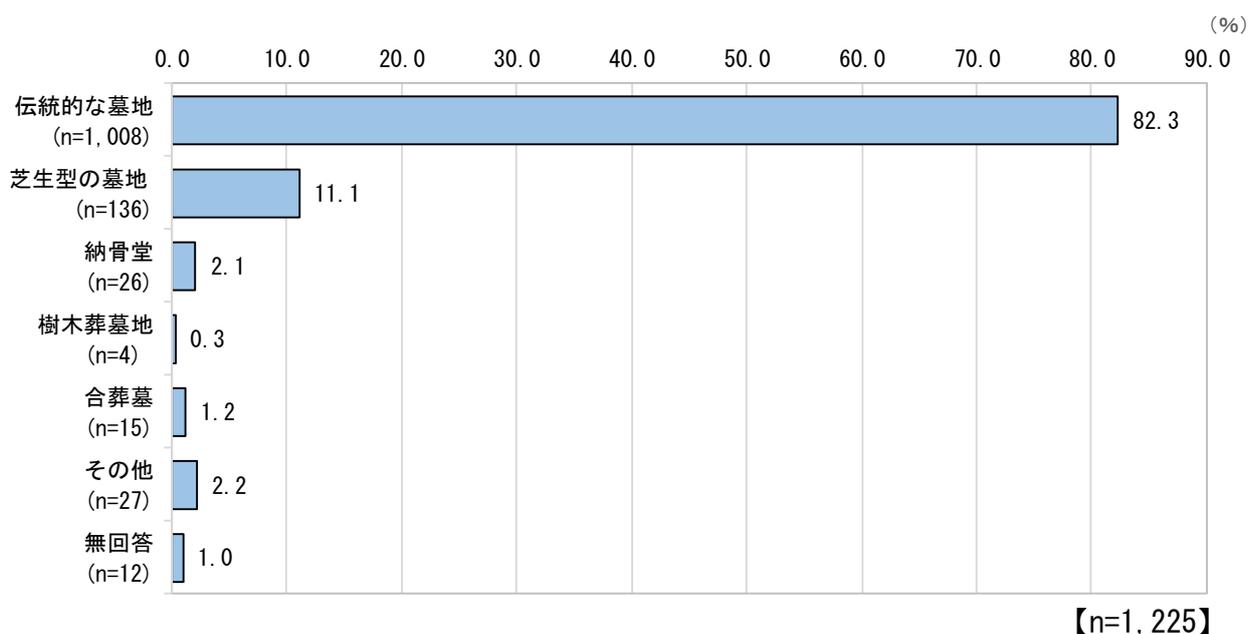


Q10-3

《Q10において「ある」を選択した方にお聞きします》  
そのお墓の形態を教えてください。

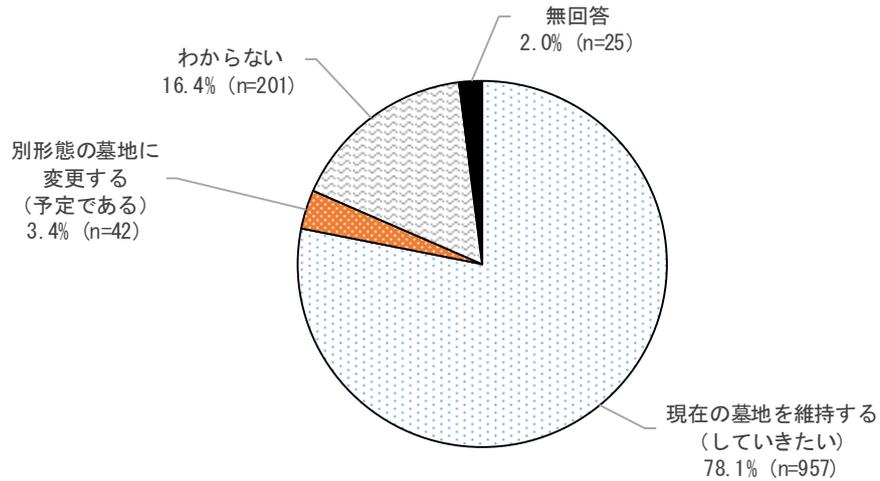
当てはまるもの全てに○

自分や配偶者が亡くなった時に入るためのお墓がある方に、そのお墓の形態について聞いたところ、「伝統的な墓地」が最も多く 82.3%、次いで「芝生型の墓地」が 11.1%と続いています。



Q10-4	《Q10において「ある」を選択した方にお聞きします》 今のお墓を今後も維持していきますか。或いは、別形態の墓地に変更 しますか。	いずれか1つに○
-------	--	----------

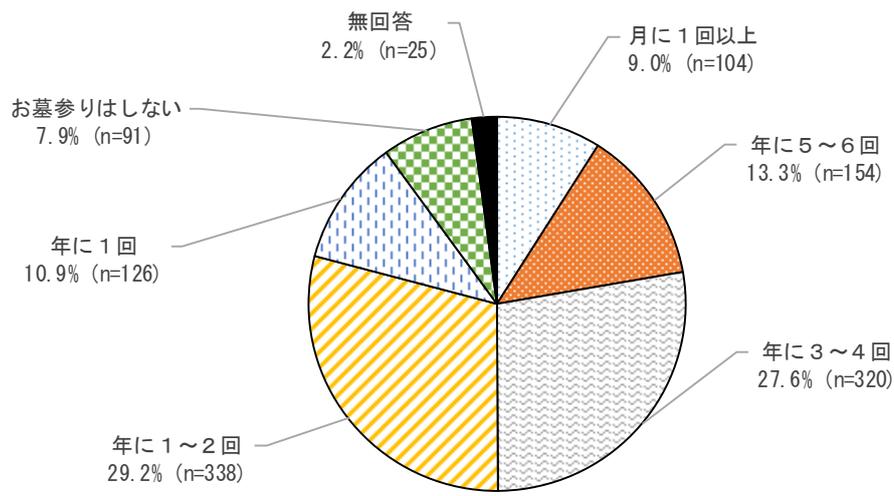
自分や配偶者が亡くなった時に入るためのお墓がある方に、今のお墓の今後の意向について聞いたところ、「現在の墓地を維持する（していきたい）」が最も多く 78.1%、次いで「わからない」が 16.4%、「別形態の墓地に変更する（予定である）」が 3.4%と続いています。



【n=1, 225】

Q10-5	<p>《Q10 において「ある」を選択し、Q10-4 において「現在の墓地を維持する予定である」または「わからない」を選択した方にお聞きします》</p> <p>普段、お墓参りの回数ほどのくらいですか。</p>	いずれか1つに○
-------	--	----------

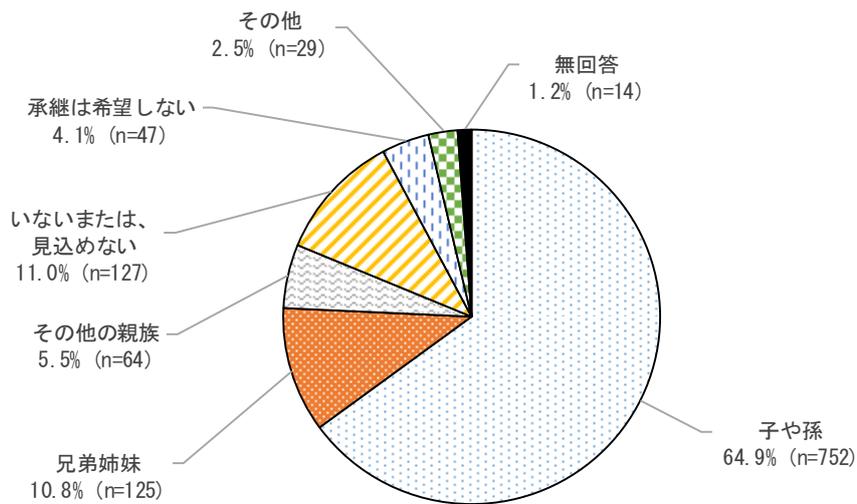
自分や配偶者が亡くなった時に入るためのお墓があり、現在の墓地を維持する（していきたい）（わからないも含む）と考えている方に、普段のお墓参りの回数について聞いたところ、「年に1～2回」が最も多く29.2%、次いで「年に3～4回」が27.6%、「年に5～6回」が13.3%と続いています。



【n=1, 158】

Q10-6	<p>《Q10 において「ある」を選択し、Q10-4 において「現在の墓地を維持する予定である」または「わからない」を選択した方にお聞きします》</p> <p>お墓を承継する人はいますか。</p>	いずれか1つに○
-------	--	----------

自分や配偶者が亡くなった時に入るためのお墓があり、現在の墓地を維持する（していきたい）（わからないも含む）と考えている方に、お墓を承継する人はいるかについて聞いたところ、「子や孫」が最も多く 64.9%、次いで「いないまたは、見込めない」が 11.0%、「兄弟姉妹」が 10.8%と続いています。



【n=1, 158】

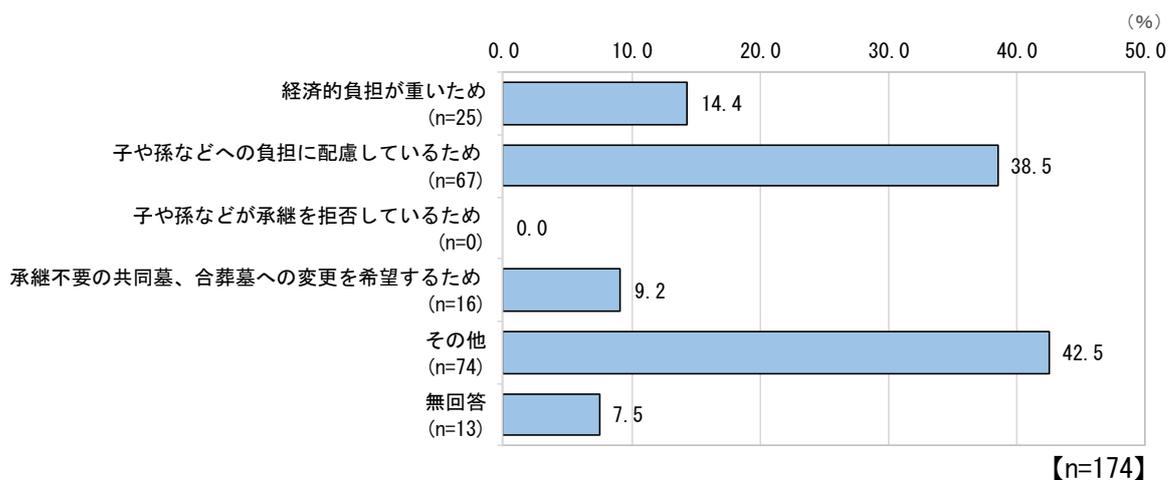
Q10-6  
(付問)

《Q10-6 において「いないまたは、見込めない」または「承継は希望しない」を選択した方にお聞きします。》  
承継が見込めない、承継を希望されない理由を教えてください。

当てはまるもの全てに○

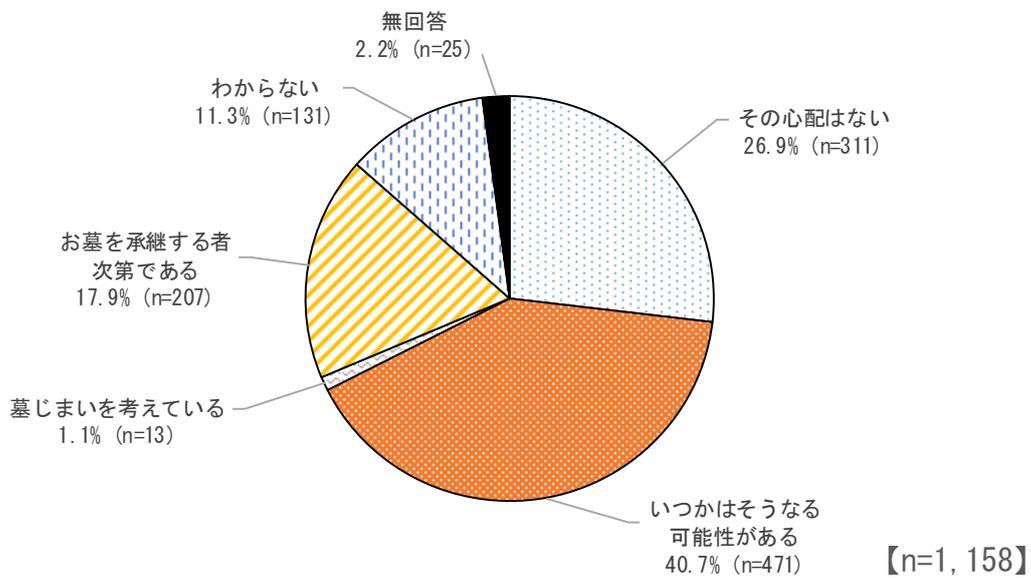
自分や配偶者が亡くなった時に入るためのお墓があり、現在の墓地を維持する（していきたい）（わからないも含む）と考えているが、お墓を承継する人がいない、または、見込めない、もしくは承継を希望しない方に、その理由について聞いたところ、「その他」が最も多く 42.5%、次いで「子や孫などへの負担に配慮しているため」が 38.5%、「経済的負担が重いため」が 14.4%と続いています。

また、「その他」としては、「わからない」「まだ考えていない」という意見が多くありました。



Q10-7	<p>《Q10 において「ある」を選択し、Q10-4 において「現在の墓地を維持する予定である」または「わからない」を選択した方にお聞きします》</p> <p>お墓が今後、無縁化する可能性があると思いますか。</p>	いずれか1つに○
-------	--	----------

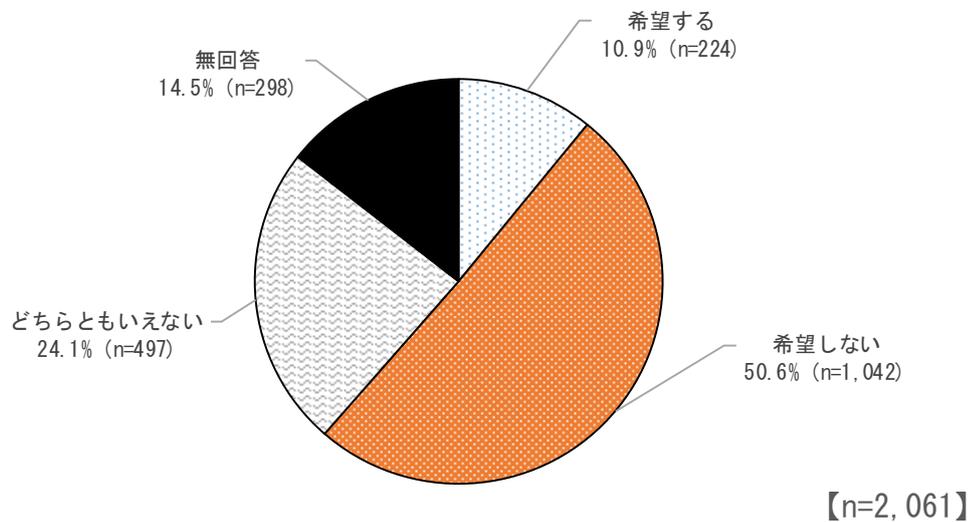
自分や配偶者が亡くなった時に入るためのお墓があり、現在の墓地を維持する（していきたい）（わからないも含む）と考えている方に、お墓が今後、無縁化する可能性があると思うかについて聞いたところ、「いつかはそうなる可能性がある」が最も多く 40.7%、次いで「その心配はない」が 26.9%、「お墓を承継する者次第である」が 17.9%と続いています。



### 3. 墓地の取得に関わる意向

Q11	《Q10において「ある」以外を選択した方と、Q10-4において「別形態の墓地に変更する（予定である）」以外を選択した方にお聞きします》 新たにお墓の取得を希望していますか。	いずれか1つに○
-----	---	----------

自分や配偶者が亡くなった時に入る墓地を持っていない方、持っていても別形態の墓地に変更する（予定である）と考えていない方に、新たにお墓の取得を希望しているかについて聞いたところ、「希望しない」が最も多く 50.6%、次いで「どちらともいえない」が 24.1%、「希望する」が 10.9%となっています。

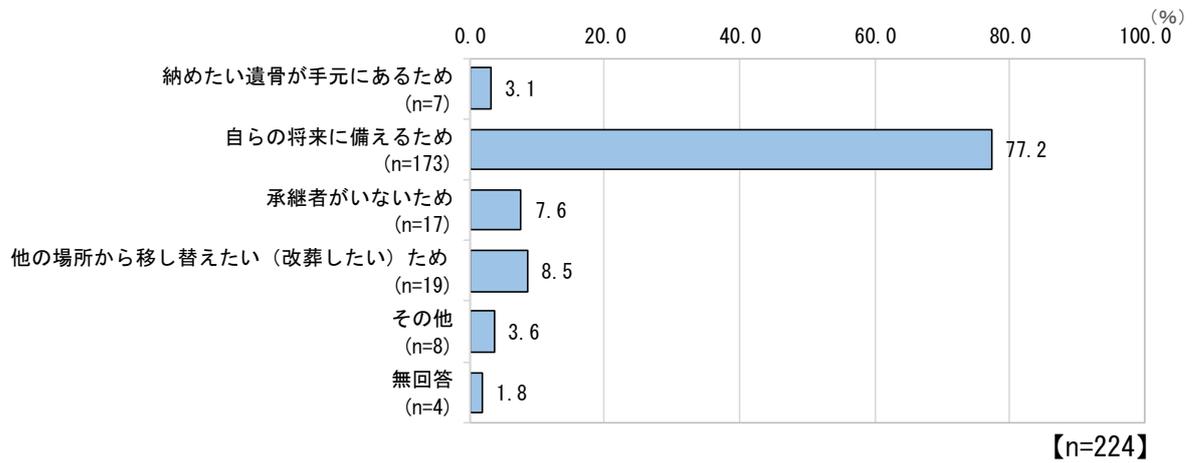


Q11  
(付門)

《Q11において「希望する」を選択した方にお聞きします》  
お墓を取得する理由を教えてください。

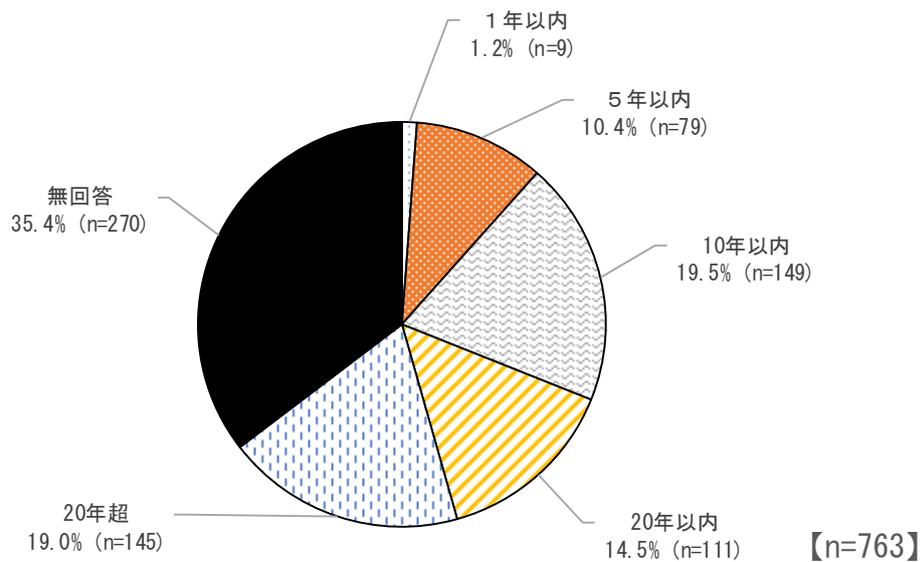
当てはまるもの全てに○

墓地の所有状況に関わらず、新たにお墓の取得を希望している方に、その理由について聞いたところ、「自らの将来に備えるため」が最も多く 77.2%、次いで「他の場所から移し替えたい（改葬したい）ため」が 8.5%、「承継者がいないため」が 7.6%と続いています。



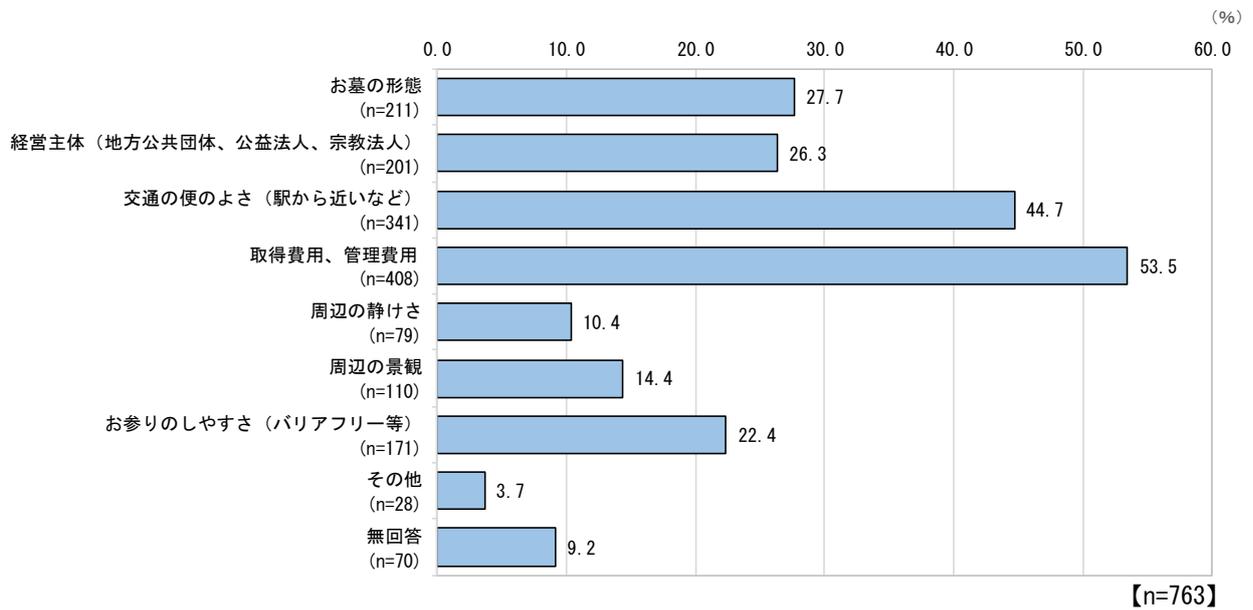
Q11-1	<p>《Q10-4において「別形態の墓地に変更する（予定である）」を選択した方と、Q11において「希望する」と「どちらともいえない」を選択した方にお聞きします》</p> <p>お墓の取得（変更）時期は、いつ頃を考えていますか。</p>	いずれか1つに○
-------	---	----------

墓地の所有状況に関わらず、新たにお墓の取得を希望している（どちらともいえないも含む）方に、お墓の取得（変更）時期について聞いたところ、「10年以内」が最も多く19.5%、次いで「20年超」が19.0%、「20年以内」が14.5%と続いています。



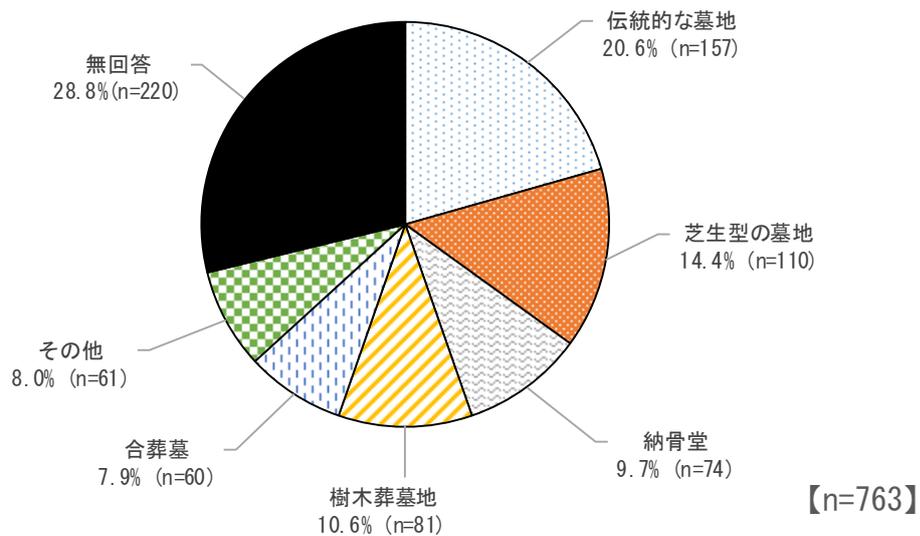
Q11-2	<p>《Q10-4 において「別形態の墓地に変更する（予定である）」を選択した方と、Q11 において「希望する」と「どちらともいえない」を選択した方にお聞きします》</p> <p>お墓を取得する（変更する場合も含む）時に、重視する条件を教えてください。</p>	当てはまるもの全てに○
-------	--	-------------

墓地の所有状況に関わらず、新たにお墓の取得を希望している（どちらともいえないも含む）方に、お墓を取得する（変更する場合も含む）時の重視する条件について聞いたところ、「取得費用、管理費用」が最も多く 53.5%、次いで「交通の便のよさ（駅から近いなど）」が 44.7%、「お墓の形態」が 27.7%と続いています。



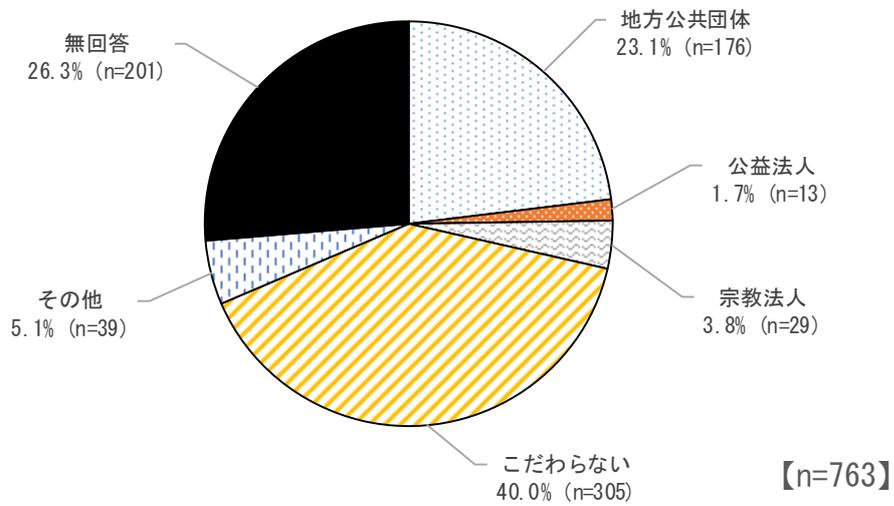
Q11-3	<p>《Q10-4において「別形態の墓地に変更する（予定である）」を選択した方と、Q11において「希望する」と「どちらともいえない」を選択した方にお聞きします》</p> <p>お墓を取得（変更）する時に希望するお墓の形態を教えてください。</p>	いずれか1つに○
-------	---	----------

墓地の所有状況に関わらず、新たにお墓の取得を希望している（どちらともいえないも含む）方に、お墓を取得（変更）する時に希望するお墓の形態について聞いたところ、「伝統的な墓地」が最も多く 20.6%、次いで「芝生型の墓地」が 14.4%、「樹木葬墓地」が 10.6%と続いています。



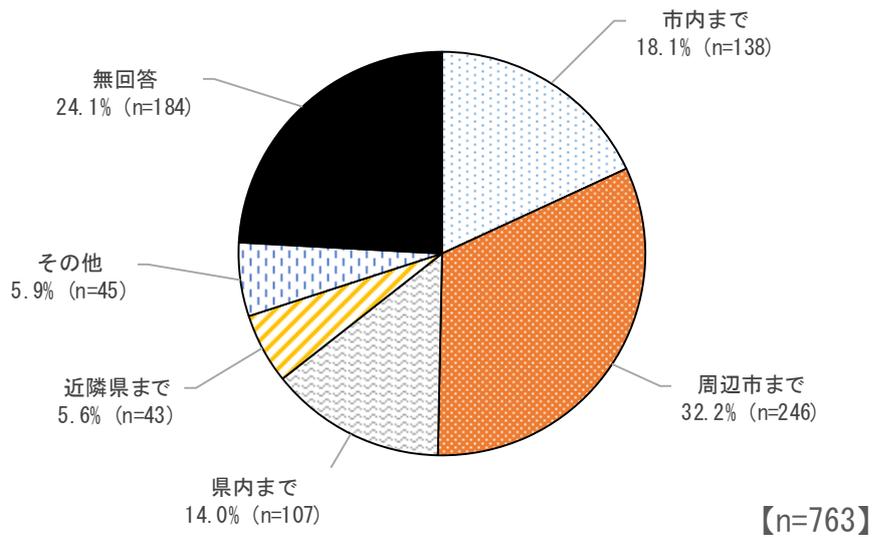
Q11-4	<p>《Q10-4において「別形態の墓地に変更する（予定である）」を選択した方と、Q11において「希望する」と「どちらともいえない」を選択した方にお聞きします》</p> <p>お墓を取得（変更）する時に希望する経営主体を教えてください。</p>	いずれか1つに○
-------	--	----------

墓地の所有状況に関わらず、新たにお墓の取得を希望している（どちらともいえないも含む）方に、お墓を取得(変更)する時に希望する経営主体について聞いたところ、「こだわらない」が最も多く40.0%、次いで「地方公共団体」が23.1%と続いています。



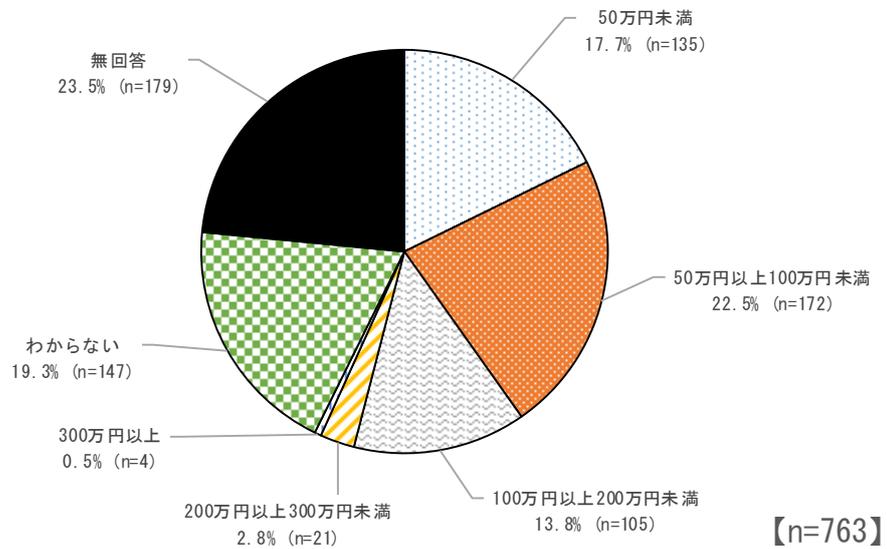
Q11-5	<p>《Q10-4において「別形態の墓地に変更する（予定である）」を選択した方と、Q11において「希望する」と「どちらともいえない」を選択した方にお聞きします》</p> <p>お墓を取得する時に、どの地域に取得したいと考えていますか。</p>	いずれか1つに○
-------	---	----------

墓地の所有状況に関わらず、新たにお墓の取得を希望している（どちらともいえないも含む）方に、お墓を取得する時、どの地域に取得したいかについて聞いたところ、「周辺市まで」が最も多く 32.2%、次いで「市内まで」が 18.1%、「県内まで」が 14.0%と続いています。



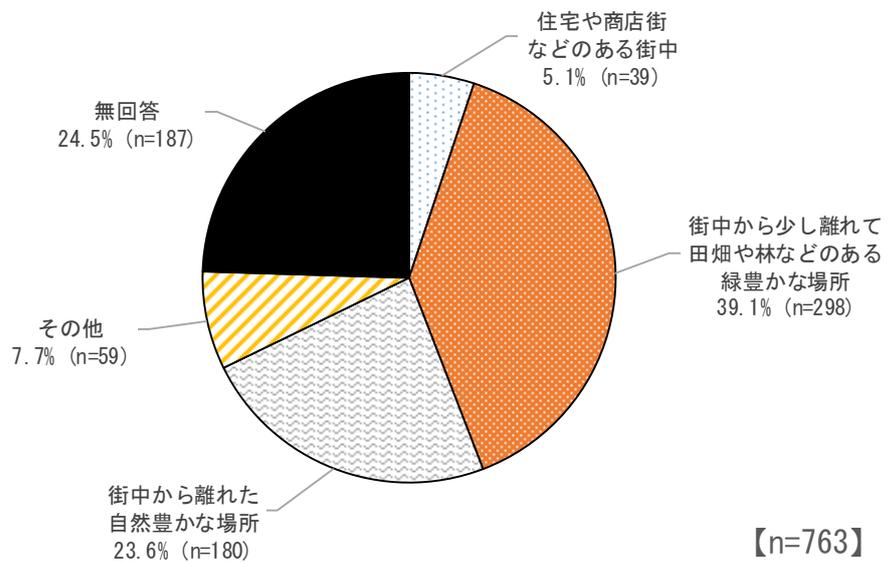
Q11-6	<p>《Q10-4において「別形態の墓地に変更する（予定である）」を選択した方と、Q11において「希望する」と「どちらともいえない」を選択した方にお聞きします》</p> <p>お墓の取得にかかる費用（使用料、墓石代等）として、どのくらいまで負担できますか。</p>	いずれか1つに○
-------	--	----------

墓地の所有状況に関わらず、新たにお墓の取得を希望している（どちらともいえないも含む）方に、お墓の取得にかかる費用（使用料、墓石代等）として、どのくらいまで負担できるかについて聞いたところ、「50万円以上100万円未満」が最も多く22.5%、次いで「わからない」が19.3%、「50万円未満」が17.7%と続いています。



Q11-7	<p>《Q10-4において「別形態の墓地に変更する（予定である）」を選択した方と、Q11において「希望する」と「どちらともいえない」を選択した方にお聞きします》</p> <p>お墓を取得する時に、どのような立地を希望しますか。</p>	いずれか1つに○
-------	---	----------

墓地の所有状況に関わらず、新たにお墓の取得を希望している（どちらともいえないも含む）方に、お墓を取得する時、どのような立地を希望するかについて聞いたところ、「街中から少し離れて田畑や林などのある緑豊かな場所」が最も多く 39.1%、次いで「街中から離れた自然豊かな場所」が 23.6%と続いています。

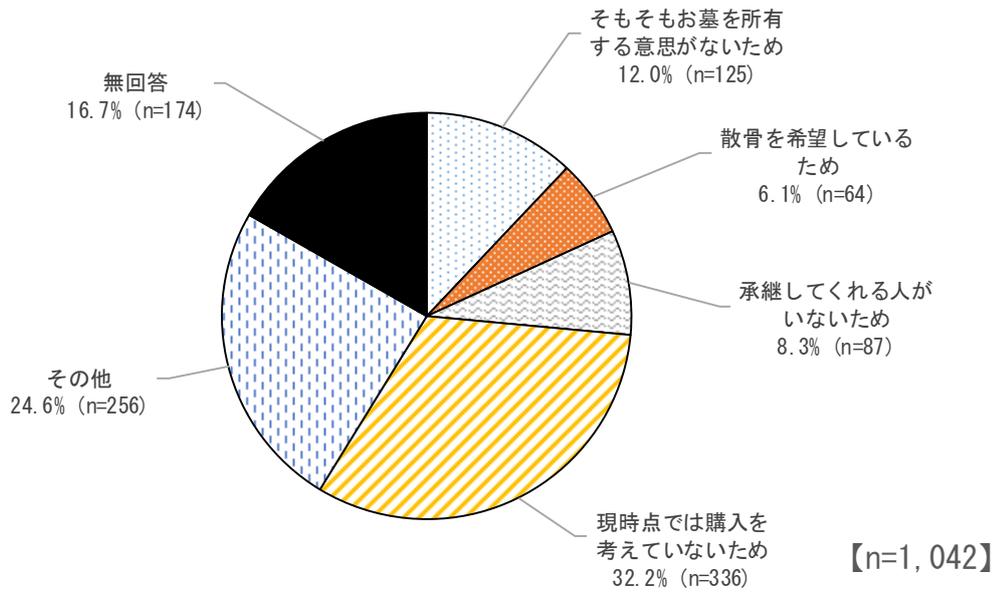


Q11-8

《Q11において「希望しない」を選択した方にお聞きします》  
お墓の取得を希望しない理由を教えてください。

いずれか1つに○

新たにお墓の取得を希望しない方に、その理由について聞いたところ、「現時点では購入を考えていないため」が最も多く32.2%、次いで「その他」が24.6%、「そもそもお墓を所有する意思がないため」が12.0%と続いています。

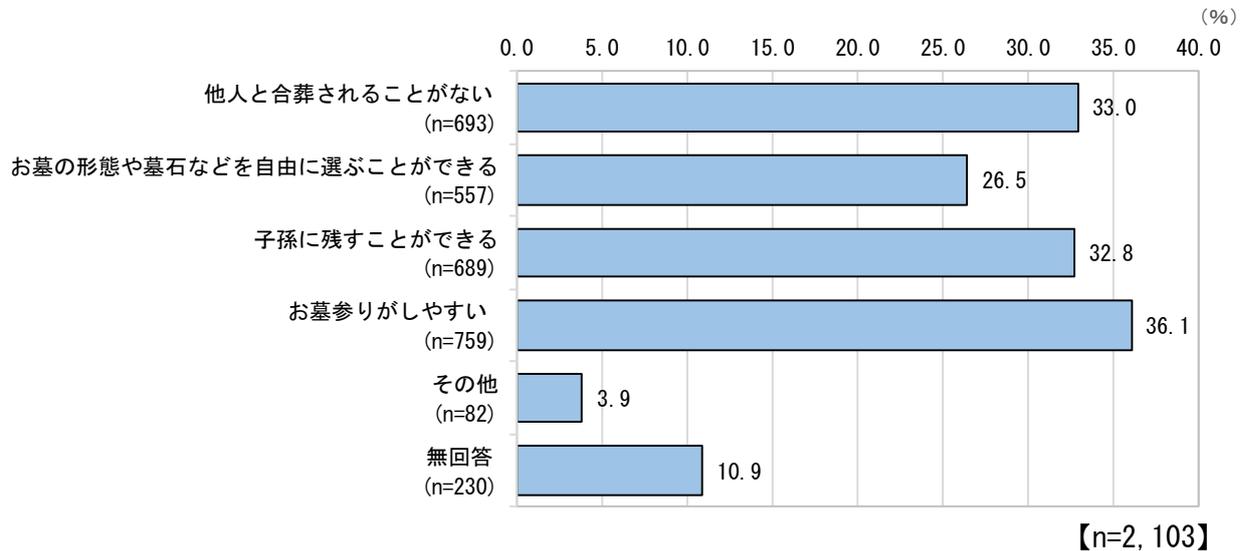


Q12

個別墓の利点はどのようなものだと思いますか。

当てはまるもの全てに○

個別墓の利点について、「お墓参りがしやすい」が最も多く 36.1%、次いで「他人と合葬されることがない」が 33.0%、「子孫に残すことができる」が 32.8%と続いています。

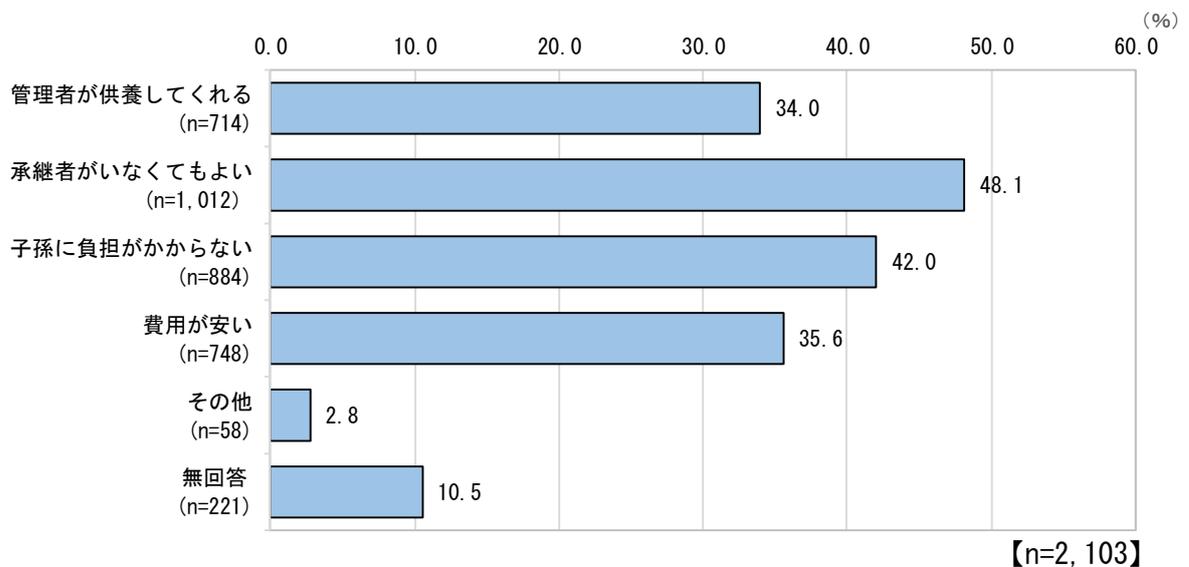


Q13

共同墓、合葬墓などの利点はどのようなものだと思いますか。

当てはまるもの全てに○

共同墓、合葬墓などの利点について、「承継者がいなくてもよい」が最も多く 48.1%、「子孫に負担がかからない」が 42.0%、「費用が安い」が 35.6%と続いています。

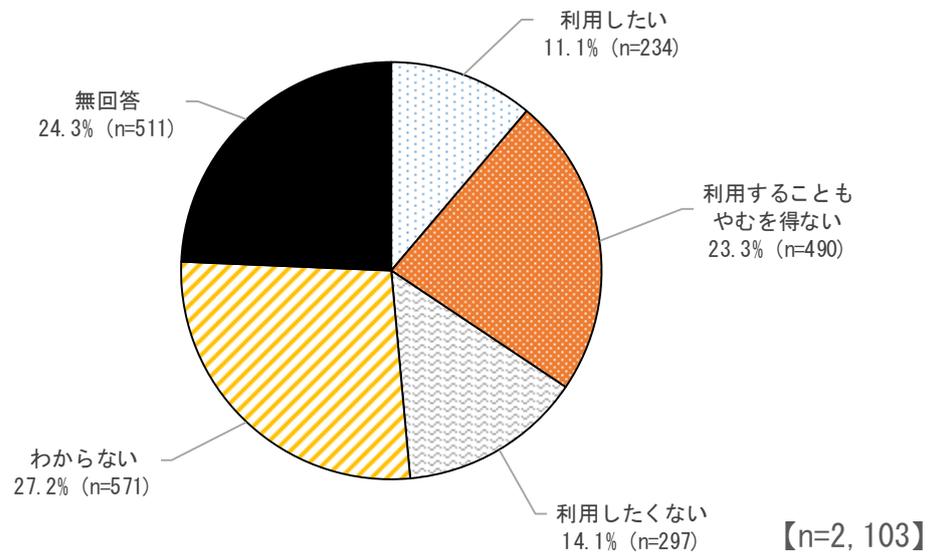


Q14

共同墓、合葬墓などの利用についてどのように考えますか。

いずれか1つに○

共同墓、合葬墓などの利用について、「わからない」が最も多く27.2%、次いで「利用することもやむを得ない」が23.3%、「利用したくない」が14.1%と続いています。

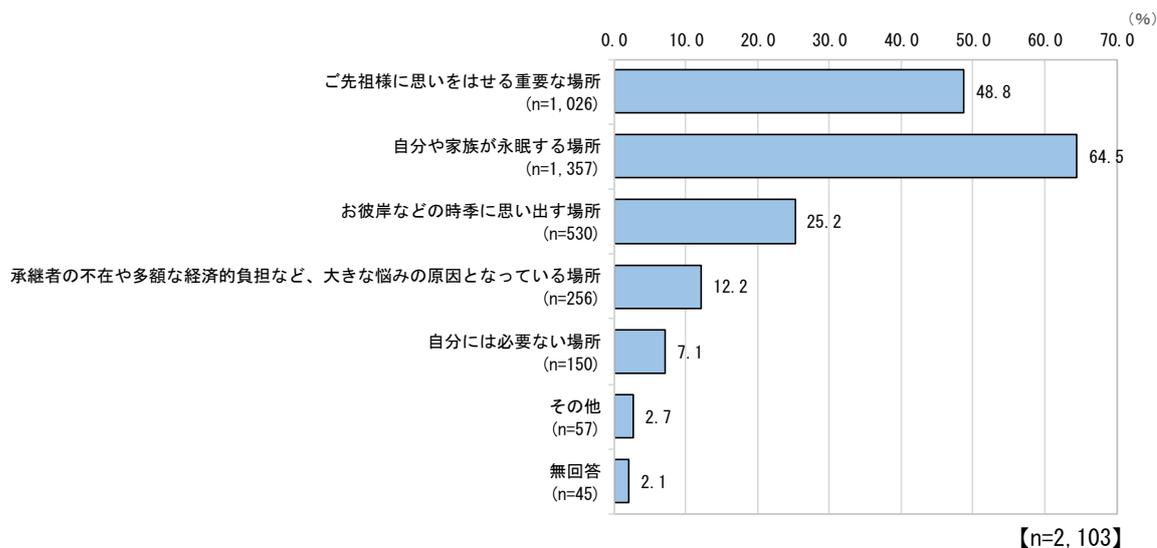


## 4. 一般的な墓地

Q15 あなたにとって、お墓とは何ですか。

当てはまるもの全てに○

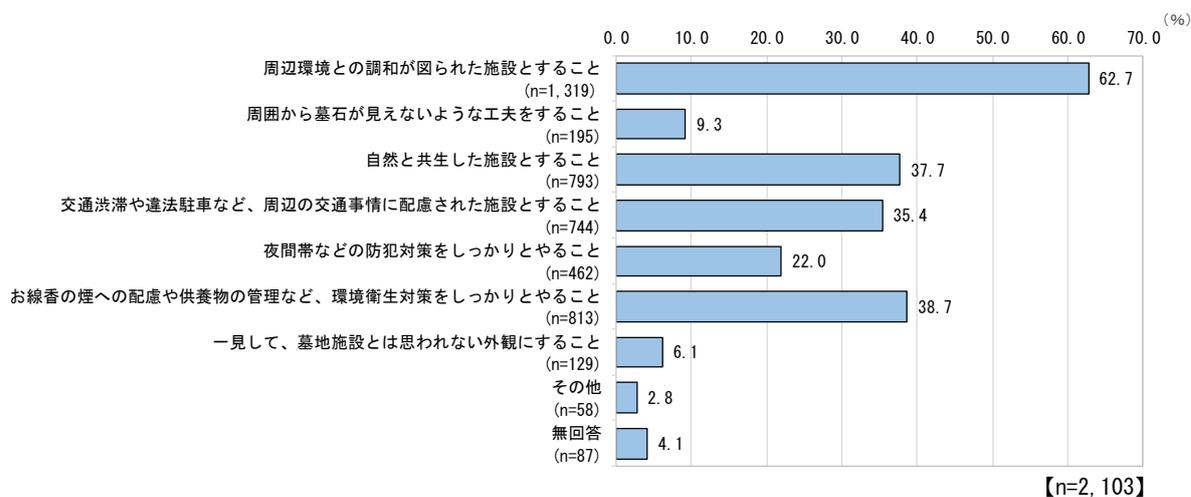
お墓という場所について、「自分や家族が永眠する場所」が最も多く 64.5%、次いで「ご先祖様に思いをはせる重要な場所」が 48.8%、「お彼岸などの時季に思い出す場所」が 25.2%と続いています。



Q16 お墓の設置・管理者に求められるものは何ですか。

当てはまるもの全てに○

お墓の設置・管理者に求められるものについて、「周辺環境との調和が図られた施設とすること」が最も多く 62.7%、次いで「お線香の煙への配慮や供養物の管理など、環境衛生対策をしっかりとやること」が 38.7%、「自然と共生した施設とすること」が 37.7%と続いています。

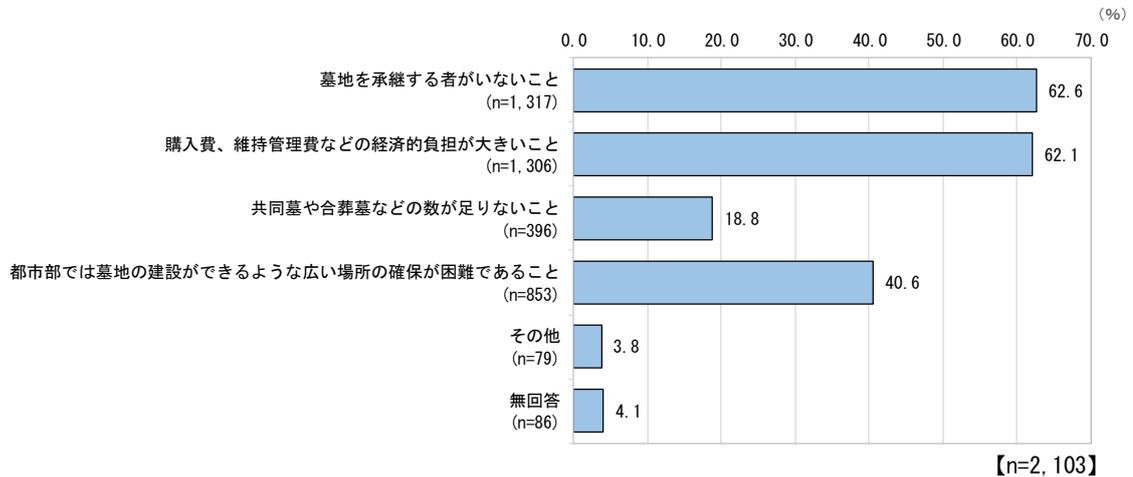


Q17

現在、墓地を巡る課題には、どのようなものがあると考えますか。

当てはまるもの全てに○

現在の墓地を巡る課題について、「墓地を承継する者がいないこと」が最も多く 62.6%、次いで「購入費、維持管理費などの経済的負担が大きいこと」が 62.1%、「都市部では墓地の建設ができるような広い場所の確保が困難であること」が 40.6%と続いています。

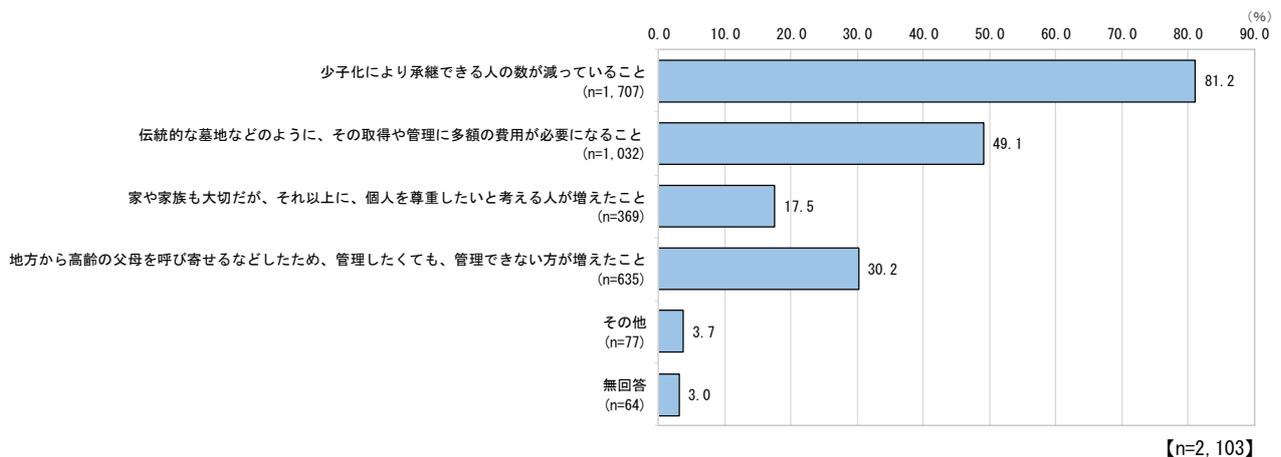


Q18

お墓が無縁化する原因をどのように考えていますか。

当てはまるもの全てに○

お墓が無縁化する原因について、「少子化により承継できる人の数が減っていること」が最も多く 81.2%、次いで「伝統的な墓地などのように、その取得や管理に多額の費用が必要になること」が 49.1%、「地方から高齢の父母を呼び寄せるなどしたため、管理したくても、管理できない方が増えたこと」が 30.2%と続いています。

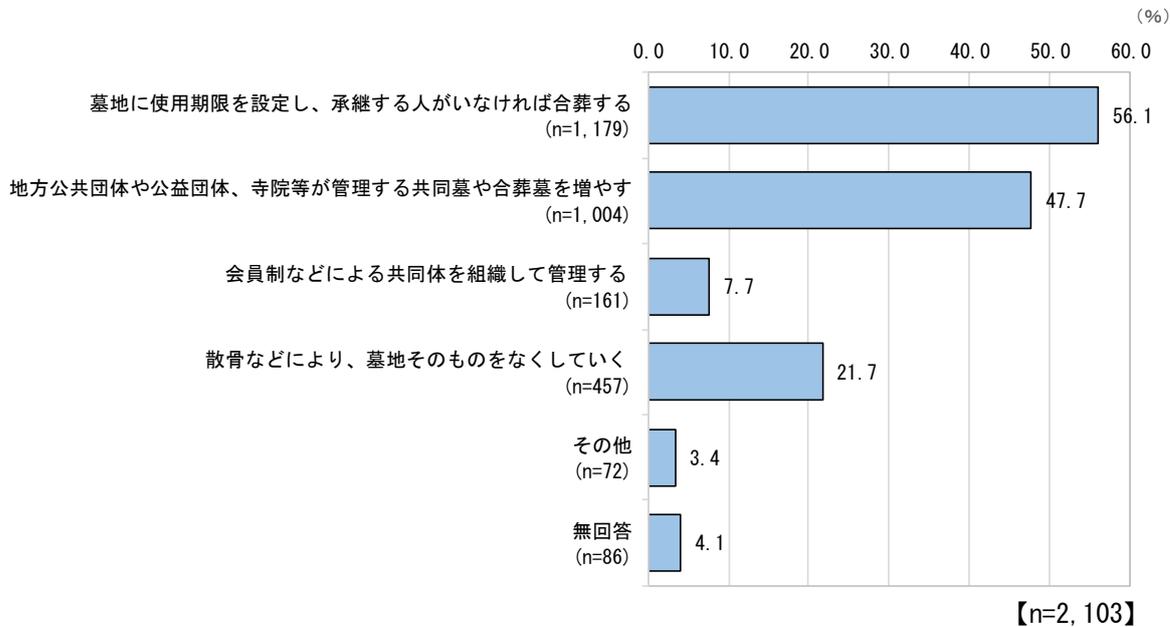


Q18  
(付問)

お墓の無縁化対策として、どのような手法が有効だと考えますか。

当てはまるもの全てに○

お墓の無縁化対策としての有効な手段について、「墓地に使用期限を設定し、承継する人がいなければ合葬する」が最も多く 56.1%、次いで「地方公共団体や公益団体、寺院等が管理する共同墓や合葬墓を増やす」が 47.7%、「散骨などにより、墓地そのものをなくしていく」が 21.7%と続いています。



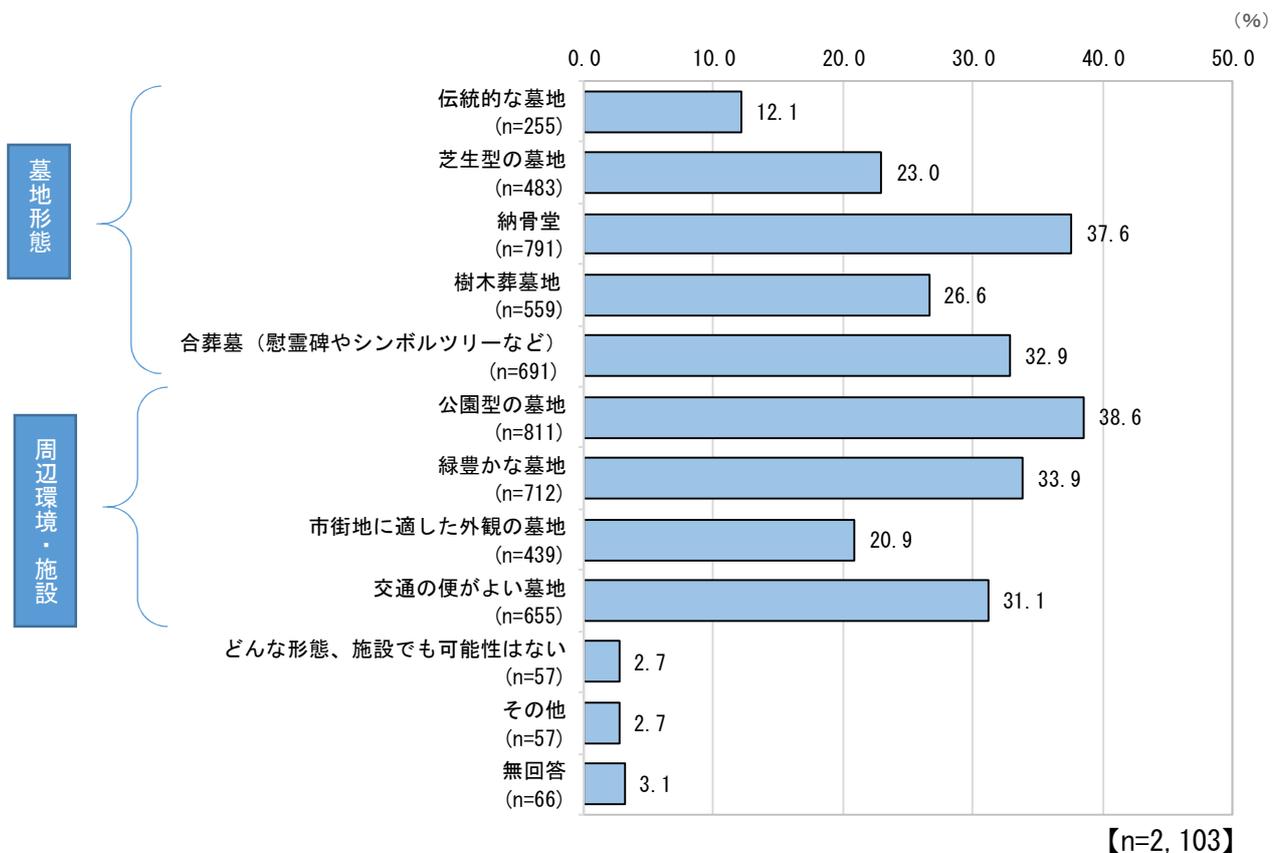
## 5. 大和市の墓地

Q19

市街地の多い大和市ですが、どのような墓地ならば、設置できる可能性があると考えますか。

当てはまるもの全てに○

どのような墓地ならば、大和市に設置できる可能性があるかについて、墓地形態では、「納骨堂」が最も多く 37.6%、次いで「合葬墓（慰霊碑やシンボルツリーなど）」が 32.9%、周辺環境・施設では、「公園型の墓地」が最も多く 38.6%、次いで「緑豊かな墓地」が 33.9%となっています。

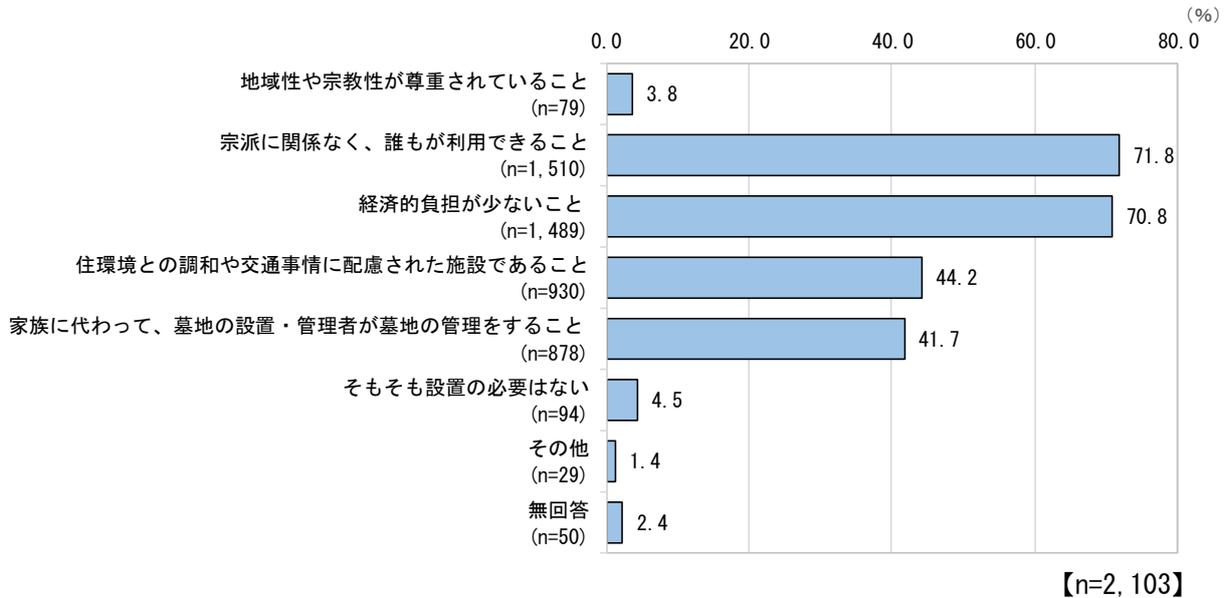


Q20

大和市中、新たに墓地を設置されるとしたら、何に重点を置くべきだと思いますか。

当てはまるもの全てに○

大和市中で新たに墓地が設置されるとしたら、何に重点を置くべきかについて、「宗派に関係なく、誰もが利用できること」が最も多く71.8%、次いで「経済的負担が少ないこと」が70.8%、「住環境との調和や交通事情に配慮された施設であること」が44.2%と続いています。



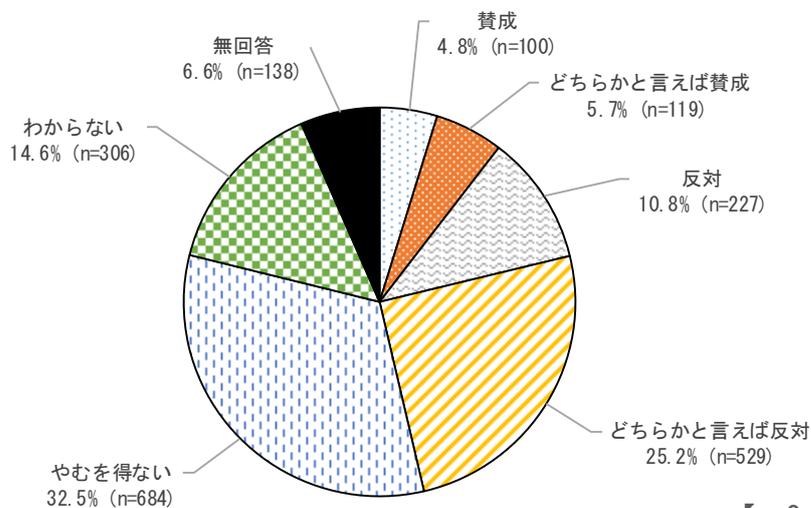
Q21

墓地があなたの家の周辺に建設される場合、どのように考えますか。

いずれか1つに○

墓地があなたの家の周辺に建設される場合、どのように考えるかについて、「やむを得ない」が最も多く32.5%、次いで「どちらかと言えば反対」が25.2%、「わからない」が14.6%と続いています。

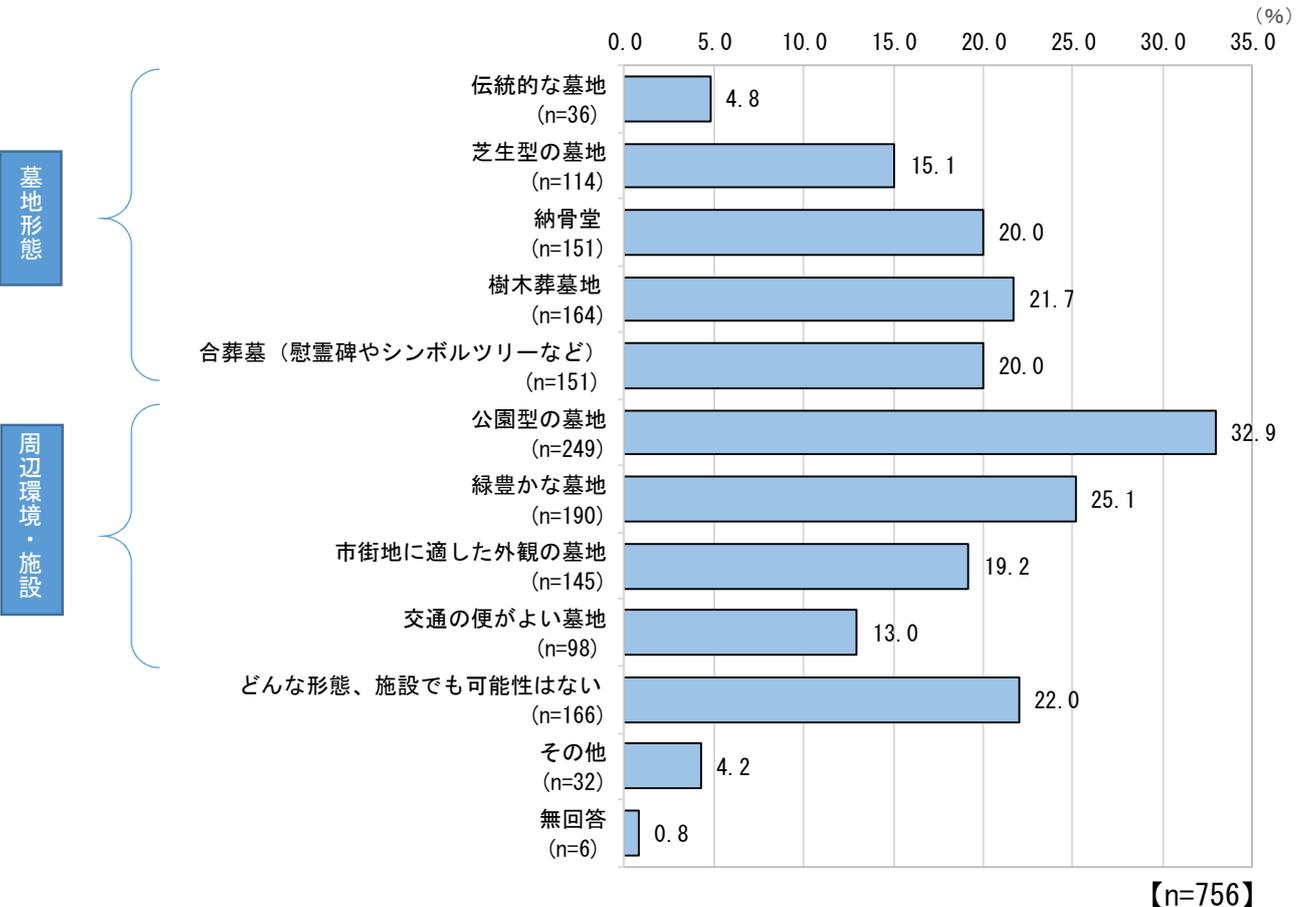
また、「賛成」「どちらかと言えば賛成」「やむを得ない」を合わせると43.0%となり、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせると36.0%となっています。



<b>Q21</b> (付問)	《Q21 において「反対」または「どちらかと言えば反対」を選択した方にお聞きします》 どのような墓地ならば、受け入れについて、容認できますか。	当てはまるもの全てに○
--------------------	--	-------------

墓地があなたの家の周辺に建設される場合に反対（どちらかと言えば反対）と考える方に、どのような墓地なら、受け入れについて容認できるかについて聞いたところ、墓地形態では、「樹木葬墓地」が最も多く 21.7%、次いで「納骨堂」「合葬墓（慰霊碑やシンボルツリーなど）」がそれぞれ 20.0%、周辺環境・施設では、「公園型の墓地」が最も多く 32.9%、次いで「緑豊かな墓地」が 25.1%となっています。

一方で、「どんな形態、施設でも可能性はない」は、22.0%となっています。

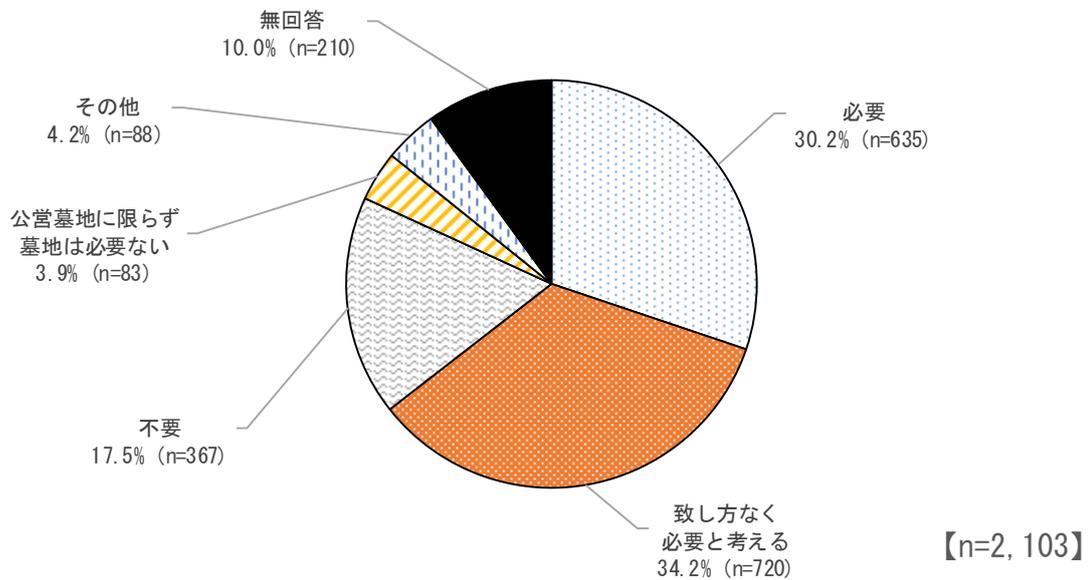


Q22

大和市において公営墓地が必要だと思いますか。

いずれか1つに○

大和市において公営墓地が必要だと思うかについて、「致し方なく必要と考える」が最も多く 34.2%、次いで「必要」が 30.2%、「不要」が 17.5%と続いています。

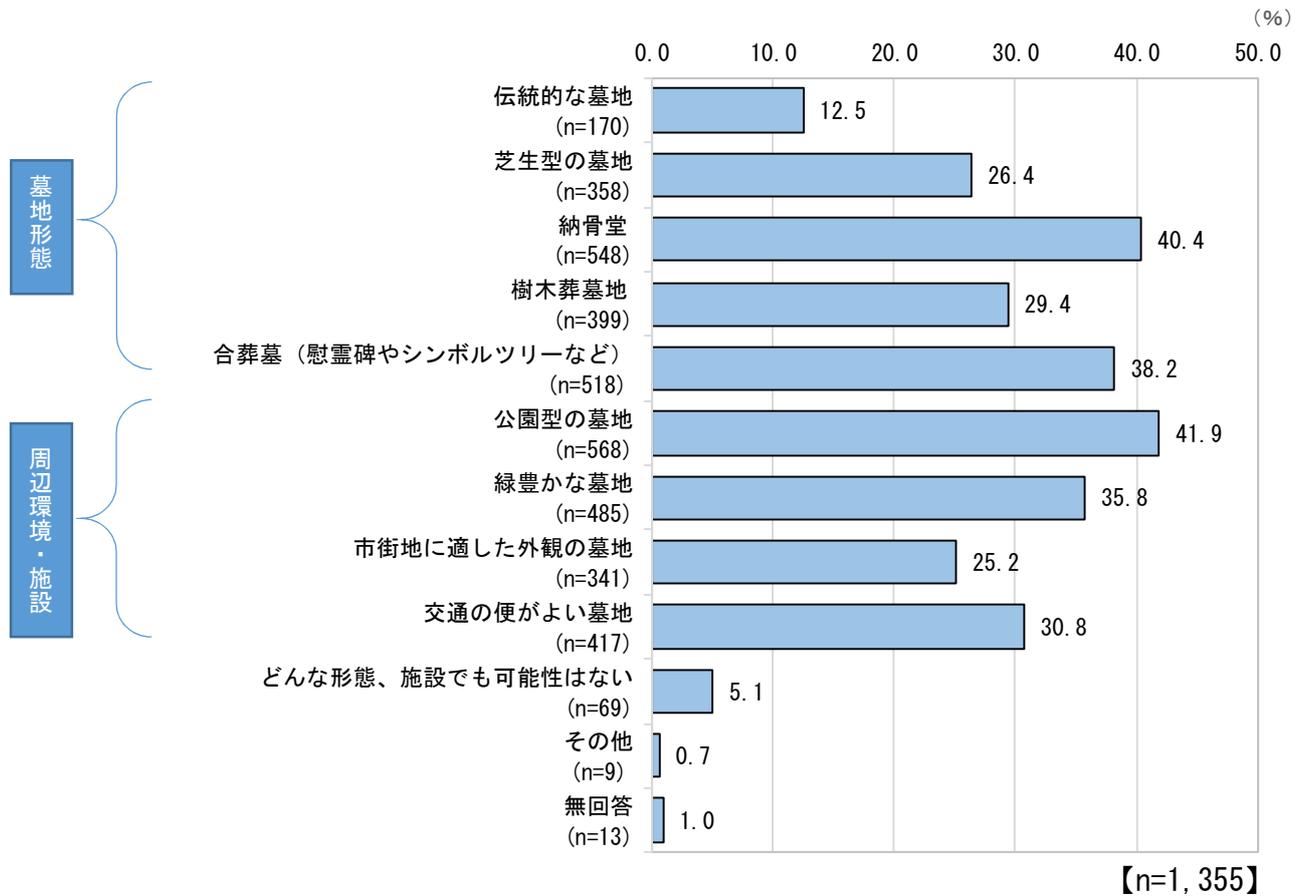


Q22  
(付問)

《Q21 において「必要」または「致し方なく必要と考える」  
を選択した方にお聞きします》  
どのような墓地が必要だと考えますか。

当てはまるもの全てに○

大和市において公営墓地が必要だと思う（致し方なく必要と考える）方に、どのような墓地が必要だと考えるかについて聞いたところ、墓地形態では、「納骨堂」が最も多く 40.4%、次いで「合葬墓（慰霊碑やシンボルツリーなど）」が 38.2%、周辺環境・施設では、「公園型の墓地」が最も多く 41.9%、次いで「緑豊かな墓地」が 35.8%となっています。



## 6. 自由意見

内容	件数
墓地の形態に関する意見	90
費用に関する意見	43
場所（施設・環境）に関する意見	31
墓地に対して否定的な意見	67
その他の意見	152

自由意見は、383 件ありました。墓地に対して、主な意見は以下のとおりです。

※意見は原文を使用しています。

### 【墓地の形態に関する意見】（90 件）

- ・お墓の無縁化に対して近くに墓地が無い事が要因の1つであると思うが、いざ自宅の付近に墓地が出来る考えると伝統的な墓地というよりも、もっと明るい外観の墓地が増えても良いかもと感じた。
- ・親戚が少ないので、今までお墓の重要性を感じたことはありませんでした。亡くなった人の骨を土に埋めて、スペースを取って管理するという事に意味を感じません。散骨などに興味があります。
- ・墓地はイメージで怖いものだから、合葬墓にして、シンボルツリーなどにしてくれたら、怖いイメージも少しはなくなると思います。
- ・人間は自然にかえるということで、樹木葬、散骨が良いのかなと思っています。
- ・昔ながらの墓地だとやはり気分的によくない（子供がこわがるので）。でも、外観などを考慮し、納骨堂のようなものなら、あってもいいと思う。
- ・時間がかかるかもしれませんが、樹木葬墓地や合葬墓でもよいという考えの人が多くなるように思います。（私もふくめて）最終的には土に返すものですし。
- ・共同墓、集合墓でいずれは合葬でかまわないが、埋葬後 10 数年（子供 e t c がお墓参りできる間位）は小さくても良いので、個人をお参りできる個別の場所があってほしい。
- ・自然に帰るような樹木葬墓地がいいかなと思います。街全体で管理して安心して眠れるところが希望。
- ・少子化で管理できる人がいなくなるため、自分で墓地を処分して合葬や期限付きの公営の墓地がのぞましいと思う。
- ・現在、芝生墓地がありますが、これからは樹木葬墓地又合葬墓地等が良いと思います。
- ・ちょうど「BE-PAL」（小学館）という雑誌・7月号で樹木葬についての記事を読み、興味を持ちました。日本生態系協会が運営に携わっているとのことで、人間を自然の一部として考えて、葬送するという考え方に共感を覚えます。大和市は市街地以外にも、境川や引地川沿いに自然を大切にすべき土地がまだまだあると思います。また、厚木基地周辺も可能性のある土地だと思います。明治神宮の森のように、100 年後を見据えた環境施策のひとつとして、墓地についても考えていただけたらと考えます。

### 【費用に関する意見】(43件)

- ・お墓が高価なので買えないと言うことを耳にします。安心して最後を迎えられるような、誰でも買えるお墓を作ったらいかがでしょうか。
- ・経済的不便で、誰もが平等に気兼ねなく定額料金を購入出来る。車など持っていない人でも交通便利な場所の墓地が有ったら良いと思います。
- ・近年は子供が少子化で住宅ローン、教育ローン、車ローンなどで生活が大変であるのではないですか。お墓などの取得に数百万円するので、マンション型の安価納骨堂を望みます。
- ・大和市の公営墓地を希望していましたが、いつ設置されるかわからなかったので周辺市を探しましたが、市外在住者は申請が出来なかったので、民営の墓地を購入しました。金額的にも負担になるので、より安価な納骨堂方式などがあれば、こちらにしたいと思います。
- ・公営墓地よりもっと安い方法(散骨等)を取ればよい。(安さが重要なのであれば)
- ・大和市に公営墓地ができて、お墓を移動させるとなった場合の費用や手間がかからないものがないです。
- ・1つの型にあてはめるのではなく、リーズナブルなものが良いと思われる。
- ・墓地は必要だと思うが、税金で負担することに抵抗を感じる。
- ・Q22の大和市の公営墓地についてですが、公営にするのは構わないが、その経費を市税で負担という点は反対です。使用している方達の家族、親族が税金を支払うのは良いと思いますが、全市民への税負担というものは避けるべきだと思います。
- ・散骨の手続きを簡素化にしたり、費用負担を少なく散骨できるようなシステムづくりをして欲しい。

### 【場所(施設・環境)に関する意見】(31件)

- ・私は若い頃より墓は不要と思って生きてきました。子供にも海洋葬を希望していることを伝えてあります。ただ、今は生き方や考え方も多様で墓を希望されている方も多いと思われます。私の兄が横浜市営メモリアルグリーンに眠っていますが、公園型墓地ということもあり、花と緑に囲まれ良い印象を持っています。参考にさせていただければと思います。
- ・公園型の緑豊かな墓地は、自然保護の意味や温暖化防止の意味でも良いと思います。早朝から開園していれば、ウォーキングなども出来て良いのではないのでしょうか。(犬の散歩は禁止として)
- ・いずれはすべての人が、どこかに還るので、他人事とは思わず、税金からの負担もいたしかなく考えます。マイナスイメージが強いですが、清楚で明るく、色んな年齢層が利用できる施設(グラウンドやプール)を併設した公園型を望みます。
- ・東京都営墓地の様な集約的か大型墓地があるとよいと思います。
- ・是非実現させてください。既存の暗いイメージの墓地が、一新され、明るく、お散歩したくなるような、皆が仲良く集えるようなものが良いです。お墓参りだけでなく、いつでも行きたくなるような、普通の公園の役割も兼ね備えているとよいと思います。亡くなってからも維持費などでお金がかかることのないように初期に一括で納入して、それで終わり、というものが良いと思います。夫婦など、一緒に入りたい場合なども考慮してほしいです。例えば、一方が先に入れば、あとからもう一方も同じ場所に入れるようにするとか。墓石などが見えると、イメージが固定されますが、公園、緑地のようだと、たとえ近所に出来ても抵抗がなく、かえって、自宅からすぐ散歩など出来て嬉しいと思います。大型の場合

は駐車場など完備されるべきです。泉の森の一角にそのような場所があっても良いかもしれませんが、個人的には樹木葬が良いなと思いますが、「この木の下」など決まってしまうと、もしその木が枯れてしまった時嫌な気持ちになるかもしれません。

- ・明るい納骨堂を作ってください。たとえば緑の多い公園の中などに。土地を必要とする墓地は個人の満足は得るかもしれませんが、これからの未来にとって環境の良いものではないと思います。みんなが当たり前前に合葬墓や納骨堂に入るという世の中になるほうが良いと思います。市街化調整区域の緑を無くし、墓を作るなどやめて下さい。見渡す限り墓石が並んでいる景色など見たくありません。私達の親は墓地を持っていますが、そこに入るかわかりません。なぜなら、子供に墓守をさせるつもりはないからです。共同墓など考えてます。
- ・芝生型の墓地の一部に合葬墓を加えて、家族で昼食を兼ねて、お参りに楽しくなる様な施設を希望します。
- ・明らかに墓地とわかるものではなく、公営・共同墓地なら、きれいな公園のように普段から誰もが行ってみたいくなる素敵な場所にしてほしい。発想を変えて、にぎやかでもよいのでは。
- ・公営墓地を作るなら、公園型として複合的な施設を作ると良いと考えます。

#### 【墓地に対して否定的な意見】(67件)

- ・これからは、お墓にこだわらない方向へ進んでいくと思います。私は墓はいらないと考えています。
- ・市民の一部の者しか使用できないものは不要。希望する市民100%が使用できるものは公平。検討の予定有り。
- ・公営墓地は不要とした理由に、建設地や利用料も含め、利用者の確保(ニーズ)と事業の採算性に不安を感じます。市税などで負担し続けた結果、市の財政が悪化し、税率が上がっても困る。また、公営墓地を利用できるのは、一部の市民のみ。一部の市民だけが市の恩恵を受けるのは不平等である。他の行政の事例や取組を参考にしながら、十分検討願います。
- ・公営墓地は税金が使用されてるのであれば、反対です。経費は入った方々で負担して欲しいです。払えない方は払えない方法の払わなくてよい方法にして欲しいです。払えないというのは、蓄えをせずにいた方なのでしょうから、それなりにあった方法にしかできないのでは。税金を充てないでください。
- ・自分は墓に入りたくないと考えています。

#### 【その他】(152件)

- ・もっと早く公営墓地が欲しかったです。
- ・現在所有しているので考えたこともなく、又考えもしませんので、特に意見等ありません。
- ・お寺とのおつき合が大変です。果たして子孫が、継いでくれるか不安です。
- ・お墓について考えたことがありません。
- ・兄弟が少数、子供は結婚しません、墓を守る人がいません。
- ・申し訳ございませんが、計画が大変おそい事が残念です。すでに他の地に求めました。
- ・個人の心の問題で百人百様だと思います。今後は少子化と経済的に負担出来ない人が多数になると思います。

- ・少ない土地に墓地を作るより、そのお金を斎場などの建設の方が先であって欲しい。人は死んだら何もない。墓よりも前にとり行う葬儀の方が大切だから、斎場の建設を優先させるべきだと思う。
- ・墓地のあり方には個々の違った考えがあるし、環境も違うので「何とも言えない」というのが本音。このアンケートで墓地不要と答えても、実際既に保持していれば、それをわざわざ墓じまいするというのも面倒くさいと思う。そうこうしているうちに自分がその墓に入ることになってしまうというのが現実の様な気がする。その結果、墓があれば当座、子は苦勞せず、親を葬れる。だが、管理とお布施等色々年々やらねばならぬことが出てくる（この私がそうである）。その結果、墓地不要、散骨希望となるが、はたしてそううまく事が運ぶか疑問である。堂々巡り。

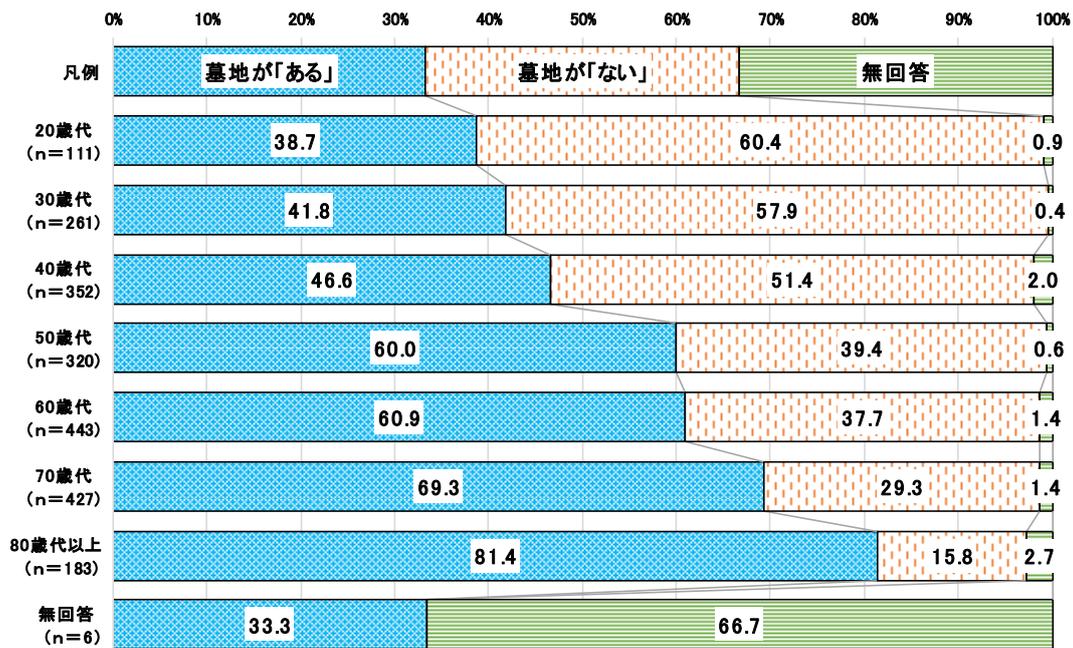
## 7. 結果の追加分析

### (1) 墓地の所有状況について

#### ①年代別【Q2×Q10】

年代別にみると、墓地が「ある」は、「80歳代以上」が最も多く81.4%、次いで「70歳代」が69.3%となっています。

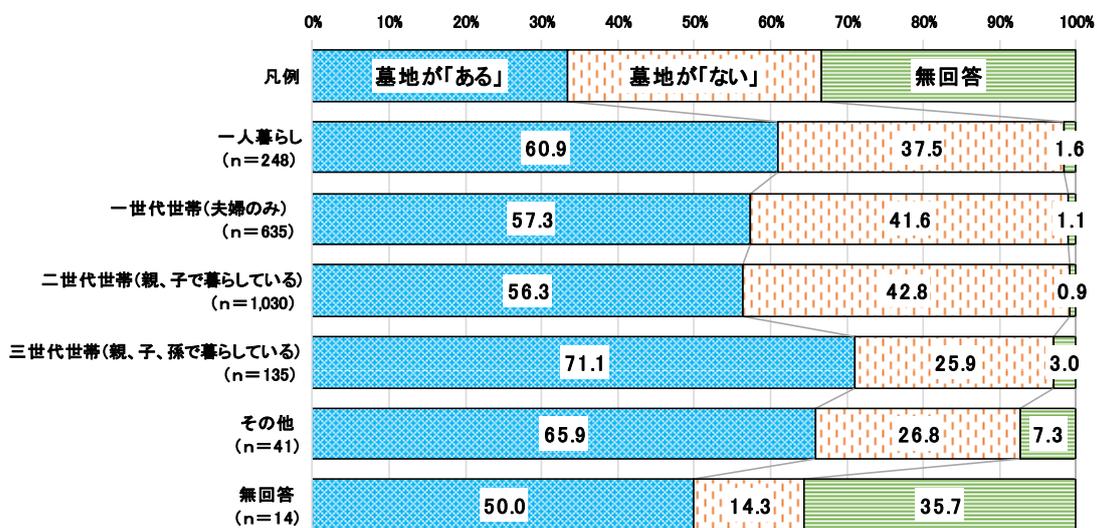
また、「20歳代」が最も少なく38.7%となっており、年齢が上がるにつれて、墓地の所有が高くなっています。



【n=2,103】

#### ②世帯別【Q3×Q10】

世代別にみると、墓地が「ある」は、「三世帯世帯（親、子、孫で暮らしている）」が最も多く71.1%となっています。



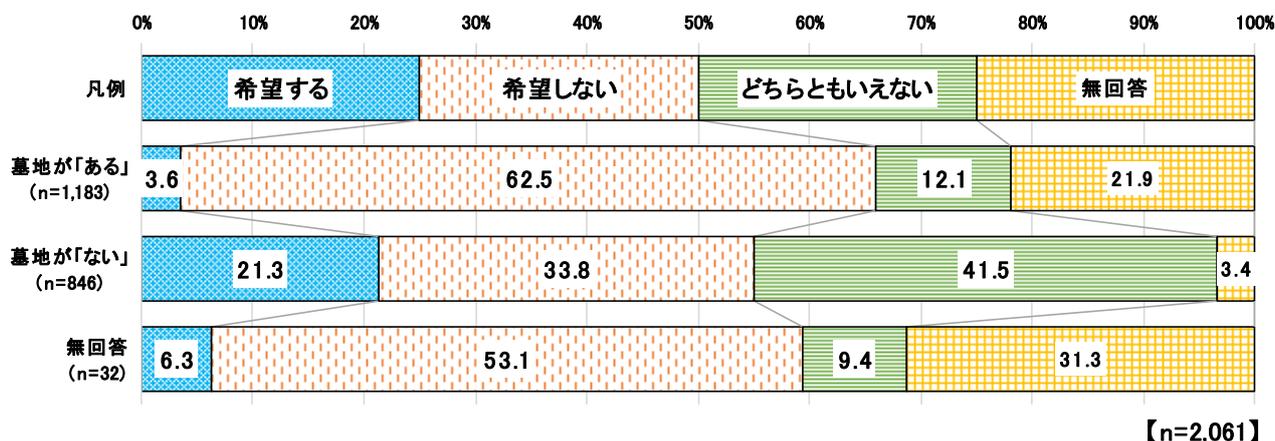
【n=2,103】

### ③墓地の所有状況別

#### 1) 新たな墓地取得希望【Q10×Q11】

新たな土地の取得希望を墓地の所有状況別にみると、墓地が「ある」方は、新たに墓地取得を「希望しない」が最も多く62.5%となっています。

墓地が「ない」方は、「どちらともいえない」が最も多く41.5%、次いで「希望しない」が33.8%と続いています。



#### 2) お墓への思い【Q10×Q15】

お墓への思いを墓地の所有状況別にみると、墓地が「ある」方は、「自分や家族が永眠する場所」が最も多く69.6%、次いで「ご先祖様に思いをはせる重要な場所」が53.8%と続いています。

墓地が「ない」方は、「自分や家族が永眠する場所」が最も多く57.9%、次いで「ご先祖様に思いをはせる重要な場所」が42.4%と続いています。

単位：%

	全体	Q15							
		ご先祖様に思いをはせる重要な場所	自分や家族が永眠する場所	お彼岸などの時季に思い出す場所	承継者の不在や多額な経済的負担など、大きな悩みの原因となっている場所	自分には必要ない場所	その他	無回答	
合計	n=2,103	48.8	64.5	25.2	12.2	7.1	2.7	2.1	
Q10	墓地がある	n=1,225	53.8	69.6	26.4	8.8	3.1	2.3	2.1
	墓地がない	n=846	42.4	57.9	24.0	16.8	13.1	3.1	1.8
	無回答	n=32	25.0	43.8	12.5	18.8	3.1	9.4	12.5

【n=2,103】

### 3) お墓の設置・管理者に求められること【Q10×Q16】

お墓の設定・管理者に求められることを墓地の所有状況別にみると、墓地が「ある」方は、「周辺環境との調和が図られた施設とすること」が最も多く 64.3%、次いで「お線香の煙への配慮や供養物の管理など、環境衛生対策をしっかりとやること」が 36.8%と続いています。

墓地が「ない」方は、「周辺環境との調和が図られた施設とすること」が最も多く 61.8%、次いで「自然と共生した施設とすること」が 42.4%と続いています。

単位：%

		全体	Q16								
			周辺環境との調和が図られた施設とすること	周囲から墓石が見えないような工夫をすること	自然と共生した施設とすること	交通渋滞や違法駐車など、周辺の交通事情に配慮された施設とすること	夜間帯などの防犯対策をしっかりとやること	お線香の煙への配慮や供養物の管理など、環境衛生対策をしっかりとやること	一見して、墓地施設とは思われない外観にすること	その他	無回答
合計		n=2,103	62.7	9.3	37.7	35.4	22.0	38.7	6.1	2.8	4.1
Q10	墓地が「ある」	n=1,225	64.3	7.8	34.7	35.4	22.7	36.8	4.9	2.9	5.0
	墓地が「ない」	n=846	61.8	11.3	42.4	35.8	21.2	41.6	7.8	2.6	2.1
	無回答	n=32	25.0	9.4	28.1	21.9	15.6	31.3	9.4	3.1	25.0

【n=2,103】

### 4) 墓地を巡る課題別【Q10×Q17】

墓地を巡る課題を墓地の所有状況別にみると、墓地が「ある」方は、「墓地を承継する者がいないこと」が最も多く 61.2%、次いで「購入費、維持管理費などの経済的負担が大きいこと」が 56.2%と続いています。

墓地が「ない」方は、「購入費、維持管理費などの経済的負担が大きいこと」が最も多く 71.5%、次いで「墓地を承継する者がいないこと」が 65.5%と続いています。

単位：%

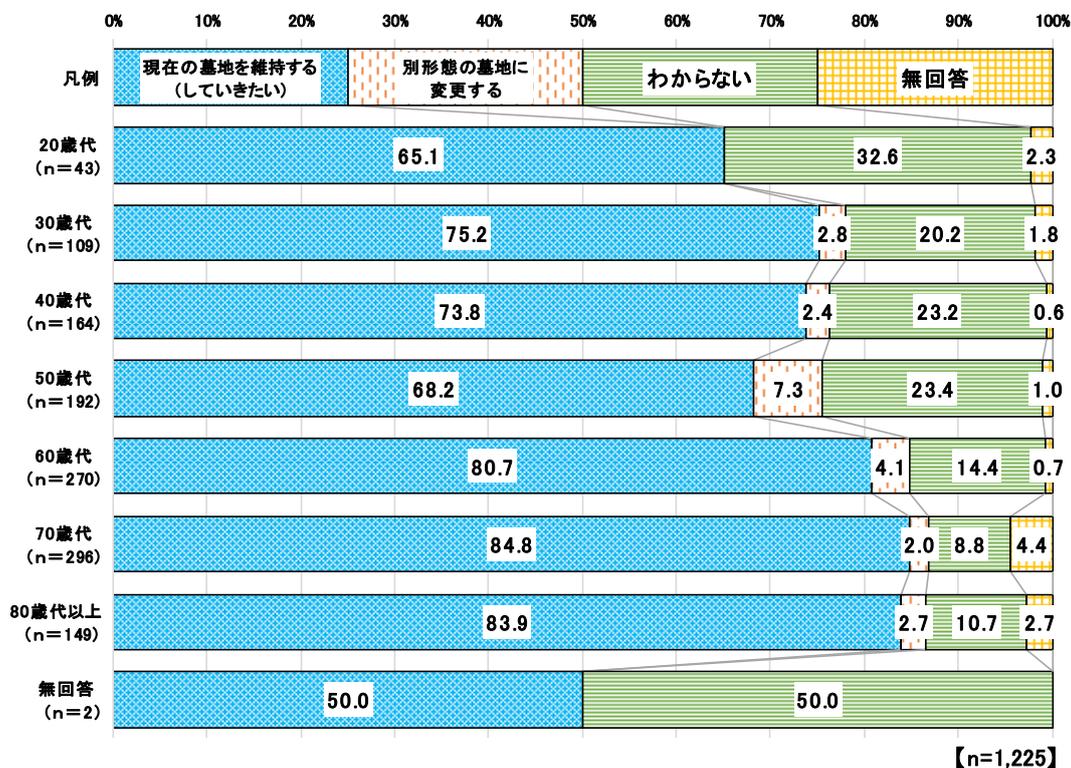
		全体	Q17					無回答
			墓地を承継する者がいないこと	購入費、維持管理費などの経済的負担が大きいこと	共同墓や合葬墓などの数が足りないこと	都市部では墓地の建設ができるような広い場所の確保が困難であること	その他	
合計		n=2,103	62.6	62.1	18.8	40.6	3.8	4.1
Q10	墓地が「ある」	n=1,225	61.2	56.2	15.1	39.3	4.2	5.3
	墓地が「ない」	n=846	65.5	71.5	24.3	43.3	3.1	1.5
	無回答	n=32	40.6	40.6	15.6	18.8	6.3	25.0

【n=2,103】

(2) 墓地の維持状況について

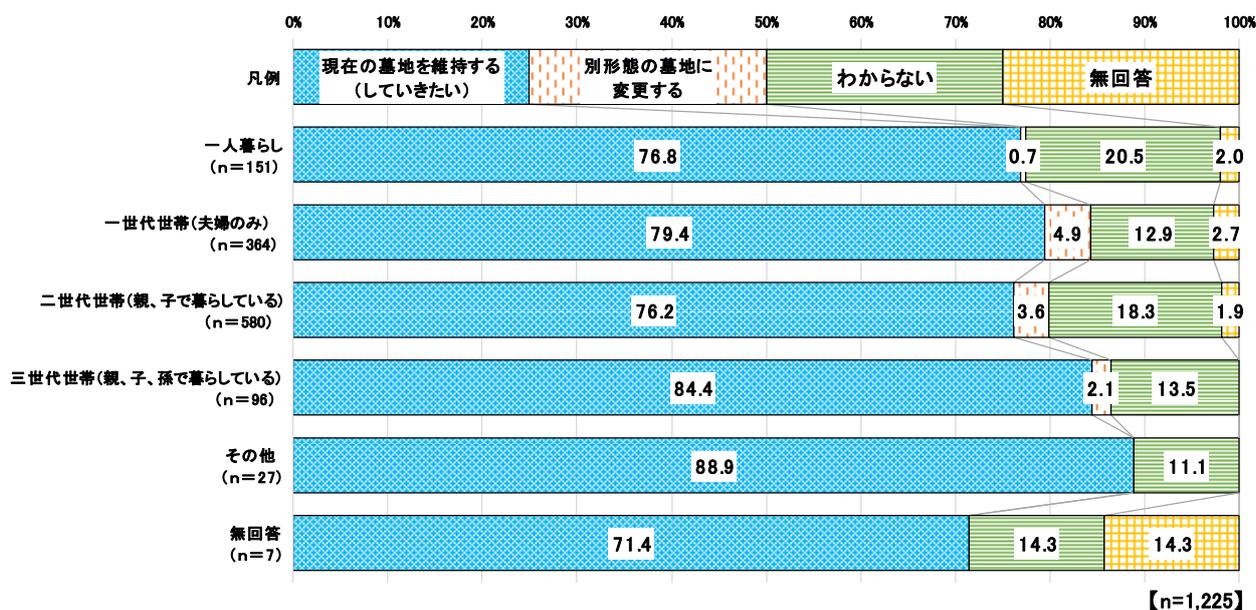
①年代別【Q2×Q10-4】

年代別にみると、「現在の墓地を維持する(していきたい)」は、全ての年代において6割以上となっていますが、その中でも「70歳代」が最も多く84.8%となっています。次いで「80歳代以上」が83.9%、「60歳代」が80.7%と続いています。



②世帯別【Q3×Q10-4】

世帯別にみると、「現在の墓地を維持する(していきたい)」は、全ての世代において7割以上となっていますが、その中でも「三世帯世帯(親、子、孫で暮らしている)」が最も多く84.4%となっています。

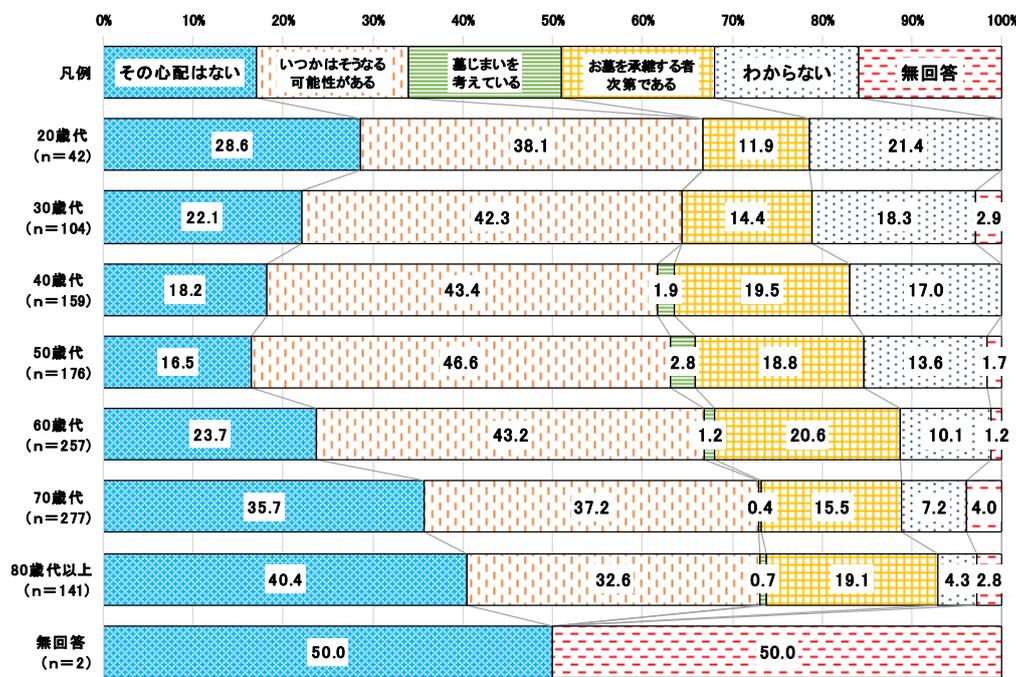


### (3) 墓地の無縁化の可能性について

#### ①年代別【Q2×Q10-7】

年代別にみると、「その心配はない」は、「80歳代以上」が最も多く40.4%となっています。

「その心配はない」は、20歳代から50歳代までは年齢が上がるにつれて低くなっており、50歳代から80歳代までは年齢が上がるにつれて高くなっていきます。

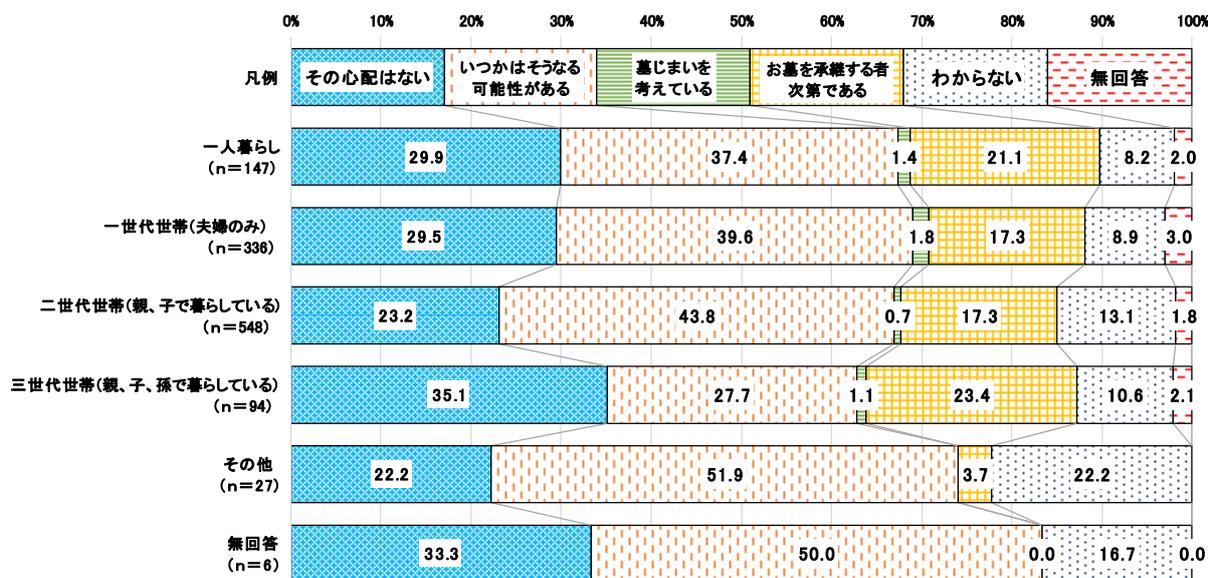


【n=1,158】

#### ②世帯別【Q3×Q10-7】

世帯別にみると、「その心配はない」は、「三世帯世帯（親、子、孫で暮らしている）」が最も多く35.1%となっています。

また、「お墓を承継する者次第である」が最も多いのは、「三世帯世帯（親、子、孫で暮らしている）」で23.4%となっています。

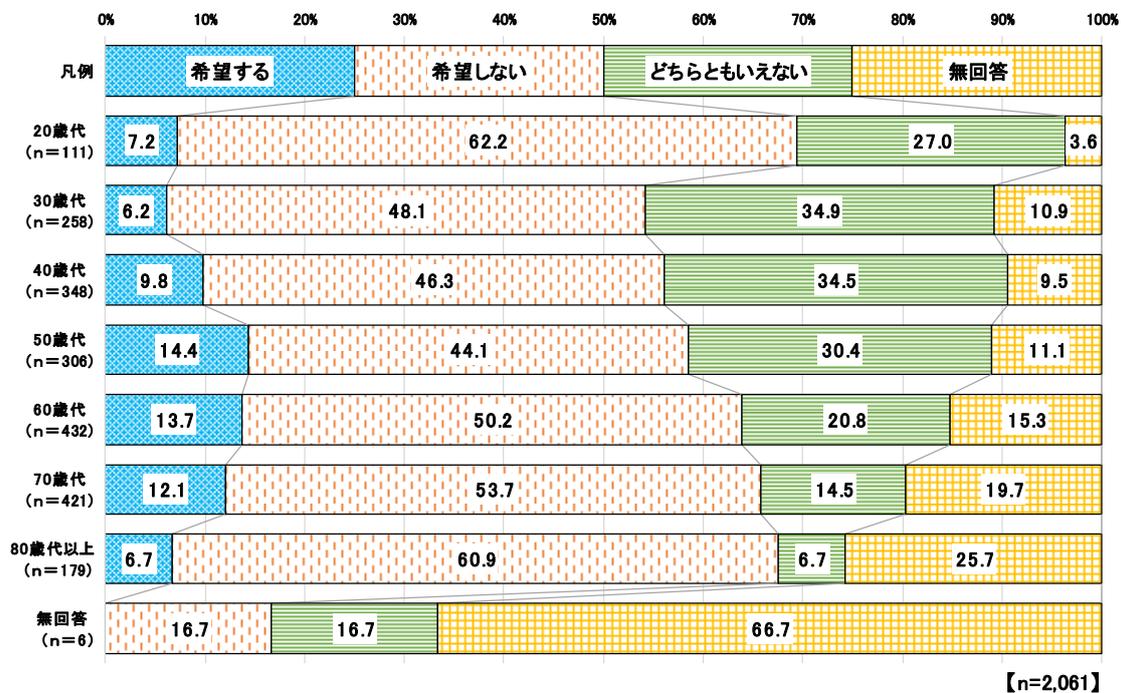


【n=1,158】

#### (4) 新しい墓地の取得希望について

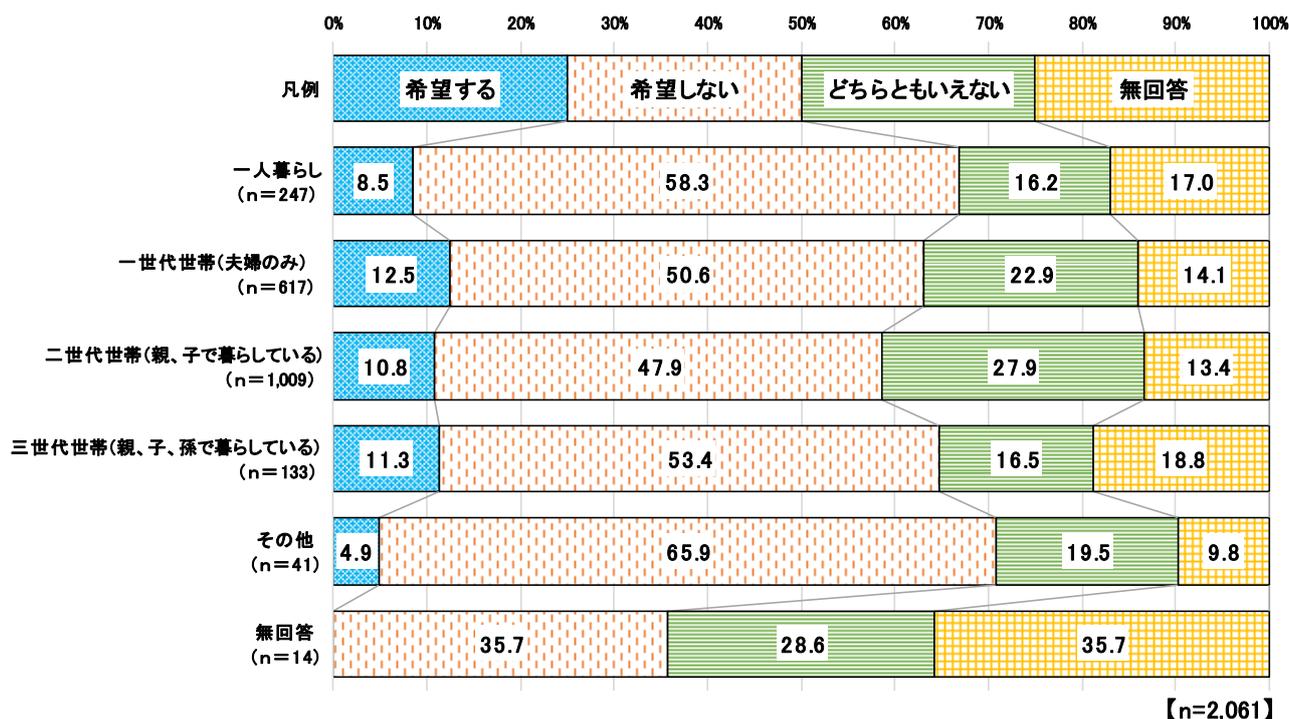
##### ①年代別【Q2×Q11】

年代別にみると、新しい墓地の取得を「希望しない」が全ての年代で最も多く、特に「20歳代」「80歳代」で多くなっています。



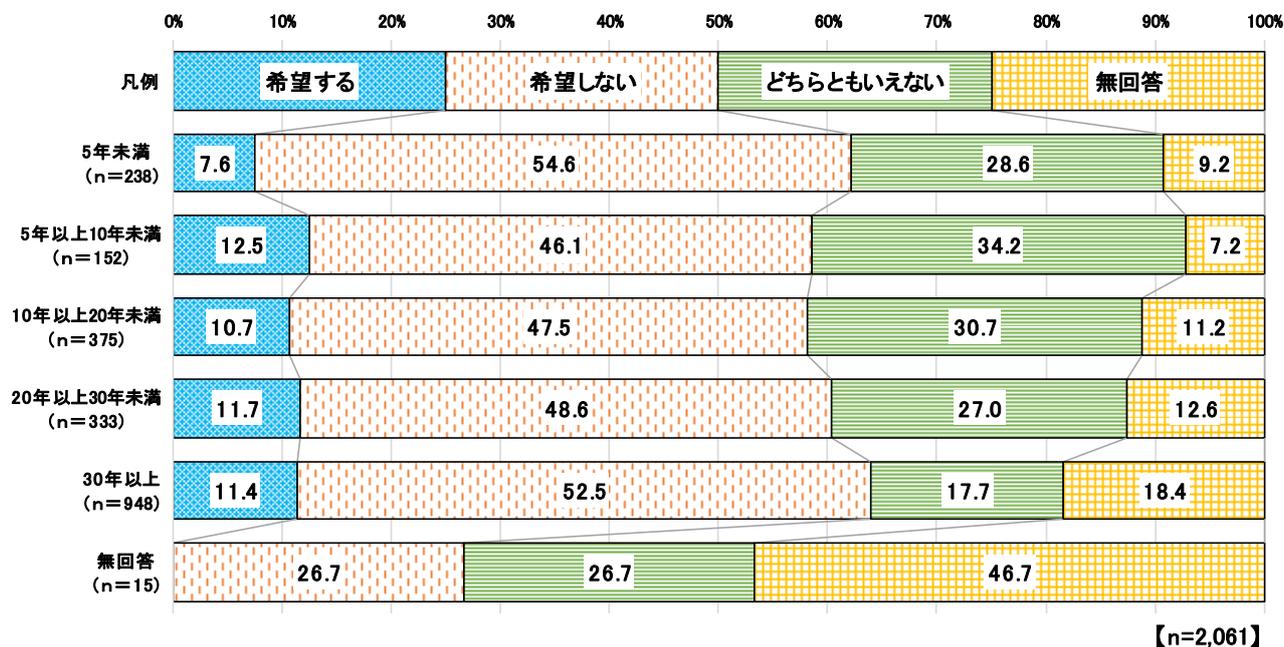
##### ②世帯別【Q3×Q11】

世代別にみると、新しい墓地の取得を「希望する」は、「一世代世帯（夫婦のみ）」が最も多く 12.5%、次いで「三世代世帯（親、子、孫で暮らしている）」が 11.3%、「二世帯世帯（親、子で暮らしている）」が 10.8%と続いています。



### ③居住期間別【Q7×Q11】

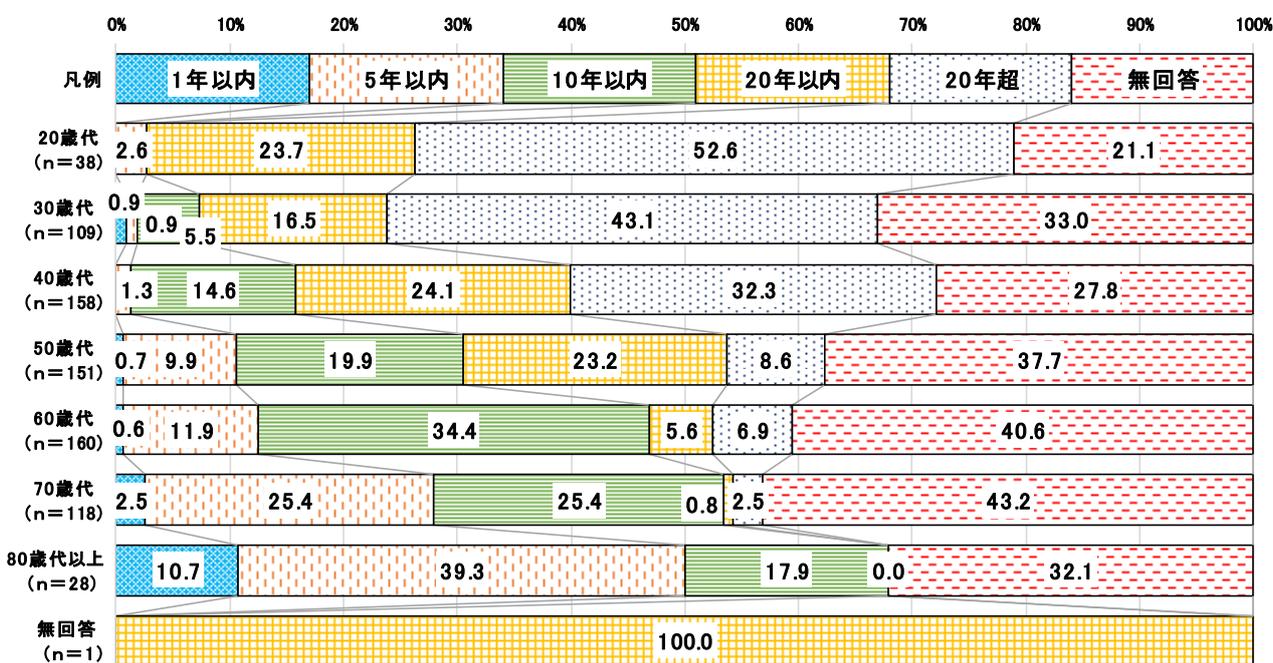
居住期間別にみると、新しい墓地の取得を「希望する」は、「5年以上10年未満」が最も多く12.5%、次いで「20年以上30年未満」が11.7%、「30年以上」が11.4%と続いています。



(5) お墓の取得(変更)時期について

①年代別【Q2×Q11-1】

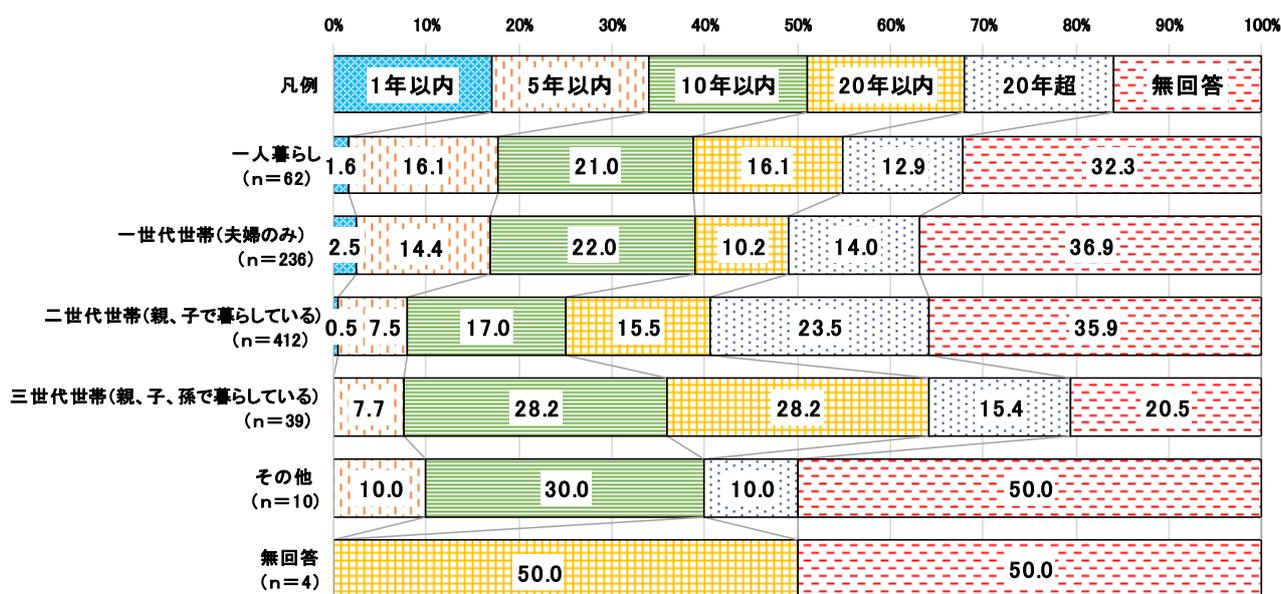
年代別にみると、年齢が上がるにつれて、墓地の取得(変更)時期が短くなっています。



【n=763】

②世帯別【Q3×Q11-1】

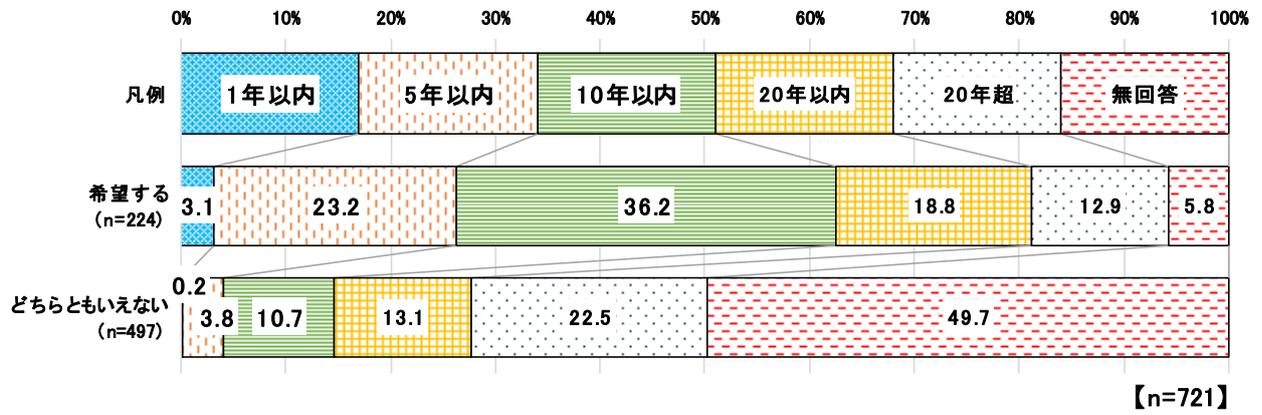
世帯別にみると、「二世帯世帯(親、子で暮らしている世帯)」は、「20年超」が最も多く23.5%となっており、他の世帯と比較すると、取得(変更)時期が長い傾向にあります。



【n=763】

### ③新たなお墓の取得希望別【Q11×Q11-1】

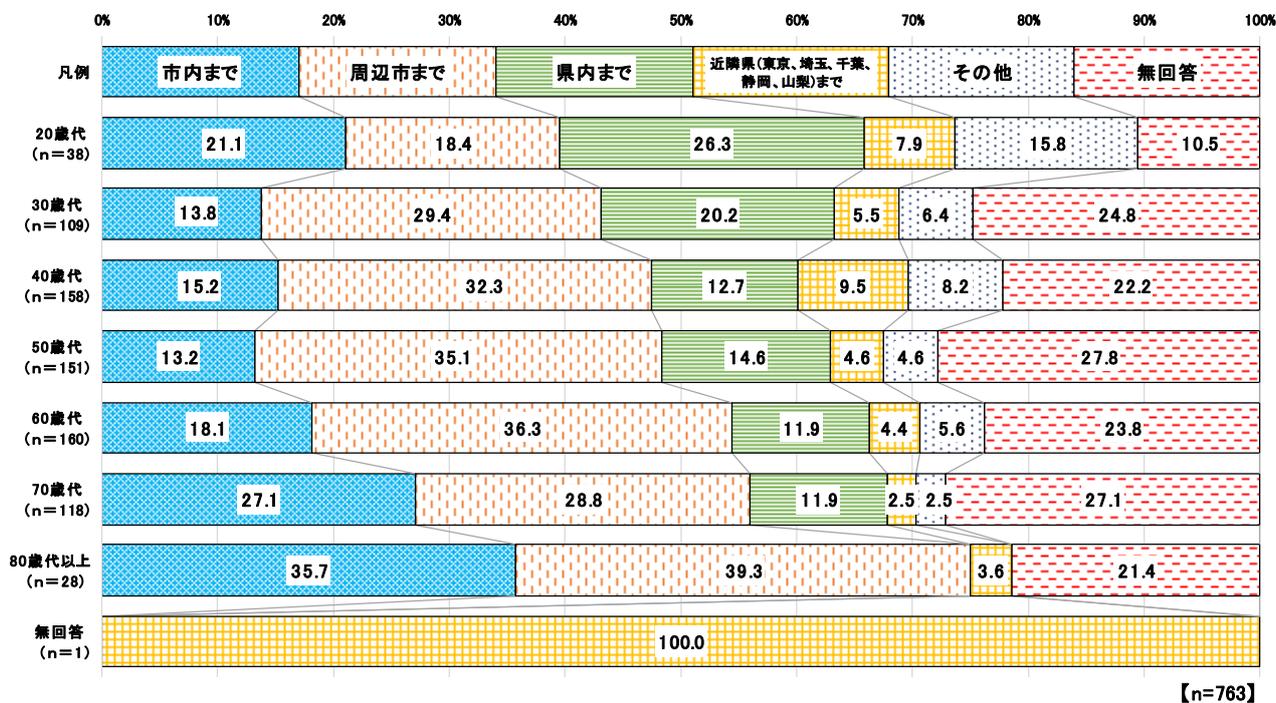
新たなお墓の取得希望別にみると、「希望する」は、「10年以内」が最も多く36.2%、次いで「5年以内」が23.2%と続いています。



(6) お墓の取得地域について

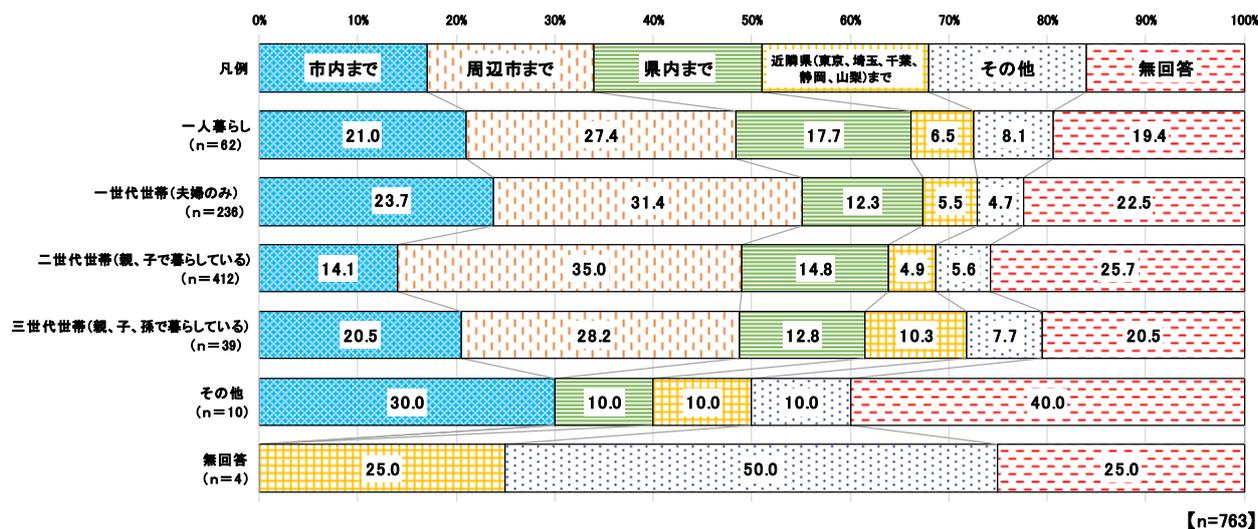
①年代別【Q2×Q11-5】

年代別にみると、「市内まで」は、「50歳代」以降において、年齢が上がるにつれて高くなっています。



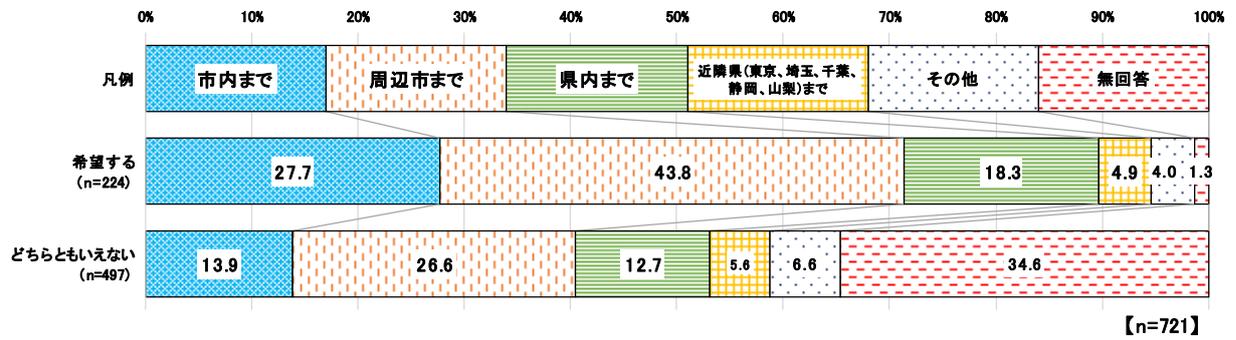
②世帯別【Q3×Q11-5】

世帯別にみると、「周辺市まで」は、全ての世帯において最も多く、それぞれ約3割となっています。また、「市内まで」は、「一世代世帯(夫婦のみ)」が最も多く23.7%となっています。



### ③新たなお墓の取得希望別【Q11×Q11-5】

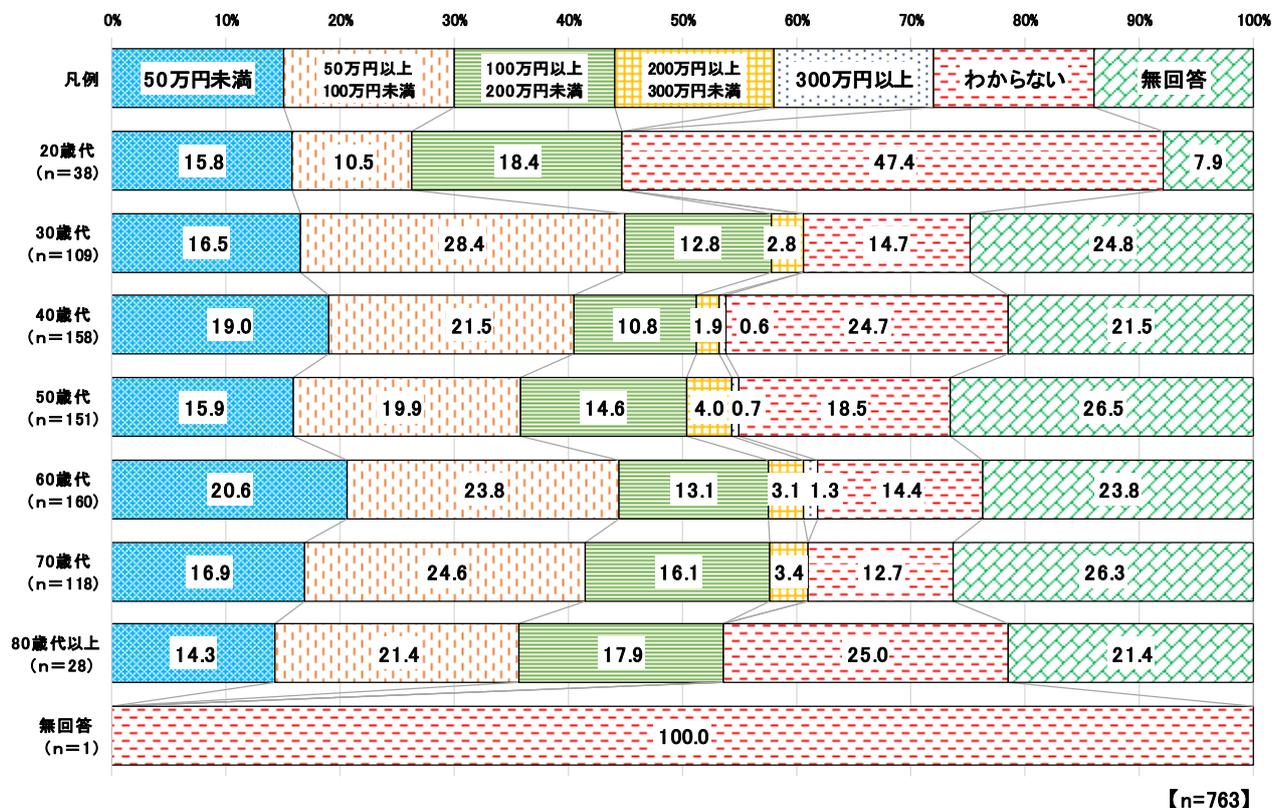
新たなお墓の取得希望別にみると、「希望する」は、「周辺市まで」が最も多く 43.8%、次いで「市内まで」が 27.7%と続いています。



(7) お墓の取得にかけられる費用

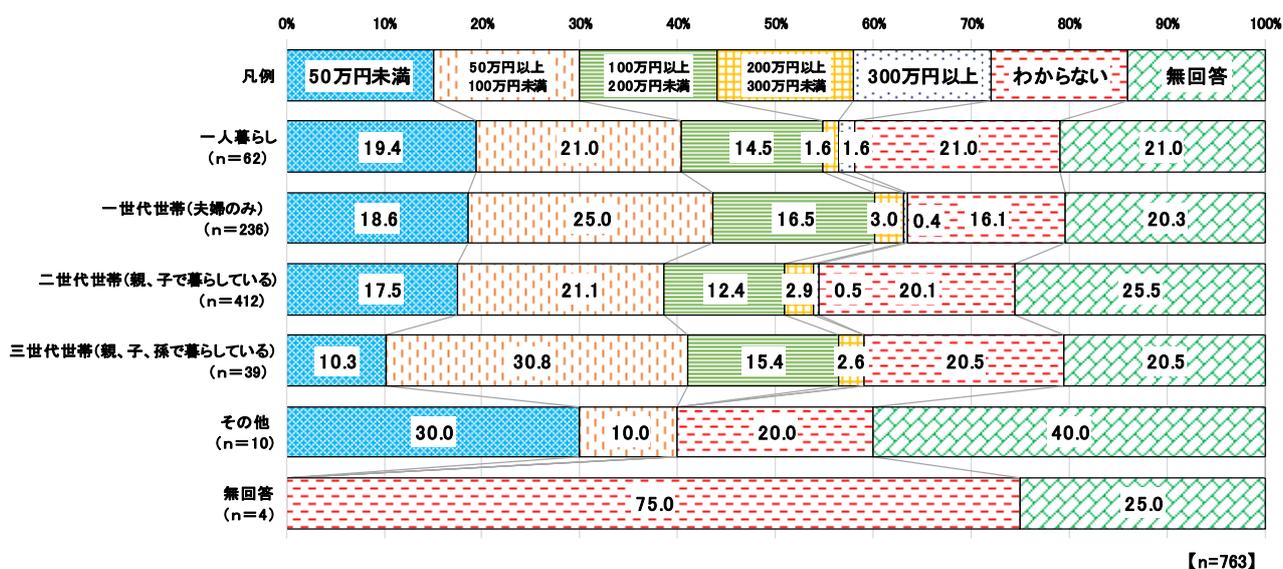
①年代別【Q2×Q11-6】

年代別にみると、「50万円以上100万円未満」は、「20歳代」では10.5%、「30歳代」では28.4%、「40歳代」以降はそれぞれ約2割となっています。



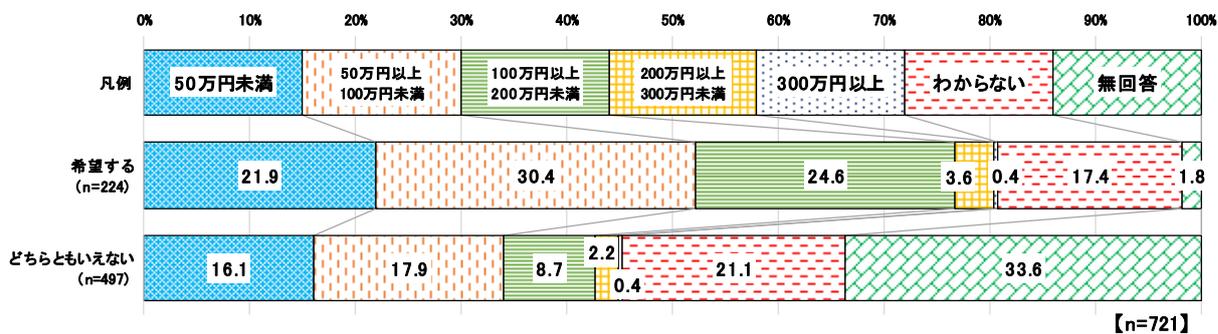
②世帯別【Q3×Q11-6】

世帯別にみると、全ての世帯において「50万円以上100万円未満」が最も多く、その中でも「三世帯世帯（親、子、孫で暮らしている世帯）」が最も多く30.8%となっています。



### ③新たなお墓の取得希望別【Q11×Q11-6】

新たなお墓の取得希望別にみると、「希望する」は、「50万円以上100万円未満」が最も多く30.4%、次いで「100万円以上200万円未満」が24.6%と続いています。



(8) 大和市で設置可能なお墓について

①年代別【Q2×Q19】

年代別にみると、「墓地形態」は、全ての年代において「納骨堂」が最も多くなっています。

また、「周辺環境・施設」は、「20歳代」「30歳代」は「緑豊かな墓地」が最も多く、「40歳代」「50歳代」「60歳代」は「公園型の墓地」が最も多く、「70歳代」「80歳代以上」は「交通の便がよい墓地」が最も多くなっています。

単位：%

	全体	Q19 墓地形態					周辺環境・施設				どんな形態、施設でも可能性はない	その他	無回答	
		伝統的な墓地	芝生型の墓地	納骨堂	樹木葬墓地	合葬墓(慰霊碑やシンボルツリーなど)	公園型の墓地	緑豊かな墓地	市街地に適した外観の墓地	交通の便がよい墓地				
合計	n=2,103	12.1	23.0	37.6	26.5	32.9	38.6	33.9	20.9	31.1	2.7	2.7	3.1	
Q2	20歳代	n=111	14.4	16.2	44.1	30.6	30.6	32.4	35.1	24.3	31.5	3.6	1.8	0.0
	30歳代	n=261	12.6	26.4	40.2	28.7	33.0	41.0	41.8	23.8	26.1	2.3	4.6	0.0
	40歳代	n=352	15.3	26.1	40.9	29.0	36.6	42.6	38.6	23.6	24.4	3.1	3.4	1.7
	50歳代	n=320	9.4	24.4	46.6	33.1	38.1	46.9	38.1	22.8	29.4	2.5	2.8	1.9
	60歳代	n=443	12.2	23.5	39.3	29.6	36.8	40.4	35.0	23.0	35.9	2.9	2.7	1.6
	70歳代	n=427	11.5	22.0	30.0	19.2	29.5	32.3	25.8	15.9	36.5	2.6	1.6	7.5
	80歳代以上	n=183	10.4	14.8	22.4	14.8	16.4	26.8	21.9	12.0	30.1	2.2	1.6	8.2
	無回答	n=6	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0

【n=2,103】

②世帯別【Q3×Q19】

世帯別にみると、「墓地形態」は、「一人暮らし」は「合葬墓(慰霊碑やシンボルツリーなど)」が最も多く39.5%となっていますが、その他の世帯では「納骨堂」が最も多くなっています。

また、「周辺環境・施設」は、全ての世代において「公園型の墓地」が最も多く、それぞれ3割以上となっています。

単位：%

	全体	Q19 墓地形態					周辺環境・施設				どんな形態、施設でも可能性はない	その他	無回答	
		伝統的な墓地	芝生型の墓地	納骨堂	樹木葬墓地	合葬墓(慰霊碑やシンボルツリーなど)	公園型の墓地	緑豊かな墓地	市街地に適した外観の墓地	交通の便がよい墓地				
合計	n=2,103	12.1	23.0	37.6	26.5	32.9	38.6	33.9	20.9	31.1	2.7	2.7	3.1	
Q3	一人暮らし	n=248	9.3	16.1	31.5	29.0	39.5	33.5	29.8	17.7	24.2	2.4	4.0	7.3
	一世代世帯(夫婦のみ)	n=635	12.9	25.7	38.1	26.3	29.9	39.8	31.5	20.0	35.4	2.0	2.7	2.8
	二世帯世帯(親、子で暮らしている)	n=1,030	12.2	23.5	38.9	27.3	33.8	39.2	36.0	22.6	29.7	2.9	2.3	1.8
	三世帯世帯(親、子、孫で暮らしている)	n=135	12.6	20.7	38.5	20.0	31.1	37.0	31.9	19.3	34.1	4.4	3.7	5.9
	その他	n=41	12.2	22.0	36.6	24.4	26.8	41.5	48.8	14.6	29.3	4.9	2.4	4.9
	無回答	n=14	14.3	7.1	21.4	7.1	14.3	28.6	28.6	21.4	42.9	0.0	0.0	7.1

【n=2,103】

### ③新たなお墓の取得希望別【Q11×Q19】

新たなお墓の取得希望別にみると、「墓地形態」は、新たなお墓の取得希望に関わらず「納骨堂」が最も多くなっています。

また、「周辺環境・施設」は、新たなお墓取得希望に関わらず「公園型の墓地」が最も多くなっています。

単位：％

	全体	Q19 墓地形態					周辺環境・施設				どんな形態、施設でも可能性はない	その他	無回答	
		伝統的な墓地	芝生型の墓地	納骨堂	樹木葬墓地	合葬墓 (慰霊碑やシンボルツリーなど)	公園型の墓地	緑豊かな墓地	市街地に適した外観の墓地	交通の便がよい墓地				
合計	n=2,103	12.1	23.0	37.6	26.5	32.9	38.6	33.9	20.9	31.1	2.7	2.7	3.1	
Q11	希望する	n=224	15.2	35.3	41.5	31.3	37.9	46.0	38.8	28.6	30.8	0.4	2.7	0.4
	希望しない	n=1,042	11.6	20.2	35.2	25.9	31.9	36.8	33.5	18.1	32.8	3.4	2.6	3.5
	どちらともいえない	n=497	11.3	25.2	42.9	31.6	35.4	42.5	35.2	25.6	31.6	2.2	2.8	2.0
	無回答	n=298	13.8	19.5	32.6	16.8	26.8	33.6	29.2	16.4	23.2	3.0	3.0	6.4

【n=2,103】

(9) 新たに墓地を設置する場合に重視する点について

①年齢別【Q2×Q20】

年齢別にみると、「20歳代」から「50歳代」は、「経済的負担が少ないこと」が最も多く、それぞれ約7割となっています。

また、「60歳代」以上は、「無宗派に関係なく、誰もが利用できること」が最も多く、それぞれ6割以上となっています。

単位：%

	全体	Q20								
		地域性や宗教性が尊重されていること	宗派に関係なく、誰もが利用できること	経済的負担が少ないこと	住環境との調和や交通事情に配慮された施設であること	家族に代わって、墓地の設置・管理者が墓地の管理をすること	そもそも設置の必要はない	その他	無回答	
合計	n=2,103	3.8	71.8	70.8	44.2	41.7	4.5	1.4	2.4	
Q2	20歳代	n=111	10.8	53.2	69.4	53.2	38.7	3.6	0.0	0.0
	30歳代	n=261	6.9	66.7	69.7	44.8	40.6	6.9	1.9	0.0
	40歳代	n=352	3.1	70.7	73.9	46.3	41.5	6.3	2.0	0.6
	50歳代	n=320	3.1	77.5	79.4	53.8	49.1	3.4	1.3	0.9
	60歳代	n=443	2.9	81.3	75.8	46.5	44.5	4.1	1.1	1.4
	70歳代	n=427	2.6	71.9	66.5	37.2	40.0	2.8	1.4	5.2
	80歳代以上	n=183	2.2	60.1	50.8	28.4	30.6	4.9	1.1	9.3
	無回答	n=6	0.0	50.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0

【n=2,103】

②世帯別【Q3×Q20】

世帯別にみると、全ての世帯は、「宗派に関係なく、誰もが利用できること」が最も多く、それぞれ6割以上となっています。

また、「一人暮らし」は、「経済的負担が少ないこと」も同様に最も多く61.7%となっています。

単位：%

	全体	Q20								
		地域性や宗教性が尊重されていること	宗派に関係なく、誰もが利用できること	経済的負担が少ないこと	住環境との調和や交通事情に配慮された施設であること	家族に代わって、墓地の設置・管理者が墓地の管理をすること	そもそも設置の必要はない	その他	無回答	
合計	n=2,103	3.8	71.8	70.8	44.2	41.7	4.5	1.4	2.4	
Q3	一人暮らし	n=248	4.0	61.7	61.7	35.5	39.9	4.8	2.4	6.5
	一世帯世帯(夫婦のみ)	n=635	3.3	74.2	73.1	44.1	42.7	3.5	1.1	2.5
	二世帯世帯(親、子で暮らしている)	n=1,030	3.6	72.4	72.0	46.9	42.5	4.9	1.2	1.2
	三世帯世帯(親、子、孫で暮らしている)	n=135	5.9	75.6	68.9	43.0	37.0	5.2	1.5	3.0
	その他	n=41	4.9	73.2	73.2	41.5	36.6	7.3	4.9	2.4
	無回答	n=14	7.1	57.1	42.9	28.6	35.7	0.0	0.0	7.1

【n=2,103】

③新たなお墓の取得希望別【Q11×Q20】

新たなお墓の取得希望別にみると、「希望する」は、「経済的負担が少ないこと」が最も多く 84.4%となっています。

単位：%

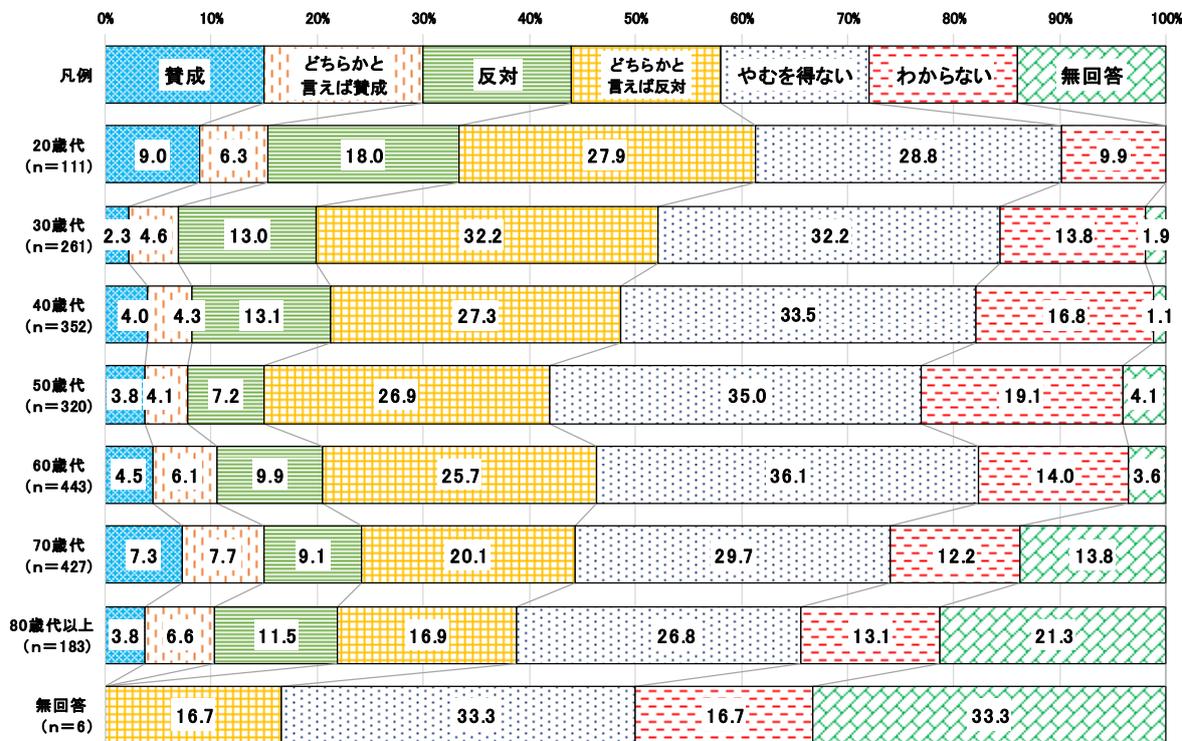
		全体	Q20							無回答
			地域性や宗教性が尊重されていること	宗派に関係なく、誰もが利用できること	経済的負担が少ないこと	住環境との調和や交通事情に配慮された施設であること	家族に代わって、墓地の設置・管理者が墓地の管理をすること	そもそも設置の必要はない	その他	
合計		n=2,103	3.8	71.8	70.8	44.2	41.7	4.5	1.4	2.4
Q11	希望する	n=224	2.7	78.6	84.4	46.9	55.8	0.4	0.4	0.4
	希望しない	n=1,042	4.1	71.3	68.4	42.9	39.8	6.3	1.3	2.1
	どちらともいえない	n=497	3.6	74.0	76.7	49.5	43.9	3.8	1.4	2.0
	無回答	n=298	3.4	64.1	56.7	36.9	32.2	2.3	2.3	5.7

【n=2,103】

(10) 自宅周辺に墓地が建設される場合について

①年代別【Q2×Q21】

年代別にみると、「反対（反対+どちらかと言えば反対）」は、20～40歳代では40%台、50～60歳代では30%台、70歳代以上では20%台と、年齢が高くなるにつれ少なくなっています。

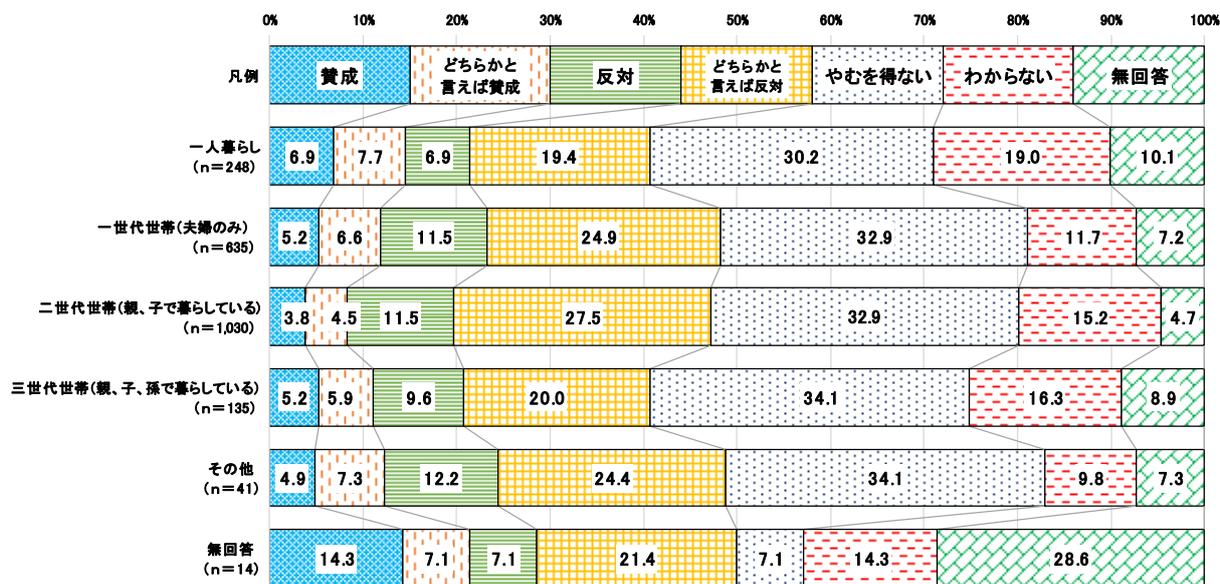


【n=2,103】

②世帯別【Q3×Q21】

世帯別にみると、全ての世帯は、「やむを得ない」が最も多く、それぞれ3割以上となっています。

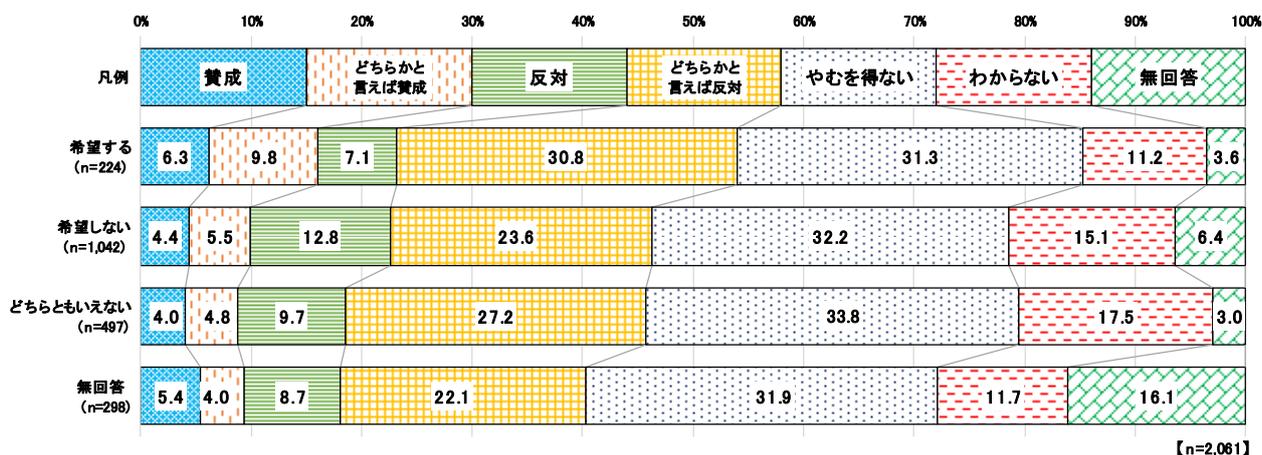
また、「反対（反対+どちらかと言えば反対）」は、「二世帯世帯（親、子で暮らしている）」が最も多く39.0%、次いで「一世帯世帯（夫婦のみ）」が36.4%と続いています。



【n=2,103】

### ③新たなお墓の取得希望別【Q11×Q21】

新たなお墓の取得希望別にみると、全体的に「やむを得ない」が最も多く、次いで「どちらかと言えば反対」と続いています。「賛成（賛成+どちらかと言えば賛成）」は、「希望する」は16.1%で、「希望しない」の9.9%、「どちらともいえない」の8.8%を上回っていますが、「反対（反対+どちらかと言えば反対）」については、「希望する」は37.9%、「希望しない」は36.4%、「どちらともいえない」は36.9%で、いずれもほとんど変化がありません。



(11) 墓地の受け入れについて（自宅周辺に墓地を建設することに反対の場合）

①年代別【Q2×Q21（付問）】

年代別にみると、「墓地形態」は年代によって違いはありますが、「周辺環境・施設」は、「20歳代」以外の全ての年代において「公園型の墓地」が最も多く、それぞれ3割以上となっています。

単位：%

	全体	Q21(付問) 墓地形態					周辺環境・施設				どんな形態、施設でも受け入れできない	その他	無回答	
		伝統的な墓地	芝生型の墓地	納骨堂	樹木葬墓地	合葬墓 (慰霊碑やシンボルツリーなど)	公園型の墓地	緑豊かな墓地	市街地に適した外観の墓地	交通の便がよい墓地				
合計	n=756	4.8	15.1	20.0	21.7	20.0	32.9	25.1	19.2	13.0	22.0	4.2	0.8	
Q2	20歳代	n=51	7.8	5.9	15.7	13.7	15.7	9.8	21.6	15.7	5.9	35.3	2.0	0.0
	30歳代	n=118	3.4	19.5	18.6	28.0	15.3	36.4	28.0	23.7	10.2	27.1	6.8	0.0
	40歳代	n=142	3.5	12.7	17.6	21.8	21.8	32.4	22.5	14.8	7.7	27.5	4.2	1.4
	50歳代	n=109	2.8	15.6	17.4	28.4	20.2	34.9	25.7	23.9	10.1	21.1	2.8	0.0
	60歳代	n=158	4.4	16.5	26.6	22.8	24.7	36.7	26.6	20.9	12.7	17.7	3.2	0.6
	70歳代	n=125	5.6	13.6	20.0	16.8	21.6	31.2	26.4	18.4	23.2	14.4	6.4	0.8
	80歳代以上	n=52	11.5	19.2	19.2	9.6	11.5	38.5	21.2	11.5	23.1	13.5	1.9	3.8
	無回答	n=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

[n=756]

②世帯別【Q3×Q21（付問）】

世帯別にみると、「墓地形態」は世帯によって違いがありますが、「周辺環境・施設」では、「三世帯世帯（親、子、孫で暮らしている）」以外の世帯において「公園型の墓地」が最も多く、それぞれ3割以上となっています。

単位：%

	全体	Q21(付問) 墓地形態					周辺環境・施設				どんな形態、施設でも受け入れできない	その他	無回答	
		伝統的な墓地	芝生型の墓地	納骨堂	樹木葬墓地	合葬墓 (慰霊碑やシンボルツリーなど)	公園型の墓地	緑豊かな墓地	市街地に適した外観の墓地	交通の便がよい墓地				
合計	n=756	4.8	15.1	20.0	21.7	20.0	32.9	25.1	19.2	13.0	22.0	4.2	0.8	
Q3	一人暮らし	n=65	4.6	12.3	27.7	15.4	29.2	33.8	15.4	20.0	9.2	15.4	6.2	1.5
	一世帯世帯 (夫婦のみ)	n=231	4.3	14.3	20.8	23.4	19.5	30.7	20.8	19.5	14.3	18.6	5.2	0.9
	二世帯世帯（親、子で暮らしている）	n=401	5.0	16.0	18.2	23.2	19.0	34.4	29.2	19.5	13.7	23.4	3.5	0.5
	三世帯世帯（親、子、孫で暮らしている）	n=40	7.5	12.5	17.5	12.5	17.5	25.0	17.5	20.0	7.5	32.5	5.0	2.5
	その他	n=15	0.0	20.0	26.7	13.3	20.0	40.0	46.7	0.0	6.7	33.3	0.0	0.0
	無回答	n=4	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0

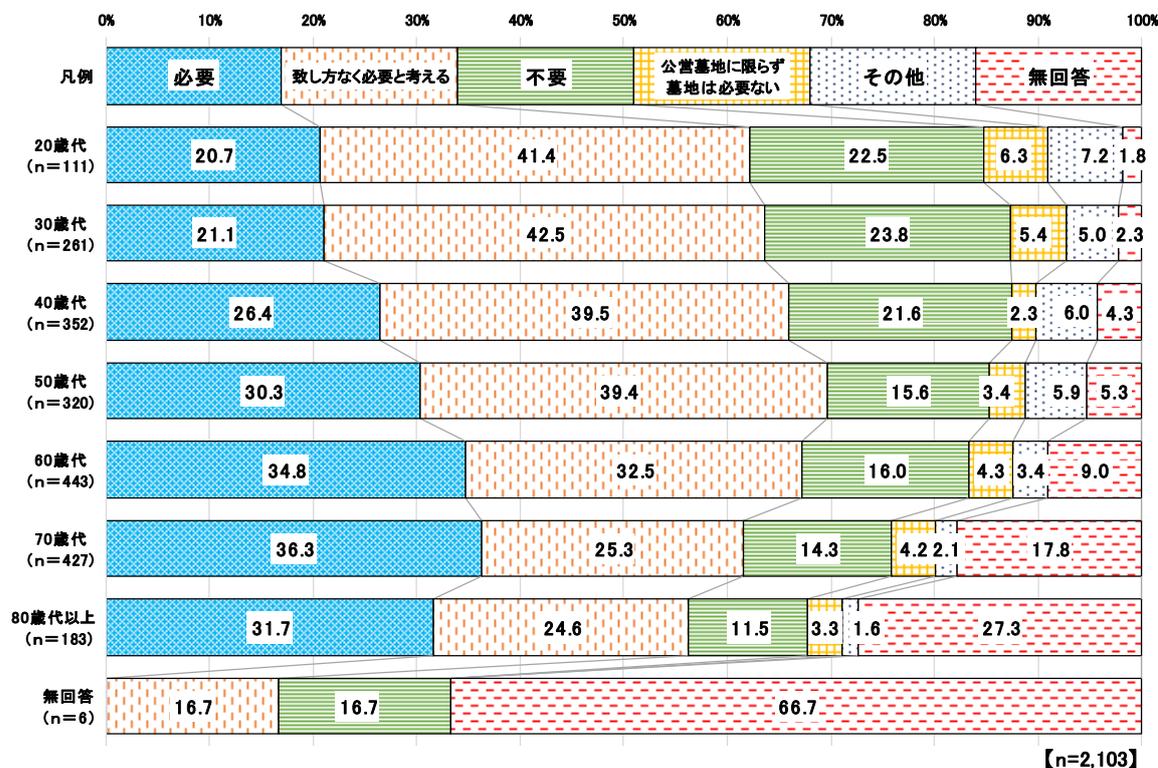
[n=756]

(12) 大和市における公営墓地の必要性について

①年代別【Q2×Q22】

年代別にみると、20歳代から70歳代まで、年齢が上がるにつれて、「必要」が増加傾向にあります。また、「80歳代以上」は、「必要」が31.7%と減少しています。

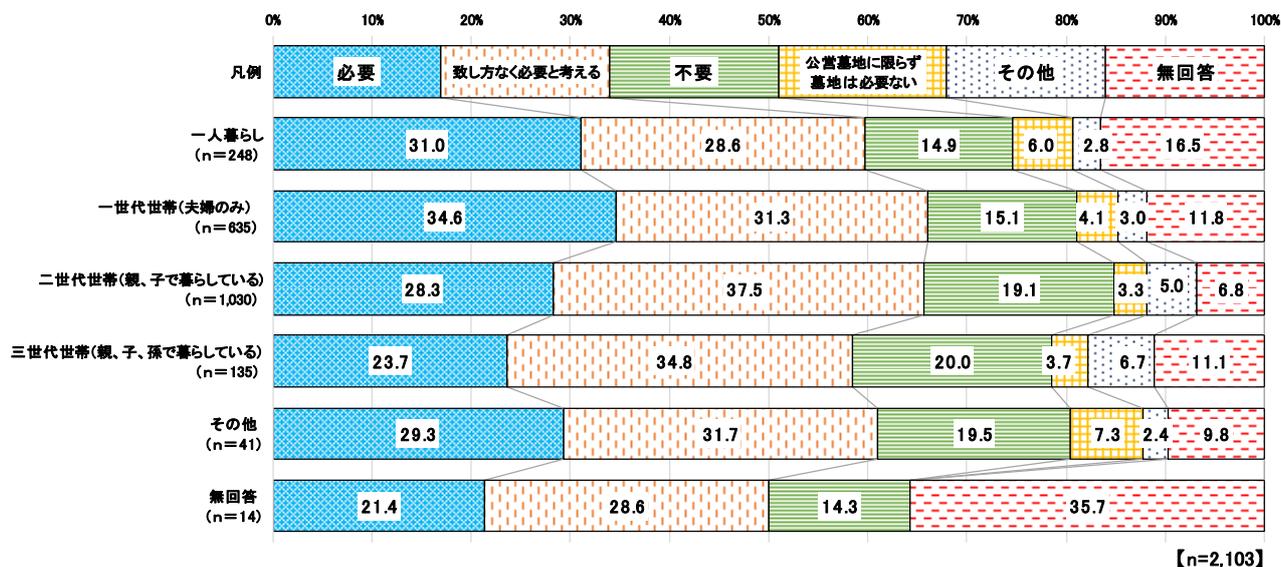
また、「必要(必要+致し方なく必要と考える)」は、「50歳代」が最も多く69.7%、次いで「60歳代」が67.3%、「40歳代」が65.9%と続いています。



②世帯別【Q3×Q22】

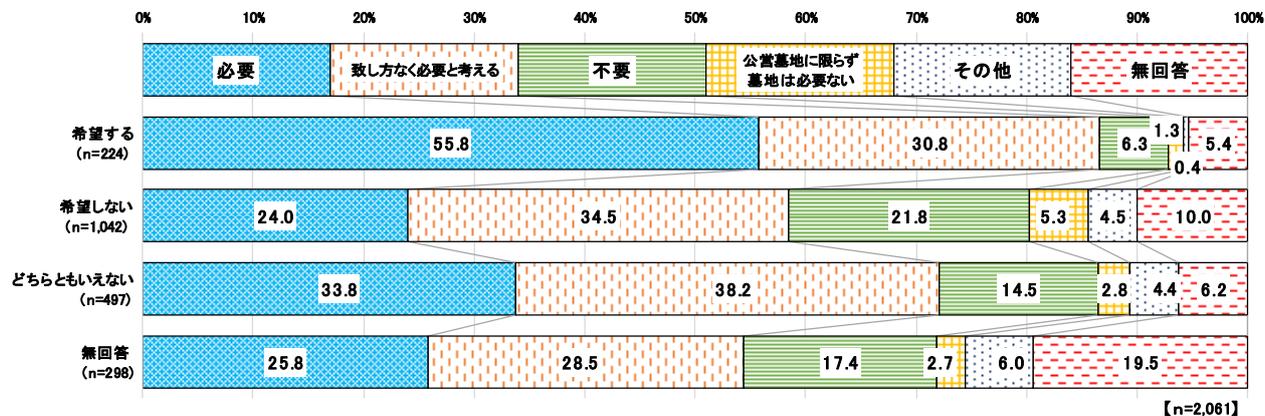
世帯別にみると、「一世代世帯(夫婦のみ)」は、「必要」が最も多く34.6%となっています。

また、「必要(必要+致し方なく必要と考える)」は、全ての世帯において最も多く、それぞれ約6割となっています。



### ③新たなお墓の取得希望別【Q11×Q22】

新たなお墓の取得希望別にみると、「希望する」は、「必要」が最も多く 55.8%、「致し方なく必要と考える」が 30.8%と続いています。「必要（必要+致し方なく必要と考える）」は、「希望する」は 86.6%となり、「希望しない」の 58.5%、「どちらとも言えない」の 72.0%と比べると、多くなっています。



(13) 大和市にどのような墓地が必要かについて(大和市に公営墓地が必要だと思う場合)

①年代別【Q2×Q22(付問)】

年代別にみると、「墓地形態」は「40歳代」「50歳代」以外の年代において、「納骨堂」が最も多くなっています。「周辺環境・施設」は、「20歳代」「30歳代」は「緑豊かな墓地」が最も多く、「40歳代」「50歳代」「60歳代」は、「公園型の墓地」が最も多く、「70歳代」「80歳代以上」は「交通の便がよい墓地」が最も多くなっています。

単位：%

	全体	Q22(付問) 墓地形態					周辺環境・施設				どんな形態、施設でも構わない	その他	無回答	
		伝統的な墓地	芝生型の墓地	納骨堂	樹木葬墓地	合葬墓(慰霊碑やシンボルツリーなど)	公園型の墓地	緑豊かな墓地	市街地に適した外観の墓地	交通の便がよい墓地				
合計	n=1,355	12.5	26.4	40.4	29.4	38.2	41.9	35.8	25.2	30.8	5.1	0.7	1.0	
Q2	20歳代	n=69	10.1	20.3	47.8	31.9	33.3	33.3	34.8	27.5	29.0	8.7	0.0	0.0
	30歳代	n=166	15.1	28.3	40.4	29.5	36.1	45.8	47.0	24.7	16.9	4.2	1.8	0.0
	40歳代	n=232	11.2	26.3	41.4	35.3	44.0	44.8	37.5	25.9	23.7	6.0	0.9	1.7
	50歳代	n=223	12.1	28.7	47.1	37.7	41.3	49.8	39.5	27.8	34.1	5.4	0.4	0.9
	60歳代	n=298	11.1	27.9	39.3	27.5	41.9	41.9	32.9	26.8	30.9	3.4	0.7	1.3
	70歳代	n=263	14.4	24.3	35.4	22.8	35.4	38.0	30.8	21.7	44.1	5.3	0.4	0.8
	80歳代以上	n=103	13.6	23.3	35.9	19.4	22.3	27.2	28.2	20.4	29.1	5.8	0.0	1.0
	無回答	n=1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

[n=1,355]

②世帯別【Q3×Q22(付問)】

世帯別にみると、「墓地形態」は、「一人暮らし」以外の世帯において、「納骨堂」が最も多く、それぞれ3割以上となっていますが、「一人暮らし」は「合葬墓(慰霊碑やシンボルツリーなど)」が最も多く49.3%となっています。

また、「周辺環境・施設」は、全ての世帯において「公園型の墓地」が最も多く、それぞれ3割以上となっています。

単位：%

	全体	Q22(付問) 墓地形態					周辺環境・施設				どんな形態、施設でも構わない	その他	無回答	
		伝統的な墓地	芝生型の墓地	納骨堂	樹木葬墓地	合葬墓(慰霊碑やシンボルツリーなど)	公園型の墓地	緑豊かな墓地	市街地に適した外観の墓地	交通の便がよい墓地				
合計	n=1,355	12.5	26.4	40.4	29.4	38.2	41.9	35.8	25.2	30.8	5.1	0.7	1.0	
Q3	一人暮らし	n=148	13.5	23.6	33.8	34.5	49.3	37.8	35.8	20.3	33.8	6.1	1.4	1.4
	一世代世帯(夫婦のみ)	n=419	13.8	27.7	37.9	26.7	33.4	42.2	32.5	27.0	33.4	5.0	0.7	0.7
	二世帯世帯(親、子で暮らしている)	n=677	11.1	26.9	41.9	31.2	39.4	43.0	38.3	25.7	27.9	5.2	0.6	0.7
	三世帯世帯(親、子、孫で暮らしている)	n=79	12.7	22.8	51.9	21.5	31.6	39.2	27.8	22.8	34.2	5.1	0.0	1.3
	その他	n=25	20.0	28.0	44.0	32.0	44.0	44.0	52.0	16.0	36.0	0.0	0.0	8.0
	無回答	n=7	28.6	0.0	42.9	0.0	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0

[n=1,355]

## 第3章 墓地需要予測

### 1. 大阪方式による推計

#### (1) 推計方式

昭和40年高橋理喜男氏を中心とするグループが大阪府から委託調査の中で提案した推計方式。

#### ■大阪方式による推計の算式

$$\text{年間墓地需要数} = \text{定着志向率} \times \text{死亡者数} \times (\text{墓地需要率} + \text{傍系世帯率}) \div 2$$

#### (2) 算式に必要なデータ

①定着志向率：アンケート調査結果等から得られる現居住地への定住性

$$\begin{aligned} &= \text{Q9で「今後も住み続けたい」の回答者(1,453)} \div \text{全回答者数(2,103)} \\ &= \underline{0.691} \end{aligned}$$

②死亡者数 = 総人口 × 死亡率 ÷ 1,000

- ・総人口：「日本の地域別将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所、平成25年3月)より「男女・年齢(5歳)階級別の推計結果(市区町村編)」から大和市の総人口を使用
- ・死亡率：「日本の将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所、平成24年1月)の「推計結果表」粗死亡率より「出生中位、死亡中位仮定」の死亡率(単位：‰)を使用

③墓地需要率：墓地の所有状況と将来の購入意思

$$\begin{aligned} &= \text{Q10で自分や配偶者がなくなった時に入るためのお墓が「ない」と回答し、Q11で新たにお墓の取得を「希望する」と回答した数(180)} \div \text{全回答者数(2,103)} \\ &= \underline{0.086} \end{aligned}$$

④傍系世帯率：核家族化の進展と1家族1墓地を前提に分家していく割合

$$\begin{aligned} &= \text{Q10で「ない」の回答者(846)} \div \text{全回答者数(2,103)} \\ &= \underline{0.402} \end{aligned}$$

(3) 推計結果

	総人口	死亡率	死亡者数	定着志向率	墓地需要率	傍系世帯率	年間墓地需要数	墓地需要数累計
H28 (2016)	230,959	10.6	2,448	0.691	0.086	0.402	413	413
H29 (2017)	230,959	10.8	2,494	0.691	0.086	0.402	421	834
H30 (2018)	230,959	11.1	2,564	0.691	0.086	0.402	432	1,266
H31 (2019)	230,959	11.3	2,610	0.691	0.086	0.402	440	1,706
H32 (2020)	230,647	11.6	2,676	0.691	0.086	0.402	451	2,157
H33 (2021)	230,647	11.8	2,722	0.691	0.086	0.402	459	2,616
H34 (2022)	230,647	12.0	2,768	0.691	0.086	0.402	467	3,083
H35 (2023)	230,647	12.3	2,837	0.691	0.086	0.402	478	3,561
H36 (2024)	230,647	12.5	2,883	0.691	0.086	0.402	486	4,047
H37 (2025)	228,073	12.7	2,897	0.691	0.086	0.402	488	4,535
H38 (2026)	228,073	13.0	2,965	0.691	0.086	0.402	500	5,035
H39 (2027)	228,073	13.2	3,011	0.691	0.086	0.402	508	5,543
H40 (2028)	228,073	13.4	3,056	0.691	0.086	0.402	515	6,058
H41 (2029)	228,073	13.6	3,102	0.691	0.086	0.402	523	6,581
H42 (2030)	223,715	13.8	3,087	0.691	0.086	0.402	521	7,102
H43 (2031)	223,715	14.0	3,132	0.691	0.086	0.402	528	7,630
H44 (2032)	223,715	14.2	3,177	0.691	0.086	0.402	536	8,166
H45 (2033)	223,715	14.4	3,221	0.691	0.086	0.402	543	8,709
H46 (2034)	223,715	14.6	3,266	0.691	0.086	0.402	551	9,260
H47 (2035)	218,008	14.8	3,227	0.691	0.086	0.402	544	9,804
H48 (2036)	218,008	14.9	3,248	0.691	0.086	0.402	548	10,352
H49 (2037)	218,008	15.1	3,292	0.691	0.086	0.402	555	10,907
H50 (2038)	218,008	15.3	3,336	0.691	0.086	0.402	562	11,469
H51 (2039)	218,008	15.4	3,357	0.691	0.086	0.402	566	12,035
H52 (2040)	211,497	15.6	3,299	0.691	0.086	0.402	556	12,591

## 2. 横浜方式による推計

### (1) 推計方式

平成元年に開催された横浜市墓地問題研究会で定めた推計方式。

### ■横浜方式による推計の算式

$$\text{現在墓地需要数} = \text{親族世帯数} \times \text{遺骨保持率}$$

$$\text{将来墓地需要数} = \text{死亡者数} \times \text{定住意向率} \times \text{墓地需要率}$$

### (2) 算式に必要なデータ

①親族世帯数：2人以上の世帯員からなる世帯数のうち、世帯主と親族関係にある世帯員のみからなる世帯数（平成22年国勢調査から「親族世帯」は「親族のみの世帯」に変更されている）

＝総世帯数（大和市統計、平成28年8月現在）×親族世帯率（親族のみの世帯 ÷ 一般世帯総数、平成22年国勢調査）

$$= 103,185 \times (62,631 \div 97,187)$$

$$= 103,185 \times 0.644$$

$$= \underline{66,451}$$

②遺骨保持率＝Q11で新たに墓地の取得を「希望する」を回答し、その理由として「納めたい遺骨が手元にあるから」と回答した者（7）÷全回答者数（2,103）

$$= \underline{0.003}$$

③死亡者数＝総人口×死亡率÷1,000

・総人口：「日本の地域別将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所、平成25年3月）より「男女・年齢（5歳）階級別の推計結果（市区町村編）」から大和市の総人口を使用

・死亡率：「日本の将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所、平成24年1月）の「推計結果表」粗死亡率より「出生中位、死亡中位仮定」の死亡率（単位：‰）を使用

④定住志向率：アンケート調査結果等から得られる現居住地への定住性

$$= \text{Q9で「今後も住み続けたい」の回答者（1,453）} \div \text{全回答者数（2,103）}$$

$$= \underline{0.691}$$

⑤墓地需要率：墓地の所有状況と将来の購入意思

＝Q10で自分や配偶者がなくなった時に入るためのお墓が「ない」と回答し、Q11で新たにお墓の取得を「希望する」を回答した数（180）÷全回答者数（2,103）

$$= \underline{0.086}$$

(3) 推計結果

現在	親族世帯数	遺骨保持率	現在墓地需要数
H28(2016)	66,451	0.003	199

将来	総人口	死亡率	死亡者数	定着志向係数	墓地需要率	将来墓地需要数	墓地需要数累計
H29(2017)	230,959	10.8	2,494	0.691	0.086	148	348
H30(2018)	230,959	11.1	2,564	0.691	0.086	152	500
H31(2019)	230,959	11.3	2,610	0.691	0.086	155	655
H32(2020)	230,647	11.6	2,676	0.691	0.086	159	814
H33(2021)	230,647	11.8	2,722	0.691	0.086	162	976
H34(2022)	230,647	12.0	2,768	0.691	0.086	164	1,140
H35(2023)	230,647	12.3	2,837	0.691	0.086	169	1,309
H36(2024)	230,647	12.5	2,883	0.691	0.086	171	1,480
H37(2025)	228,073	12.7	2,897	0.691	0.086	172	1,652
H38(2026)	228,073	13.0	2,965	0.691	0.086	176	1,829
H39(2027)	228,073	13.2	3,011	0.691	0.086	179	2,008
H40(2028)	228,073	13.4	3,056	0.691	0.086	182	2,189
H41(2029)	228,073	13.6	3,102	0.691	0.086	184	2,373
H42(2030)	223,715	13.8	3,087	0.691	0.086	183	2,557
H43(2031)	223,715	14.0	3,132	0.691	0.086	186	2,743
H44(2032)	223,715	14.2	3,177	0.691	0.086	189	2,932
H45(2033)	223,715	14.4	3,221	0.691	0.086	191	3,123
H46(2034)	223,715	14.6	3,266	0.691	0.086	194	3,317
H47(2035)	218,008	14.8	3,227	0.691	0.086	192	3,509
H48(2036)	218,008	14.9	3,248	0.691	0.086	193	3,702
H49(2037)	218,008	15.1	3,292	0.691	0.086	196	3,898
H50(2038)	218,008	15.3	3,336	0.691	0.086	198	4,096
H51(2039)	218,008	15.4	3,357	0.691	0.086	200	4,295
H52(2040)	211,497	15.6	3,299	0.691	0.086	196	4,492

### 3. 沖縄方式による推計

#### (1) 推計方式

沖縄県墓地公園整備基本方針（平成 12 年 3 月）で示された、沖縄大学吉川博也教授による推計方式。

#### ■沖縄方式による推計の算式

$a: \text{年間墓地需要数} = \text{総人口} \times 13 \div 10,000$	}	$\text{墓地需要数} = (a + b + c) \div 3$
$b: \text{年間墓地需要数} = \text{総世帯数} \times 4 \div 1,000$		
$c: \text{年間墓地需要数} = \text{死亡者数} \times 0.2$		

#### (2) 算式に必要なデータ

①総人口：「日本の地域別将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所、平成 25 年 3 月）より「男女・年齢（5 歳）階級別の推計結果（市区町村編）」から大和市の総人口を使用

②総世帯数 = 総人口 × 世帯率

$$\begin{aligned} \text{世帯率} &= \text{平成 27 年国勢調査の世帯数} (101,971) \div \text{平成 27 年国勢調査の総人口} (233,061) \\ &= \underline{\underline{0.438}} \end{aligned}$$

③死亡者数：「日本の将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所、平成 24 年 1 月）の「推計結果表」粗死亡率より「出生中位、死亡中位仮定」の死亡率（単位：‰）を使用

(3) 推計結果

	総人口	総世帯数	死亡者数	a	b	c	墓地需要数	墓地需要数累計
H28(2016)	230,959	101,160	2,448	300.25	404.64	489.63	398	398
H29(2017)	230,959	101,160	2,494	300.25	404.64	498.87	401	799
H30(2018)	230,959	101,160	2,564	300.25	404.64	512.73	406	1,205
H31(2019)	230,959	101,160	2,610	300.25	404.64	521.97	409	1,614
H32(2020)	230,647	101,023	2,676	299.84	404.09	535.10	413	2,027
H33(2021)	230,647	101,023	2,722	299.84	404.09	544.33	416	2,443
H34(2022)	230,647	101,023	2,768	299.84	404.09	553.55	419	2,862
H35(2023)	230,647	101,023	2,837	299.84	404.09	567.39	424	3,286
H36(2024)	230,647	101,023	2,883	299.84	404.09	576.62	427	3,713
H37(2025)	228,073	99,896	2,897	296.49	399.58	579.31	425	4,138
H38(2026)	228,073	99,896	2,965	296.49	399.58	592.99	430	4,568
H39(2027)	228,073	99,896	3,011	296.49	399.58	602.11	433	5,001
H40(2028)	228,073	99,896	3,056	296.49	399.58	611.24	436	5,437
H41(2029)	228,073	99,896	3,102	296.49	399.58	620.36	439	5,876
H42(2030)	223,715	97,987	3,087	290.83	391.95	617.45	433	6,309
H43(2031)	223,715	97,987	3,132	290.83	391.95	626.40	436	6,745
H44(2032)	223,715	97,987	3,177	290.83	391.95	635.35	439	7,184
H45(2033)	223,715	97,987	3,221	290.83	391.95	644.30	442	7,626
H46(2034)	223,715	97,987	3,266	290.83	391.95	653.25	445	8,071
H47(2035)	218,008	95,488	3,227	283.41	381.95	645.30	437	8,508
H48(2036)	218,008	95,488	3,248	283.41	381.95	649.66	438	8,946
H49(2037)	218,008	95,488	3,292	283.41	381.95	658.38	441	9,387
H50(2038)	218,008	95,488	3,336	283.41	381.95	667.10	444	9,831
H51(2039)	218,008	95,488	3,357	283.41	381.95	671.46	446	10,277
H52(2040)	211,497	92,636	3,299	274.95	370.54	659.87	435	10,712

## 4. 墓地需要予測の結果

各方式による墓地需要予測の結果は以下のとおりです。

予測方式	年平均	25年累計
大阪方式	504 基	12,591 基
横浜方式	180 基	4,492 基
沖縄方式	428 基	10,712 基

横浜方式による推計の算出に必要なデータとして採用している遺骨保持率について、Q11 の無回答が 14.5%と比較的多く、Q11（付問）の回答者数が少なくなったことにより、「納めたい遺骨が手元にあるため」の回答者数が少なくなった可能性があります。遺骨保持率が低くなることで、横浜方式による墓地需要予測が低く算出されたと考えられます。

## 大和市墓地等に関する市民意識調査

### ■■アンケート調査ご協力をお願い■■

日頃より、市政に対するご理解、ご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢化が進展するなか、墓地の無縁化が社会問題になるなど、近年、墓地の在り方に大きな社会的関心が寄せられております。さらに、高齢者の単身、或いは、ふたりのみ世帯の増加や、地方からの呼び寄せなど、墓地を巡っては、今後も多くの課題が生じることが見込まれます。

本市では、これらの課題に適切に対処していくため、市民の皆さまの墓地に対するお考えや、現在のご事情などを可能な限り、詳細に把握させていただきたいと考えております。

アンケートは、市内にお住まいの満20歳以上の方の中から、無作為に5,000人を選び、送付しております。ご回答いただいた内容は、統計資料として取り扱い、個々の内容について公表等することはございません。

この調査結果は、現在、そして、これからの本市の墓地行政にとって、とても大切な資料となります。どうか、皆さまにおかれましては、お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

### ■■ご記入にあたって■■

1. 質問には、必ず本人（封筒の宛名の方）がお答えください。
2. この調査にはお名前を記入する必要はありません。個人の秘密は厳守いたしますので、現在の状況や普段ご自分が考えていることをお聞かせください。
3. 回答は、質問により、1つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがあります。当てはまる項目の番号を○印で囲んでください。
4. 質問の中には、選択した番号により、次の質問をお聞きするものがありますので、ご注意ください。
5. ご記入いただいた調査票は、**8月9日（火）**までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご返送下さい。
6. この調査に関するご質問、ご意見などがございましたら、下記までお問い合わせください。

<問い合わせ先>

大和市役所 健康福祉部 健康づくり推進課

〒242-8601 神奈川県大和市鶴間1-31-7

電話：046-260-5661



Q7 あなたが大和市にお住まいの期間を教えてください。(いずれか1つに○)

- |             |              |         |
|-------------|--------------|---------|
| 1 5年未満      | 3 10年以上20年未満 | 5 30年以上 |
| 2 5年以上10年未満 | 4 20年以上30年未満 |         |

Q8 あなたがお住まいの住居について教えてください。(いずれか1つに○)

- |            |           |          |
|------------|-----------|----------|
| 1 一戸建て(持家) | 4 賃貸マンション | 7 その他( ) |
| 2 一戸建て(借家) | 5 賃貸アパート  |          |
| 3 分譲マンション  | 6 公営住宅    |          |

Q9 今後も大和市に住み続けますか。(いずれか1つに○)

- |                                   |            |
|-----------------------------------|------------|
| 1 今後も住み続けたい                       | 4 特に考えていない |
| 2 市外に転出する、または予定がある                | 5 その他( )   |
| 3 将来的には市外への転出を考えている、<br>または予定している |            |

## II 墓地の所有状況について

Q10 自分や配偶者が亡くなった時に入るためのお墓がありますか。(いずれか1つに○)

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| 1 ある ⇒ <b>【Q10-1~7】へ進む</b> | 2 ない ⇒ <b>【Q11】(P5)へ進む</b> |
|----------------------------|----------------------------|

《Q10において「1 ある」を選択した方にお聞きします。》

Q10-1 そのお墓はどこにありますか、また、何基所有していますか。

(当てはまるもの全てに○)

1 市内	<input type="checkbox"/>	基
2 周辺市	<input type="checkbox"/>	基
3 県内	<input type="checkbox"/>	基
4 近隣県(東京、埼玉、千葉、静岡、山梨)	<input type="checkbox"/>	基
5 その他( )	<input type="checkbox"/>	基

Q10-2 そのお墓の所有状況を教えてください。(当てはまるもの全てに○)

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1 自分または配偶者が取得したお墓   | 4 自分や配偶者でない人が承継したお墓 |
| 2 自分または配偶者が承継したお墓   | 5 その他( )            |
| 3 自分や配偶者でない人が取得したお墓 |                     |

Q10-3 そのお墓の形態を教えてください。(当てはまるもの全てに○)

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 伝統的な墓地 | 4 樹木葬墓地  |
| 2 芝生型の墓地 | 5 合葬墓    |
| 3 納骨堂    | 6 その他( ) |

Q10-4 今のお墓を今後も維持していきますか、或いは、別形態の墓地に変更しますか。(いずれか1つに○)

- |  |
|--|
| 1 現在の墓地を維持する(していきたい)                         |
| 2 別形態の墓地に変更する(予定である) ⇒ <b>【Q11-1】(P5)へ進む</b> |
| 3 わからない                                      |

Q10-5 普段、お墓参りの回数ほどのくらいですか。(いずれか1つに○)

- |          |          |            |
|----------|----------|------------|
| 1 月に1回以上 | 3 年に3~4回 | 5 数年に1回    |
| 2 年に5~6回 | 4 年に1~2回 | 6 お墓参りはしない |

Q10-6 お墓を承継する人はいますか。(いずれか1つに○)

- |          |                |
|----------|----------------|
| 1 子や孫    | 4 いないまたは、見込めない |
| 2 兄弟姉妹   | 5 承継は希望しない     |
| 3 その他の親族 | 6 その他( )       |

「4 いないまたは、見込めない」、「5 承継は希望しない」を選択した方にお聞きします。承継が見込めない、承継を希望されない理由を教えてください。

(当てはまるもの全てに○)

- |                           |
|---------------------------|
| 1 経済的負担が重いため              |
| 2 子や孫などへの負担に配慮しているため      |
| 3 子や孫などが承継を拒否しているため       |
| 4 承継不要の共同墓、合葬墓への変更を希望するため |
| 5 その他( )                  |

Q10-7 お墓が今後、無縁化(※)する可能性があると思いますか。

(いずれか1つに○)

- |                  |
|------------------|
| 1 その心配はない        |
| 2 いつかはそうなる可能性がある |
| 3 墓じまいを考えている     |
| 4 お墓を承継する者次第である  |
| 5 わからない          |

※無縁化：無縁化とは、お墓を守る人がいない、縁故者がいないなどを理由として、墓地が長期間放置されることをいいます。

### Ⅲ 墓地の取得に関わる意向について

Q11 新たにお墓の取得を希望していますか。(いずれか1つに○)

- |                                 |             |
|---------------------------------|-------------|
| 1 希望する                          | 3 どちらともいえない |
| 2 希望しない ⇒ <b>【Q11-8】(P6)へ進む</b> |             |

「1 希望する」を選択した方にお聞きします。お墓を取得する理由を教えてください。(当てはまるもの全てに○)

- |                         |
|-------------------------|
| 1 納めたい遺骨が手元にあるため        |
| 2 自らの将来に備えるため           |
| 3 承継者がいないため             |
| 4 他の場所から移し替えたい(改葬したい)ため |
| 5 その他( )                |

Q11-1 お墓の取得(変更)時期は、いつ頃を考えていますか。(いずれか1つに○)

- |        |         |        |
|--------|---------|--------|
| 1 1年以内 | 3 10年以内 | 5 20年超 |
| 2 5年以内 | 4 20年以内 |        |

Q11-2 お墓を取得する(変更する場合も含む)時に、重視する条件を教えてください。(当てはまるもの全てに○)

- |                          |
|--------------------------|
| 1 お墓の形態                  |
| 2 経営主体(地方公共団体、公益法人、宗教法人) |
| 3 交通の便のよさ(駅から近いなど)       |
| 4 取得費用、管理費用              |
| 5 周辺の静けさ                 |
| 6 周辺の景観                  |
| 7 お参りのしやすさ(バリアフリー等)      |
| 8 その他( )                 |

Q11-3 お墓を取得(変更)する時に希望するお墓の形態を教えてください。(いずれか1つに○)

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 伝統的な墓地 | 4 樹木葬墓地  |
| 2 芝生型の墓地 | 5 合葬墓    |
| 3 納骨堂    | 6 その他( ) |

Q11-4 お墓を取得(変更)する時に希望する経営主体を教えてください。(いずれか1つに○)

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 地方公共団体 | 4 こだわらない |
| 2 公益法人   | 5 その他( ) |
| 3 宗教法人   |          |

Q11-5 お墓を取得する時に、どの地域に取得したいと考えていますか。

(いずれか1つに○)

- 1 市内まで
- 2 周辺市まで
- 3 県内まで
- 4 近隣県(東京、埼玉、千葉、静岡、山梨)まで
- 5 その他( )

Q11-6 お墓の取得にかかる費用(使用料、墓石代等)として、どのくらいまで負担できますか。(いずれか1つに○)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 50万円未満         | 4 200万円以上300万円未満 |
| 2 50万円以上100万円未満  | 5 300万円以上        |
| 3 100万円以上200万円未満 | 6 わからない          |

Q11-7 お墓を取得する時に、どのような立地を希望しますか。(いずれか1つに○)

- 1 住宅や商店などのある街中
- 2 街中から少し離れた田畑や林などのある緑豊かな場所
- 3 街中から離れた自然豊かな場所
- 4 その他( )

《Q11において「2 希望しない」を選択した方にお聞きします。》

Q11-8 お墓の取得を希望しない理由を教えてください。(いずれか1つに○)

- 1 そもそもお墓を所有する意思がないため
- 2 散骨を希望しているため
- 3 承継してくれる人がいないため
- 4 現時点では購入を考えていないため
- 5 その他( )

Q12 個別墓の利点はどのようなものだと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 他人と合葬されることがない
- 2 お墓の形態や墓石などを自由に選ぶことができる
- 3 子孫に残すことができる
- 4 お墓参りをしやすい
- 5 その他( )

Q13 共同墓、合葬墓などの利点はどのようなものだと思いますか。

(当てはまるもの全てに○)

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 1 管理者が供養してくれる | 4 費用が安い   |
| 2 承継者がいなくてもよい | 5 その他 ( ) |
| 3 子孫に負担がかからない |           |

Q14 共同墓、合葬墓などの利用についてどのように考えますか。(いずれか1つに○)

- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| 1 利用したい         | 3 利用したくない |
| 2 利用することもやむを得ない | 4 わからない   |

#### IV 一般的な墓地について

Q15 あなたにとって、お墓とは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1 ご先祖様に思いをはせる重要な場所                   |
| 2 自分や家族が永眠する場所                       |
| 3 お彼岸などの時季に思い出す場所                    |
| 4 承継者の不在や多額な経済的負担など、大きな悩みの原因となっている場所 |
| 5 自分には必要ない場所                         |
| 6 その他 ( )                            |

Q16 お墓の設置・管理者に求められるものは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1 周辺環境との調和が図られた施設とすること                |
| 2 周囲から墓石が見えないような工夫をすること               |
| 3 自然と共生した施設とすること                      |
| 4 交通渋滞や違法駐車など、周辺の交通事情に配慮された施設とすること    |
| 5 夜間帯などの防犯対策をしっかりとやること                |
| 6 お線香の煙への配慮や供養物の管理など、環境衛生対策をしっかりとやること |
| 7 一見して、墓地施設とは思われない外観にすること             |
| 8 その他 ( )                             |

Q17 現在、墓地を巡る課題には、どのようなものがあると考えますか。

(当てはまるもの全てに○)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1 墓地を承継する者がいないこと                   |
| 2 購入費、維持管理費などの経済的負担が大きいこと          |
| 3 共同墓や合葬墓などの数が足りないこと               |
| 4 都市部では墓地の建設ができるような広い場所の確保が困難であること |
| 5 その他 ( )                          |

Q18 お墓が無縁化する原因をどのように考えていますか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 少子化により承継できる人の数が減っていること
- 2 伝統的な墓地などのように、その取得や管理に多額の費用が必要になること
- 3 家や家族も大切だが、それ以上に、個人を尊重したいと考える人が増えたこと
- 4 地方から高齢の父母を呼び寄せするなどしたため、管理したくても、管理できない方が増えたこと
- 5 その他 ( )

続けて、お聞きします。では、お墓の無縁化対策として、どのような手法が有効だと考えますか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 墓地に使用期限を設定し、承継する人がいなければ合葬する
- 2 地方公共団体や公益団体、寺院等が管理する共同墓や合葬墓を増やす
- 3 会員制などによる共同体を組織して管理する
- 4 散骨などにより、墓地そのものをなくしていく
- 5 その他 ( )

## V 大和市の墓地について

Q19 市街地の多い大和市ですが、どのような墓地ならば、設置できる可能性があると考えますか。(当てはまるもの全てに○)

### 【墓地形態】

- |          |                      |
|----------|----------------------|
| 1 伝統的な墓地 | 4 樹木葬墓地              |
| 2 芝生型の墓地 | 5 合葬墓（慰霊碑やシンボルツリーなど） |
| 3 納骨堂    |                      |

### 【周辺環境・施設】

- |          |                |
|----------|----------------|
| 6 公園型の墓地 | 8 市街地に適した外観の墓地 |
| 7 緑豊かな墓地 | 9 交通の便がよい墓地    |

### 【その他】

- |                     |            |
|---------------------|------------|
| 10 どんな形態、施設でも可能性はない | 11 その他 ( ) |
|---------------------|------------|

Q20 大和市で、新たに墓地が設置されるとしたら、何に重点を置くべきだと考えますか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 地域性や宗教性が尊重されていること
- 2 宗派に関係なく、誰もが利用できること
- 3 経済的負担が少ないこと
- 4 住環境との調和や交通事情に配慮された施設であること
- 5 家族に代わって、墓地の設置・管理者が墓地の管理をすること
- 6 そもそも設置の必要はない
- 7 その他 ( )

Q21 墓地があなたの家の周辺に建設される場合、どのように考えますか。(いずれか1つに○)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 賛成         | 4 どちらかと言えば反対 |
| 2 どちらかと言えば賛成 | 5 やむを得ない     |
| 3 反対         | 6 わからない      |

「3 反対」、「4 どちらかと言えば反対」を選択した方にお聞きします。  
どのような墓地ならば、受け入れについて、容認できますか。  
(当てはまるもの全てに○)

【墓地形態】

- |          |                      |
|----------|----------------------|
| 1 伝統的な墓地 | 4 樹木葬墓地              |
| 2 芝生型の墓地 | 5 合葬墓(慰霊碑やシンボルツリーなど) |
| 3 納骨堂    |                      |

【周辺環境・施設】

- |          |                |
|----------|----------------|
| 6 公園型の墓地 | 8 市街地に適した外観の墓地 |
| 7 緑豊かな墓地 | 9 交通の便がよい墓地    |

【その他】

- 10 どんな形態、施設でも受け入れできない 11 その他 ( )



## 墓地の様々な形態について

### 家族のお墓

#### 個別墓

##### ■伝統的な墓地

寺院などで区画されたスペースに墓石を建立し、先祖代々子々孫々承継していくものです。言い換えれば「家」のお墓です。

- お墓に入っている（入る）人⇒ご先祖様や家族、親族
- お墓を承継する人 ⇒必要（家族や子孫、親族）



##### ■芝生型の墓地

（本来の西洋式の墓地とは異なります）

西洋風の墓地で、大きな芝生広場に墓石を建立するものです。

- お墓に入っている（入る）人⇒ご先祖様や家族、親族
- お墓を承継する人 ⇒必要（家族や子孫、親族）



#### 共同墓、集合墓など

##### ■納骨堂

遺骨を安置するための屋内施設であり、広い敷地がなくても多くの遺骨を納めることができます。代表的なものとして、ロッカー型があります。

- お墓に入っている（入る）人⇒個人
- お墓を承継する人 ⇒不要（継続使用が可能な場合もあります）



出典：横浜市  
久保山霊堂納骨堂



出典：綾瀬市  
本蓼川墓園納骨堂

##### ■樹木葬墓地

自然共生の墓地で、墓標代わりに樹木等を植えるものです。日本式のように区画されたスペースはなく、代々承継していくものではありません。

- お墓に入っている（入る）人⇒個人
- お墓を承継する人 ⇒不要



### 血縁を超えた他の人と共同するお墓

#### 合葬墓

##### ■合葬墓（他の人と合同で埋葬されるお墓）

慰霊碑などのモニュメントの設置やシンボルツリーを植樹して、その地下や周辺などに遺骨を安置するものです。

- お墓に入っている（入る）人⇒不特定多数の個人
- お墓を承継する人 ⇒不要



# 大和市墓地等に関する市民意識調査

## 報告書

発行日／平成28年10月

発行／健康福祉部健康づくり推進課

〒242-8601

大和市鶴間一丁目31番7号保健福祉センター内

☎046-260-5661（直通）

